

Panasonic[®]

取扱説明書

インテリジェントコミュニケーションシステム

iP-Digaport **II** / *iP-Digaport* **XII**

保証書別添付 キヤビネットに添付

技術基準適合認証品



24 キー電話機 K
品番 VB-F611KA

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（4～6 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

この取扱説明書の見方については8ページをご覧ください
機能名などは「さくいん」(210ページ)でさがすと便利です



まず読んでいただきたい はじめに

安全上のご注意	4
ご使用にあたってのお願いとお知らせ	7
この取扱説明書について	8
システム構成と付属品／添付品	10
各部のなまえとはたらき	13
コマンドナビキーについて 漢字	17
液晶表示部について	19
電話機の音量調節	24
電話機の角度調節	25
記入シートの使いかた	26



電話をかける／受ける

電話をかける	28
外線電話帳を検索して電話をかける	30
個人短縮ダイヤルで電話をかける	36
以前にかけた相手にかけ直す(再ダイヤル)	39
かかってきた相手にかけ直す(コールバック)	42
電話を受ける	46
外線を保留・転送する	47
外線がすべて使用中のとき(外線コールバック)	50
プッシュ信号を送る／キャッチホンサービスを利用する	51
ACR機能を使ってかける	52



内線電話として使う

内線にかける	54
内線を受ける	58
内線を保留・転送する	59
他の電話機で内線を受ける(内線代理応答)	61
音声で一斉またはグループ別に呼び出す	62
内線音声呼出に受話器を取らずに応答する (内線トークバック)	63
呼び出した相手が話し中のとき	64
相手が話し中、または応答しないとき	66
内線交互通話	68



より便利に使う

多機能電話機

席を外すとき(不在設定)	70
不在転送する	71
話中転送する	72
不応答転送する	73
会議通話／通話割込	74
アラームを設定する	75
夜間切替	76
マルチライン発信	77
マルチラインボタンで電話を受ける	79
フローティング保留ボタンを使う	81
着信数を制限する(回線数コントロール)	82
番号を確認する	84

メニューやFFボタンに登録された機能を使う

システム機能を使って操作する	85
電話機別機能を登録する	90
FFボタンを機能ボタンとして使う	91
電話機別機能／FFボタンに設定できる機能	92



簡単にダイヤルできる 電話帳／短縮ダイヤル登録

多機能電話機

電話帳／短縮ダイヤルについて	95
外線電話帳に登録する 指定	96
個人短縮ダイヤルに登録する	106
ラストナンバーリダイヤルをコピーして 個人短縮ダイヤルに登録する	114
他の内線番号の個人短縮ダイヤルに 登録する 指定	115
内線電話帳に名前を登録する 指定	116
名前入力のしかた	120
短縮ダイヤルに登録できるもの	124

指定電話機

多機能電話機



システム全体にかかわる 指定電話機での設定

システム全体に関わる設定をする 指定	125
カレンダー・時刻を設定する 指定	126
グループ別の通話料金 指定	127
内線番号別の通話料金 指定	129
ACR 機能を解除・復旧する 指定	130
共通短縮ダイヤルの発信回数 指定	131
自動夜間切替を設定する 指定	132
2.4G カラーデジタルコードレス電話機の FF キーの名称を登録する 指定	136
迷惑電話を登録する 指定	138

2.4G カラーデジタルコードレス電話機

お使いになる前に	148
外線へ電話をかける	150
内線へ電話をかける	152
外線の電話を受ける	154
内線の電話を受ける	155
電話を保留・転送する	156
通話中にドアホンからの呼び出しが あったときは	158
FF キーを利用する	160

その他の電話機について

単独電話機	161
-------------	-----

回線のサービスを利用する

本システムでご利用になれる回線サービス ..	164
発信者番号通知	166
ナンバー・ディスプレイ	167
ネーム・ディスプレイ	169
ダイヤルイン	170
サブアドレス通知	172



別売品を使った オプション

専用線で電話をかける	173
ダイレクト・イン・ダイヤル (DID) で 電話をかける	176
構内放送	177
ドアホンに应答	178
ヘッドセットを使う	179
BGM を聞く	180
集中受付装置の使いかた	181
状態表示盤を外線表示盤として使う	185
状態表示盤を在席表示盤として使う	188
8 者通話	189
グループ通話	190



取付け時の設定など 必要なとき

取付け時に設定する事項	191
番号早見表の使いかた	199
主要な音とランプ表示	201
停電のときは	205
困ったときは	206
仕様	208
さくいん	210
保証とアフターサービス	213

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■共通

付属品または専用品以外を使用しない  禁止 指定以外の機器を使用すると、火災や感電の原因となります。	機器をあけたり、分解・改造しない  分解禁止 感電の原因となります。 ●内部の点検や修理などは販売店へご依頼ください。	水などをかけない・水などに浸さない  水ぬれ禁止 発熱や発火の原因となります。
異物を入れない  禁止 隙間などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因となります。 ●万一、異物が入ったら、電源プラグ・アダプターを電源コンセントから抜いて、販売店へご相談ください。	通風孔をふさがない・機器の周りに物を置かない  禁止 内部に熱がこもり、発熱や火災の原因となります。	雷のときは電源プラグ・アダプター・コードに触らない  接触禁止 雷によっては感電の原因となります。
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用をしない  禁止 たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。	ぬれた手で電源プラグ・アダプターの抜き差しはしない  ぬれ手禁止 感電の原因となります。	

警告

■共通

電源プラグ・アダプター・コードを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づく、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねることをしない)



禁止

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- 損傷した場合は使用を中止し、販売店へ交換を依頼してください。

電源プラグ・アダプターは、根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだり、ゆるんでいる電源プラグ・アダプターやコンセントは、使用しないでください。

電源プラグ・アダプターのほこりなどは定期的に取り除く



差し込み部分にゴミやほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグ・アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは電源プラグやACアダプターを抜く*



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- 使用を中止し、販売店へご相談してください。

※：電源プラグやACアダプターの抜き差しの妨げにならないよう、コンセントの近くには物を置かないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください



注意

■共通

浴室や加湿器のそばなど、湿気が多い場所や塩水などのかかる場所、ほこりの多いところで使用しない



火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードを抜くときは必ず電源プラグ・アダプターを持って抜く



コードを引っ張ると、コードが破損し火災や感電、ショートの原因となります。

電源プラグを抜く

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

設置・増設・修理は、お買い上げの販売店または販売会社に相談してください 電話工事担任者の資格が必要です。	各種オプションをご利用の場合、それぞれの機器の取扱説明書に記載されている警告表示事項をお読みください。
機器に、強い衝撃や振動を与えないでください ● 落としたりぶつけたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因となります。	電源の「入」「切」は続けて行わないでください ● 故障の原因となります。
殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などに長時間付着させたままにしないでください ● 変質したり、塗料がはげる原因となります。	硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、有毒ガスなどの発生する場所に置かないでください ● 故障や機器の寿命が短くなる原因となります。
電磁波発生源や磁気を帯びたもの（高周波マシン・電気溶接機・磁石など）に近づけないでください ● 雑音の発生や故障の原因となります。	直射日光、暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください ● 機器表面や部分が変形・劣化するほか、故障の原因となります。
ラジオ、テレビ、コンピューター、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから2m以上離してお使いください ● 機器からのノイズにより雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因となります。	冷凍倉庫など特に温度の下がる場所に置かないでください ● 故障や動作不良の原因となります。
電話機ツイン接続をご利用の場合、スレーブ電話機の使用中にマスター電話機とスレーブ電話機間の接続ケーブルを抜かないでください。 ● スレーブ電話機が使用できなくなります。	

■お手入れについて

掃除するときはACアダプターをコンセントから抜いた状態で行ってください ● 誤動作の原因となります。
機器は、乾いた柔らかい布でふいてください 汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
お手入れには次のものは使わないでください (石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん) 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。

■廃棄（または譲渡、返却）される場合のお願い事項

本製品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な製品です。 製品内のデータ流出などの不測の損害などを回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを必ず消去する必要があります。 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
--

この取扱説明書について

① 電話をかける/受ける

個人短縮ダイヤルで電話をかける

個人短縮ダイヤルによくかける電話番号を登録すると(106ページ)、簡単な操作で電話をかけることができます。
個人短縮ダイヤルは電話機ごとに登録することができます。

個人短縮ダイヤルを検索してかける 漢字

コマンドナビキーの操作にて、個人短縮ダイヤルを検索して電話をかけることができます。

③ 1 待ち受け中に または を押す

⑤ 2 で「個人短縮ダイヤル」を選択する

⑤ 3 を押す

⑥ 4 でかけたい相手を選択する

④ 5 を押す

④ 6 押す

④ 7 取る

● 個人短縮ダイヤルのリストが表示される

● 選択した相手の詳細内容が表示される

■手順 4 で、かけたい相手を選択した後に を押して、電話をかけることができます。
■手順 5、6 を省略して電話をかけることができます。
■手順 4、5 で を押すと、選択中の個人ダイヤルの編集(108ページ)・削除(110ページ)をすることができます。
■待ち受け中に を 2 回押した後に を押して手順 3 の画面を表示させることもできます。

36

この取扱説明書にある操作説明は、次のような構成になっております。

- ① タイトル名を示しています。
- ② 機能・操作内容などを説明しています。
- ③ 操作手順を示しています。この番号順に操作します。
- ④ 操作の内容が書かれています。
- ⑤ 表示画面・・・操作の結果などが表示されます。
- ⑥ 操作上の補足説明や注意・参考事項などが書かれています。

画面について

本取扱説明書の画面は実際の表示とは異なる場合があります。

操作説明ページで使われているマークについて

漢字 : 漢字表示付電話機のみでできる操作です。

数字 : 数字表示付電話機のみでできる操作です。

指定 : 指定電話機（下記）での操作です。

 **取付け時設定** : このマークのついている機能をお使いになる場合には、取付け時の設定が必要です。設定を変更する際には、お買い上げの販売店にご相談ください。

 : 受話器を取ってください。

 : 受話器を戻してください。

用語／表記方法について

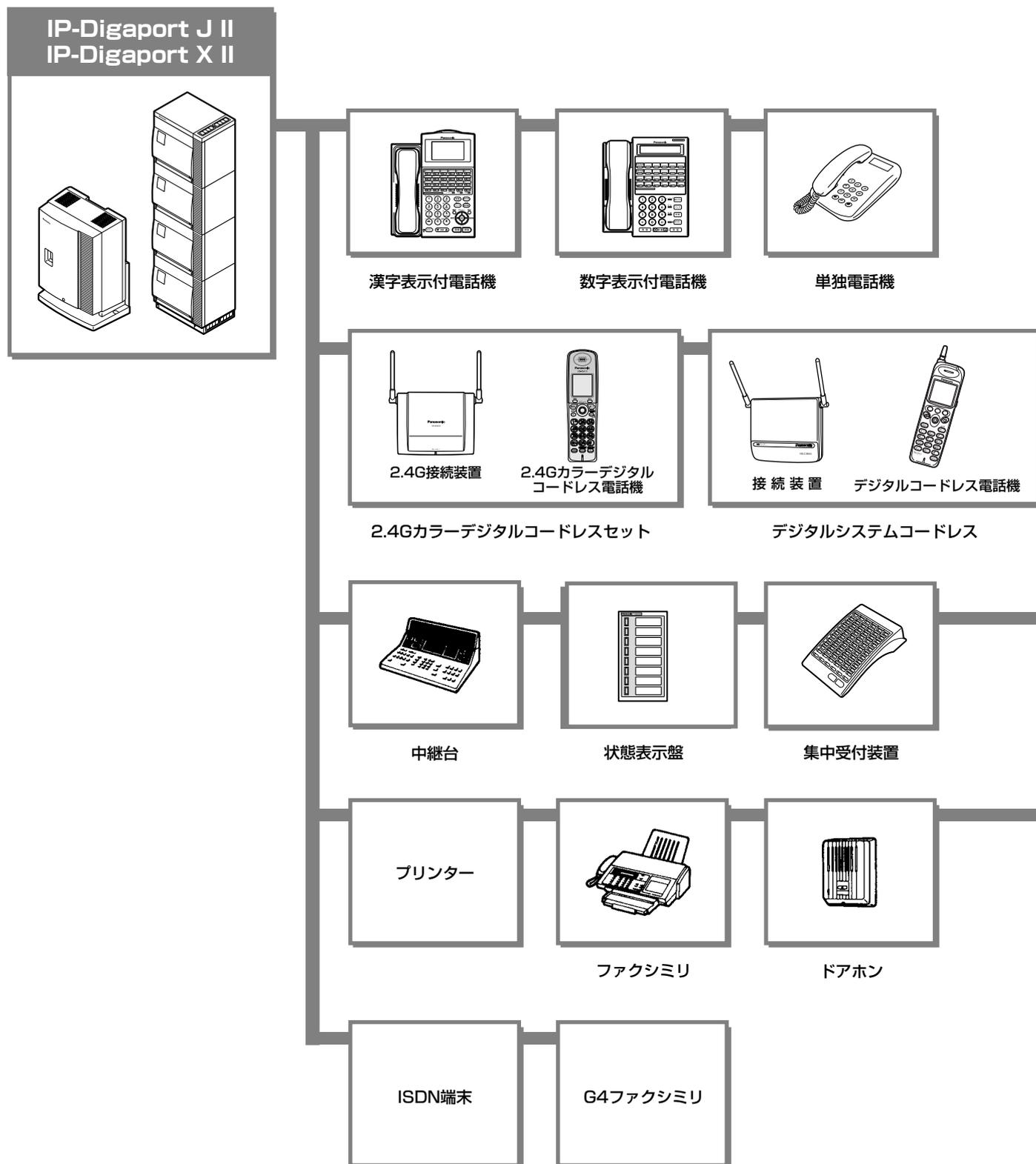
- 本文中のダイヤルボタンの表示は、数字のみを記載し、カタカナやアルファベットは省略しています。(例: ①)
- FF ボタンを外線ボタンとして使用する場合、本文中のイラストでは  と表記しています。
- FF ボタンを機能ボタンとして使用する場合、本文中のイラストではその機能ボタン名を  などと表記しています。
- 本文中に表記する製品および表示部に表示される文字の書体および文字サイズは、実際とは異なります。
- 本文中、プロバイダー（IP 電話事業者）の提供する IP 電話サービスを IP 回線と表記しています。

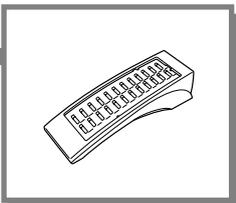
指定電話機とは

- 指定電話機とは、共通短縮ダイヤルの登録や夜間切替など、システム全体に関わる操作を行うための電話機です。**指定** の表示のある操作はこの電話機でしか操作できません。
- 指定電話機は、取付け時の設定により指定されます。指定電話機に設定されても、その他の電話機と同じようにお使いになれます。 **取付け時設定**
- 数字表示付電話機、2.4G カラーデジタルコードレス電話機を指定電話機とすることはできません。

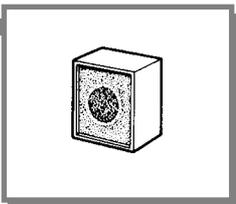
IP-Digaport J II / IP-Digaport X II に接続できる機器

IP-Digaport J II および IP-Digaport X II には、以下の機器を接続することができます。この他にも各種オプションを接続することもできます。各種オプションをご利用の場合は、お使いの機器・機能に対応したページおよび別冊の取扱説明書をお読みください。





24キー増設ユニット



構内放送用設備



外部保留用音源 /
BGM用音源

■接続電話機の種類

電話機の種類	品名	品番	FFボタンの数	停電時の 発信・着信
漢字表示付電話機	12キー電話機K	VB-F411KA	12	—
	24キー電話機K	VB-F611KA	24	—
	24キー電話機KP	VB-F611KPA		○
数字表示付電話機	12キー電話機N	VB-F411NA	12	—

※ 上記以外のパナソニック製の電話機も接続できます。詳しくは販売店にご相談ください。

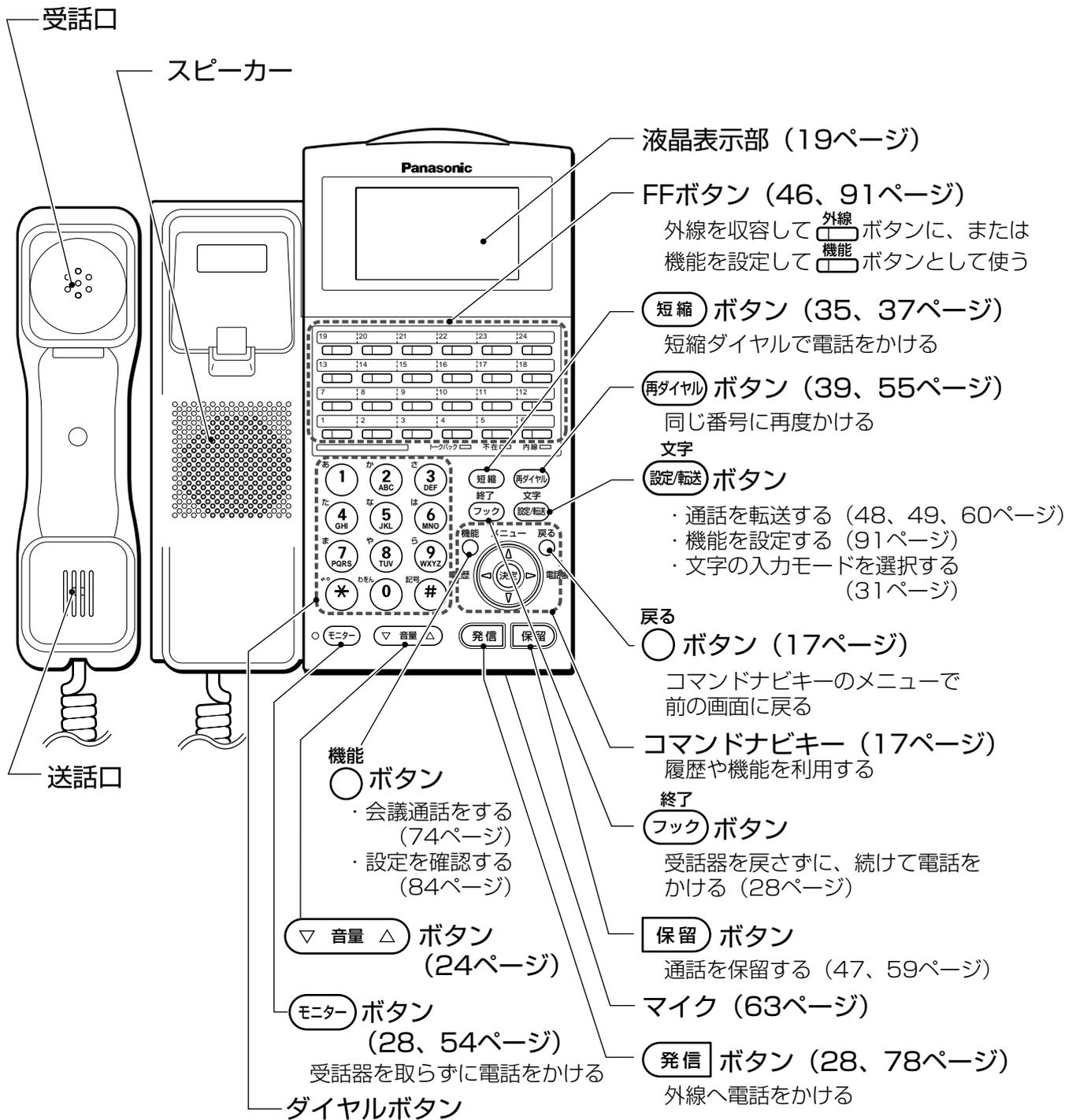
■付属品／添付品

製品名称	付属品／添付品名	数量
小型機種用CPUユニット	IP-Digaport J II/X II 取扱説明書（本書）	1
大型機種用CPUユニット(L)	漢字表示付電話機／数字表示付電話機 操作早見表	7
高級運用メモリー	ユーザー登録票	1
小型機種用バージョンアップメモリー	保証書	1
大型機種用バージョンアップメモリー		
小型機種用OS対応CPUユニット	IP-Digaport J II/X II 取扱説明書（本書）	1
OS対応高級運用メモリー	漢字表示付電話機／数字表示付電話機 操作早見表	7
ローミング用高級運用メモリー	デジタルシステムコードレスJ-3000e 操作説明書	1
小型機種用ローミング対応バージョンアップメモリー	デジタルシステムコードレスJ-3000e 操作早見表	1
大型機種用ローミング対応バージョンアップメモリー	デジタルシステムコードレスJ-3000e ナースコールシステムと運動時の 操作説明書（株式会社ケアコム製）	1
	ユーザー登録票	1
	保証書	1
ホテル高級運用メモリー	IP-Digaport J II/X II 取扱説明書（本書）	1
	漢字表示付電話機／数字表示付電話機 操作早見表	7
	ホテル機能 操作説明書	1
	デジタルシステムコードレスJ-3000e 操作説明書	1
	デジタルシステムコードレスJ-3000e 操作早見表	1
	デジタルシステムコードレスJ-3000e ナースコールシステムと運動時の 操作説明書（株式会社ケアコム製）	1
	ユーザー登録票	1
	保証書	1

※ 小型機種用ローミング対応バージョンアップメモリー、小型機種用バージョンアップメモリー、小型機種用OS対応バージョンアップメモリー、大型機種用バージョンアップメモリーには「CPC-S、SJ/CPC-Lのソフトウェアバージョンアップ手順」が1部添付されます。

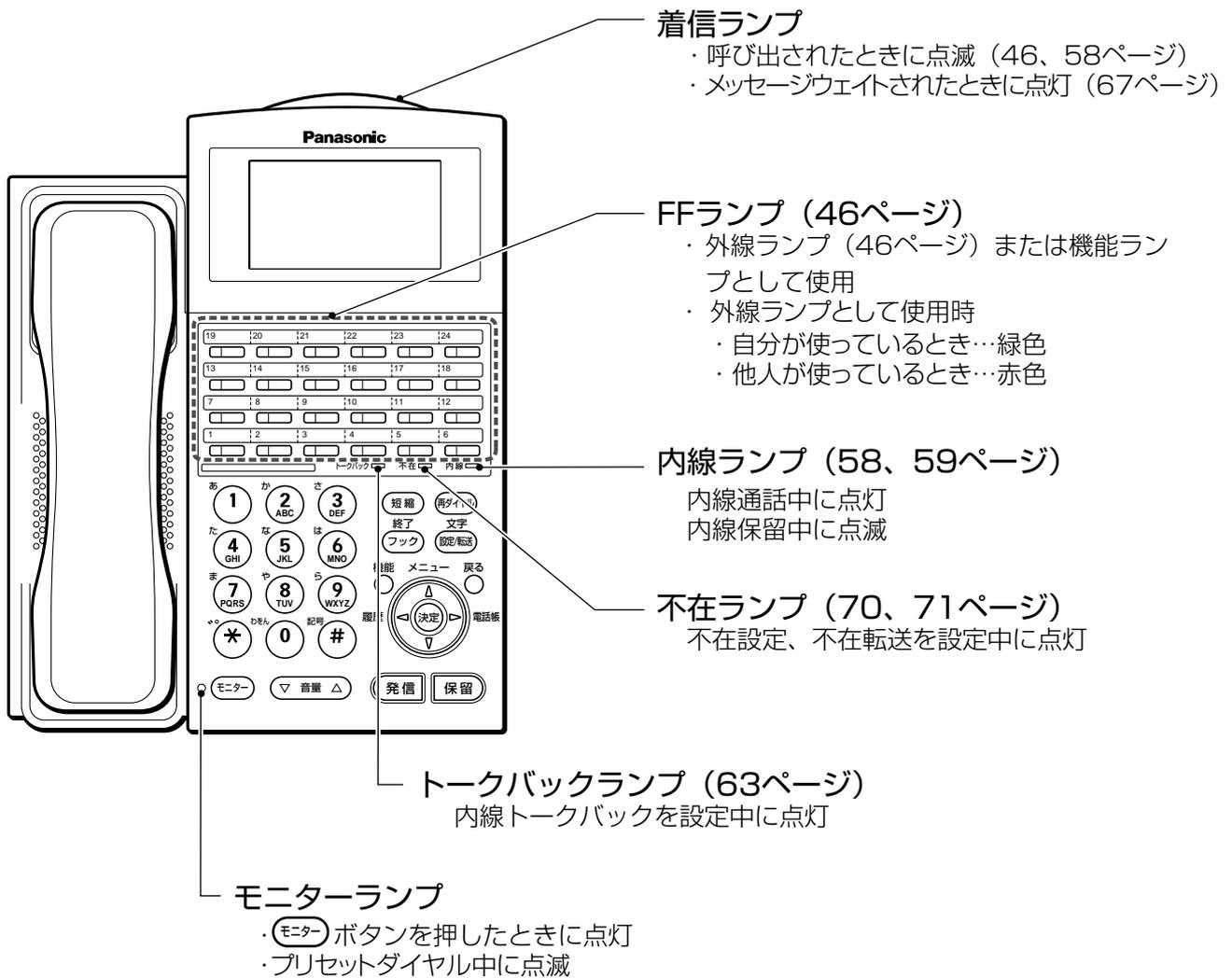
漢字表示付電話機のボタン類

<例：24キー電話機K（VB-F611KA）>



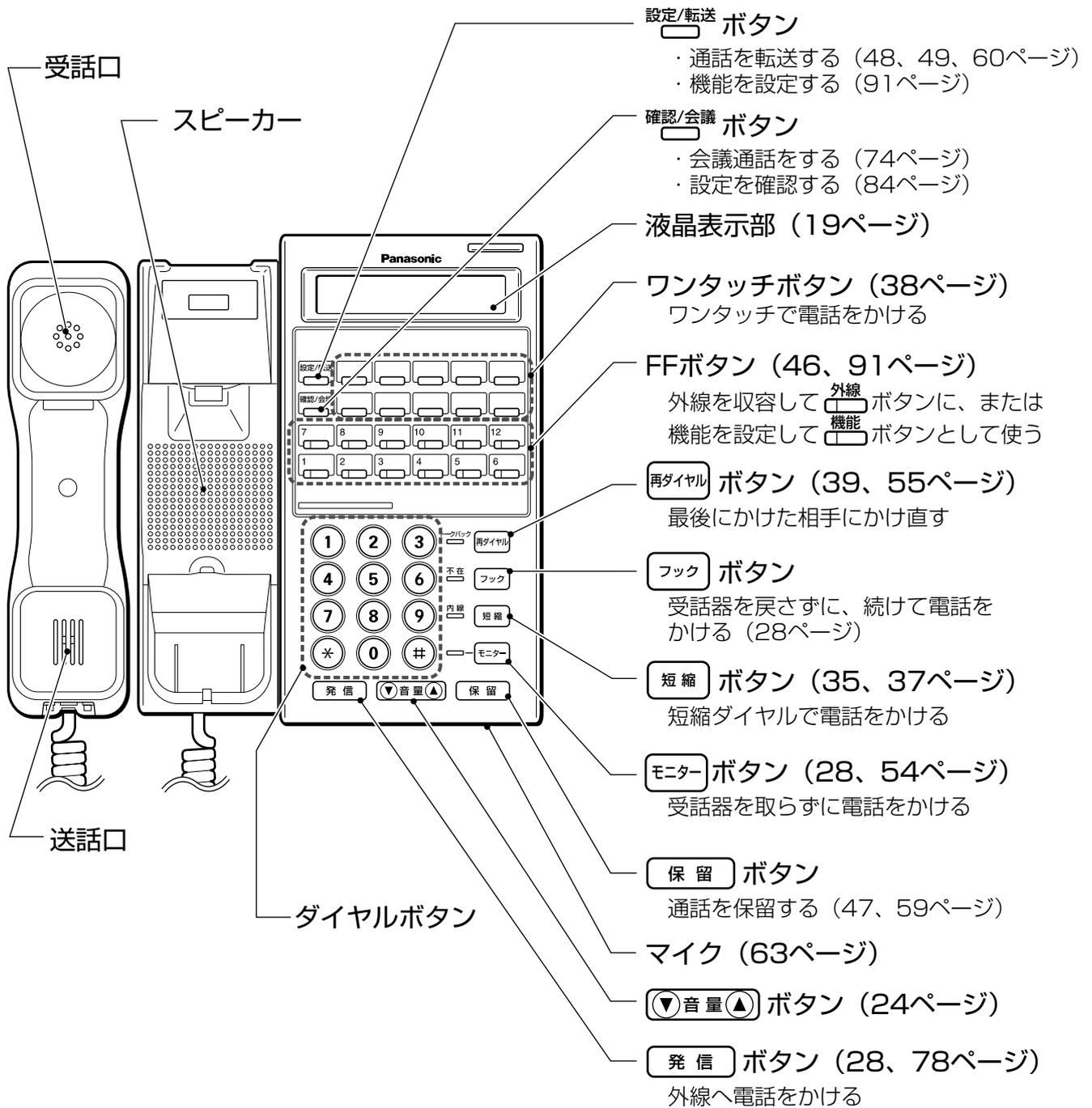
漢字表示付電話機のランプ類

<例：24 キー電話機K (VB-F611KA) >



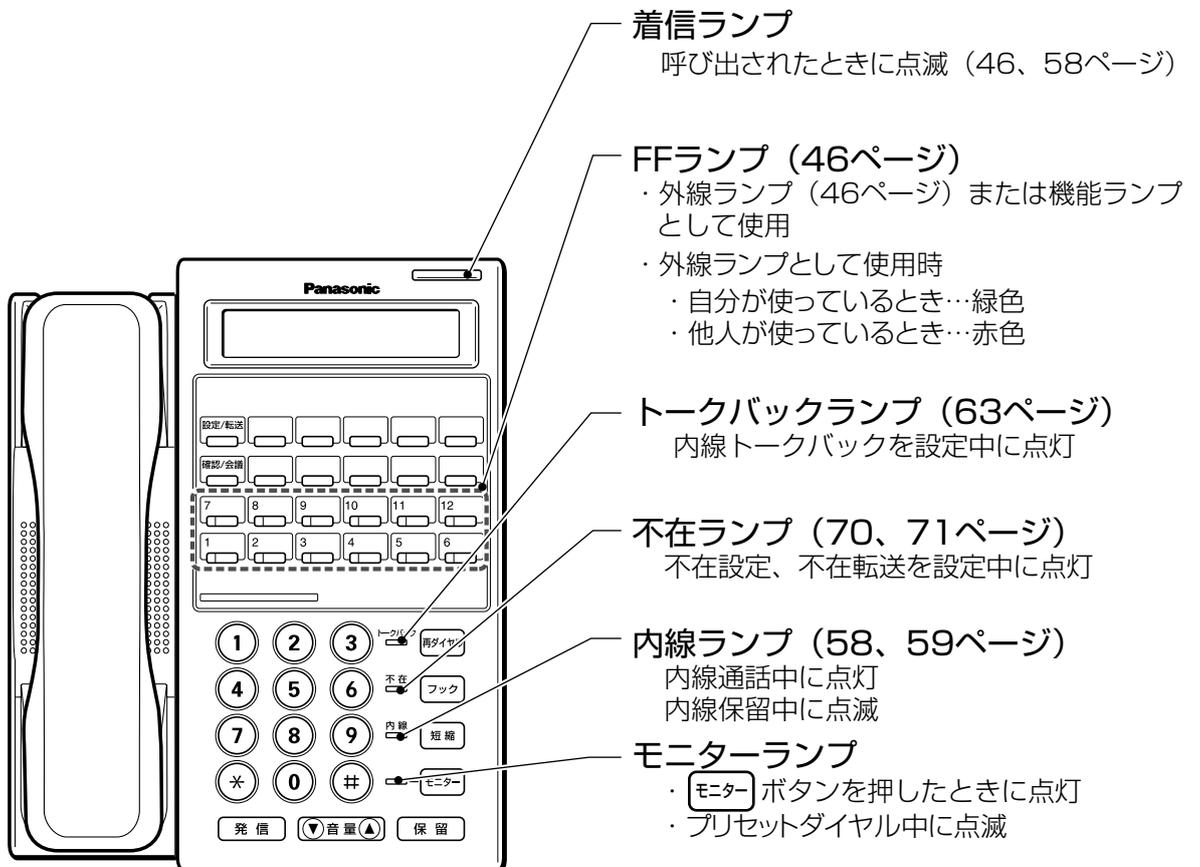
数字表示付電話機のボタン類

<例：12キー電話機N（VB-F411NA）>



数字表示付電話機のランプ類

<例：12キー電話機N（VB-F411NA）>



コマンドナビキーを操作することにより、電話帳や履歴から電話をかけたり、登録されている機能を利用することができます。

コマンドナビキーの基本的な操作について

コマンドナビキーの基本的な動作は次のとおりです。

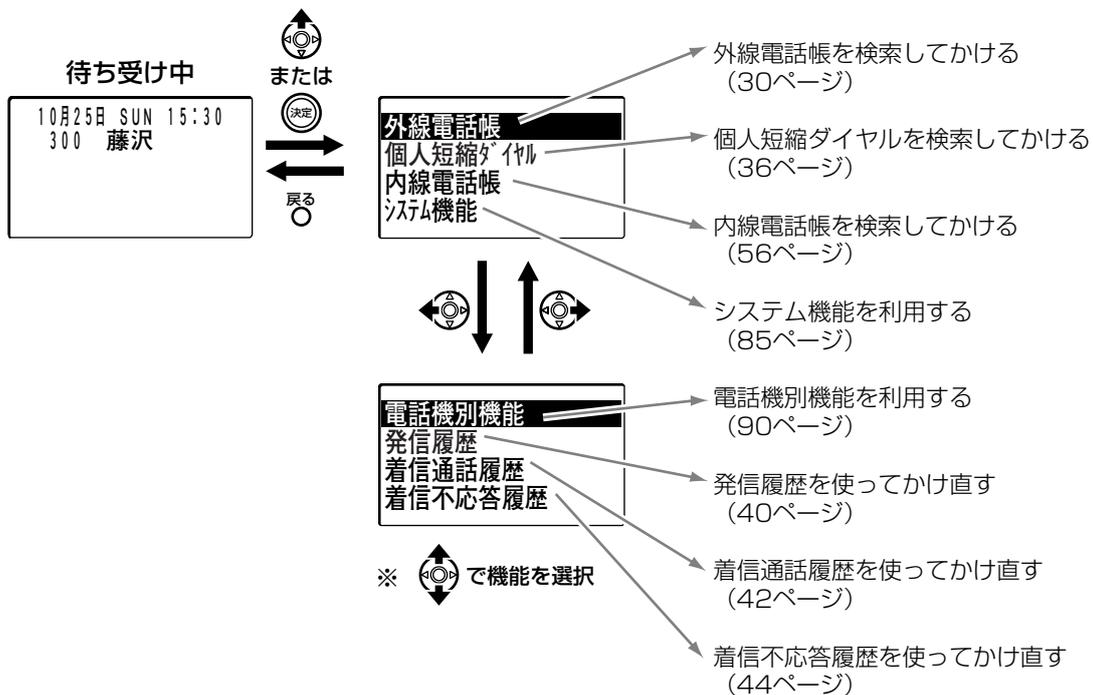
ボタンの表記	状態	待ち受け中	メニュー項目選択時
	上を押す	メニュー画面を表示	1行上の項目を選択(カーソル※1※2が移動)、1行目の場合、前の画面へ移動
	下を押す	_____	1行下の項目を選択(カーソル※1※2が移動)、最終行の場合、次の画面へ移動
	左を押す	履歴画面を表示	前のページへ移動
	右を押す	電話帳検索画面を表示	次のページへ移動
	真ん中を押す	メニュー画面を表示	項目を確定
		表示画面に応じて	、、、 を押し、画面の移動や項目を選択。
機能 ○		_____	サブメニュー画面へ移動
戻る ○		_____	前の画面に戻る

※1:カーソルとは、メニューなどに表示される「」のことをいいます。また、「」は、その項目が選択されていることを表します。

※2: を約1秒以上押しと、電話帳検索画面の電話帳データ表示と、発着信履歴画面の履歴データ表示の場合のみ1行ずつ連続してカーソルがスクロールします。スクロールの速さは変更することができます。 **取付け時設定**

コマンドナビキーから利用できる機能

待ち受け画面からコマンドナビキーを操作することで、以下の機能を利用することができます。

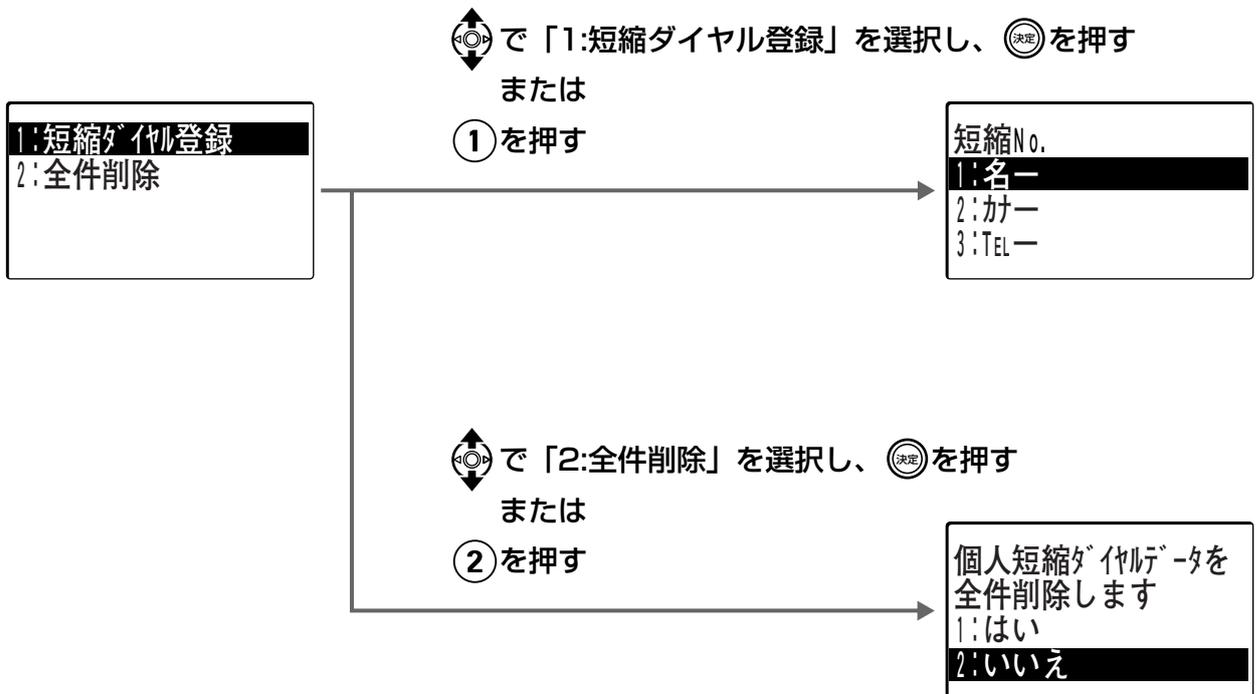


■コマンドナビキーの操作画面で何も操作をしない状態が約30秒間続いた場合、待ち受け中に戻ります。待ち受け中に戻るまでの時間は変更することができます。 **取付け時設定**

項目の選択について

コマンドナビキーの操作の中で、画面に表示される項目名称の前に番号が付いていることがあります。その場合、その番号のダイヤルボタンを押すことで項目を確定することもできます。

本取扱説明書では、 で項目を選択したのち、 を押して項目を確定する手順で操作説明をします。



はじめに

液晶表示部について

液晶表示部には時刻、ダイヤル番号、通話時間、通話料金などを表示します。

ボタンを押したときの表示

ボタン 表示タイプ	①～⑩	＊	＃	短縮	再ダイヤル	文字 設定/転送	設定/転送 □	確認/会議 □
漢字表示付電話機	1 0	＊	＃	A	R	F	/	/
数字表示付電話機	1 0	*	#	0	-	/	f	[

※この取扱説明書において、表示部に表示される書体および文字サイズは実際とは異なります。

- 漢字表示付電話機で表示できるケタ数は、20ケタです。20ケタ以上になると、順に表示したあと末尾20ケタを表示します。
- 数字表示付電話機で表示できるケタ数は、12ケタです。12ケタ以上になると、順に表示したあと末尾12ケタを表示します。

待ち受け中の表示（日付・曜日・時刻表示）

通話していないときは、日付・曜日・時刻と電話機の内線番号・名前が表示されます。

<漢字表示付電話機>



<数字表示付電話機>



- 漢字表示付電話機で、内線の名前が登録されていないときは、名前は表示されません。
- 時計の精度は、月差約40秒です。
- 時刻の設定・変更は、指定電話機で行います。（126ページ）
- 受話器を取るか、**メモ**を押すと、日付・曜日・時刻表示は消えます。

《曜日の表示》

SUN	日曜日	THU	木曜日
MON	月曜日	FRI	金曜日
TUE	火曜日	SAT	土曜日
WED	水曜日		

外線にかける／外線を受けるときの表示

《外線にかけたら》

外線にかけるときに、ダイヤルした電話番号を表示します。

<漢字表示付電話機>

0459321231
局線 01

<数字表示付電話機>

0459321231

- 漢字表示付電話機で、名前を登録した短縮ダイヤルや外線電話帳からかけたときは、登録されている相手の名前を表示します。

《外線からかかってきたとき》

<漢字表示付電話機>

着信 局線 01
300
鈴木太郎
0453333333

<数字表示付電話機>

0453333333

発信者の電話番号

発信者の名前

- 発信者の電話番号が通知されてかかってきたときは、電話番号や名前を表示します。(167 ページ)

《外線を受けたときの外線通話中》

<漢字表示付電話機>

通話時間
局線通話 3' 01
局線 01

<数字表示付電話機>

通話時間
3-01

使用外線の
種類

外線番号

漢字

《NCC回線を使って外線にかけたとき》

漢字表示付電話機では、使っている NCC の略称が表示されます。

0' 50 300円
□ 02 2%

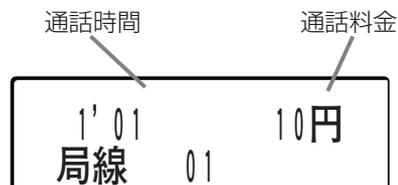
NCCの略称が表示されます

通話時間と通話料金の表示

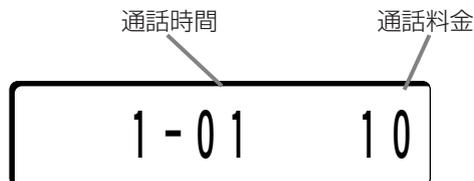


外線に電話をかけたとき、相手との通話が始めると、通話時間・通話料金を表示します。

<漢字表示付電話機>



<数字表示付電話機>



※通話時間の表示は59分までで、60分を超えると0分から再スタートします。

※通話料金の表示は最大99,999円まで1円単位で表示されます。99,999円を超えると、99,999円のまま表示は変わりません。

- 通話時間・通話料金の計算は、相手の応答後に開始（他の構内交換機に接続されているときは、ダイヤル終了後約15秒で計算を開始）します。
- 表示付電話機の通話料金表示は、通話管理装置のデータ内容と同一とは限りません。また、NTTなどで集計した料金などの内容とも同一とは限りません。集計結果に差異が生じた場合でも、公式データとしてNTTなどに提出・申し立てることはできません。
- 料金のデータは、請求・支払いの対象にしないでください。
- 会議通話中は、通話料金表示されません。
- IP回線やNCC回線を利用したときでも、NTT回線を使用してかけた場合の料金で表示されます。

内線にかける／内線を受けるときの表示

《内線にかけたら》

内線へかけるとき、ダイヤルした内線の名前または内線番号が表示されます。転送された場合、転送先の名前または内線番号が表示されます。

<漢字表示付電話機>

呼出	鈴木	相手の名前
300	藤沢	

<数字表示付電話機>

350

- 漢字表示付電話機で、内線の名前が登録されていないときは、相手の内線番号が表示されます。

《内線からかかってきたとき》

内線からかかってくると、発信者の内線の名前または内線番号が表示されます。

<漢字表示付電話機>

呼出	鈴木
300	藤沢

<数字表示付電話機>

350

- 漢字表示付電話機で、内線の名前が登録されていないときは、相手の内線番号が表示されます。

漢字表示付電話機では、不在転送、話中転送、不応答転送（71～73ページ）されてかかってきたとき、転送元と発信者の内線番号が表示されます。

<漢字表示付電話機>

呼出	内線	200	発信者の内線番号
転送	内線	100	転送元の内線番号

- 外からの電話の場合は、発信者の番号は表示されません。
- 内線の名前が登録されているときは、内線名が表示されます。

《内線通話中》

<漢字表示付電話機>

通話	内線	350
300	藤沢	

<数字表示付電話機>

350

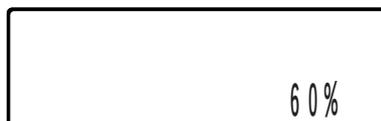
- 代理応答（61ページ）、内線指定代理応答（61ページ）、不在転送（71ページ）など、ダイヤル番号以外の方が応答したときは、応答した人の内線番号が表示されます。

グループ別通話料金のパーセント表示

漢字

漢字表示付電話機では、各月のグループ別の通話料金の予算金額を設定すると、使用状況が%で表示されます。予算に対してどのくらい使っているかがひと目でわかります。

<漢字表示付電話機>



- %表示は外線発信時に表示され、1%ごとに変化します。
- 通常料金の使用状態が200%を超えても、表示は200%のままです。
- 予算額の設定・確認などの操作は、指定電話機で行います。(127ページ)

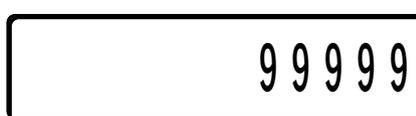
ISDN 回線使用時の表示について

ISDN 回線を使用すると、着信時の発信元の番号、通話終了後に通話料金などを表示します。

<漢字表示付電話機>



<数字表示付電話機>



- ISDN回線への外線発信通話が終わり、受話器を戻すと表示部に通話料金(最大5ケタ)が表示されます。

取付け時設定

- 国際通話、NCC通話などを行った場合には、通話料金は表示されません。

液晶表示部のコントラスト調節方法

漢字

漢字表示付電話機では、液晶表示部のコントラストを調節することができます。

《待ち受け中に》

- 1 ^{機能} ○ 押す
- 2 濃くする... 押す
うすくする... 押す

漢字表示付電話機のバックライト表示

漢字

漢字表示付電話機では、以下の場合に液晶表示部のバックライトが点灯します。

- 受話器を取ったとき、戻したとき
- いずれかのキーを押したとき
- 着信したとき

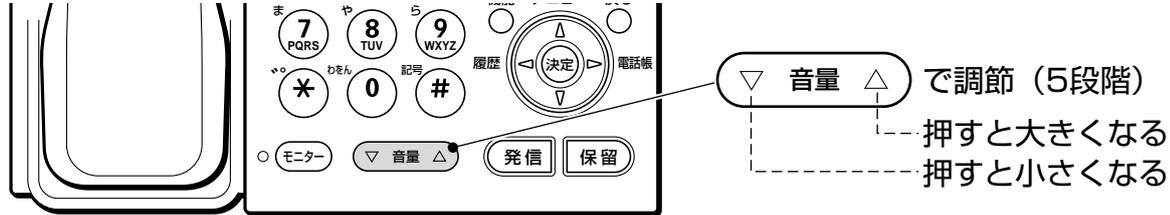
バックライトは約20秒後に消灯します。

バッテリー運用時の漢字表示付電話機のバックライト表示

漢字

- バッテリー運転時は、バックライトが点灯しません。また、呼出音量、スピーカー音量が小さくなります。取付け時の設定によりバックライトを点灯させることができますが、配線距離や接続のしかたによっては、バッテリー運転時の動作保障ができない場合があります。 取付け時設定

音量の調節方法



《受話音量》

通話中に

大きくする... **音量** **△** 押す
 小さくする... **▽** **音量** 押す

- 通話後、受話器を戻すと元の音量に戻ります。
- 大きすぎてハウリングする場合は、小さくしてください。

《スピーカーの音量》

通話をしていないときに

- 1 **モニター** 押す
- 2 大きくする... **音量** **△** 押す
 小さくする... **▽** **音量** 押す
- 3 **モニター** 押す

- 通話中にスピーカー音量を調節するときは、手順 2 のみを行います。
- スピーカーの音量を調節した場合、話中時着信音 (193 ページ) の音量も調節されます。

《呼出音量》

呼出 (着信) 音が鳴っているときに

大きくする... **音量** **△** 押す 小さくする... **▽** **音量** 押す

呼出 (着信) 音が鳴っていないときに (通話していないとき)

外線からかかってきたときの着信音量と内線個別呼出音量を調節することができます。

《外線からかかってきたときの着信音量を調節する》

- 1 **モニター** 押す
- 2 **文字** **設定/転送** **9** **1** 押す
- 3 大きくする... **音量** **△** 押す 小さくする... **▽** **音量** 押す
- 4 **モニター** 押す

- 内線個別呼出音の音量を個別に調節するときは、手順 2 で **文字** **設定/転送** **9** **2** を押してください。

☎ 取付け時設定

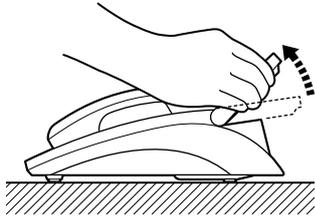
- ヘッドセットモードに切り替えているときは、呼出音の音量調節はできません。

角度の調節方法

漢字

《液晶表示部の調節》

漢字表示付電話機では、液晶表示部の角度を任意の角度で調節できます。



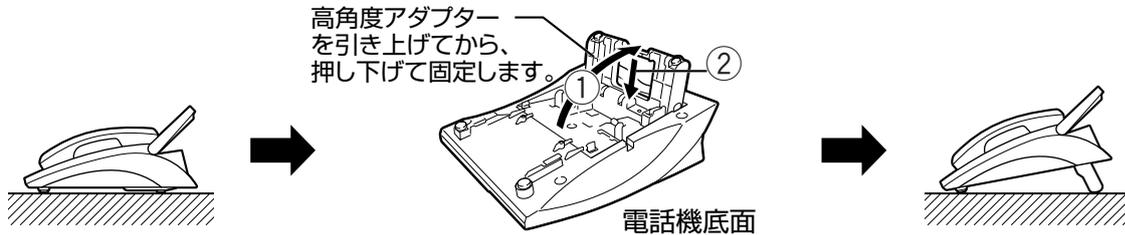
お願い

- 角度調節で可動が止った所が角度調節の限度です。無理な力を加えて角度調節の限度以上に調節を行わないでください。液晶表示部や電話機が破損する原因になります。
- 電話機の移動などのとき、液晶表示部のみを持たないでください。液晶表示部や電話機が破損する原因になります。

《電話機の角度調節》

高角度アダプターにより、電話機の角度を変えることができます。

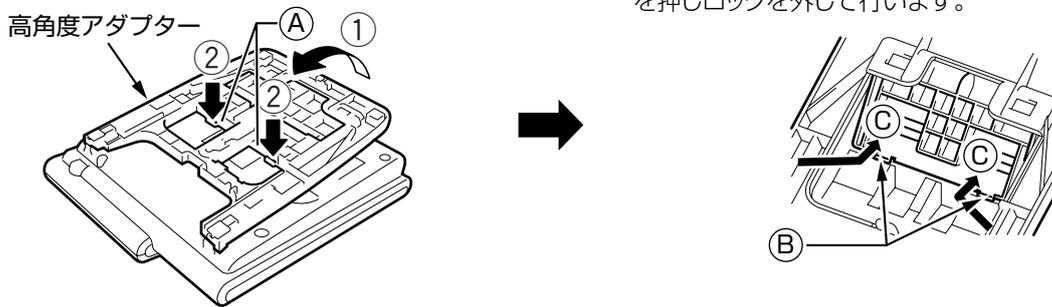
<漢字表示付電話機>



<数字表示付電話機>

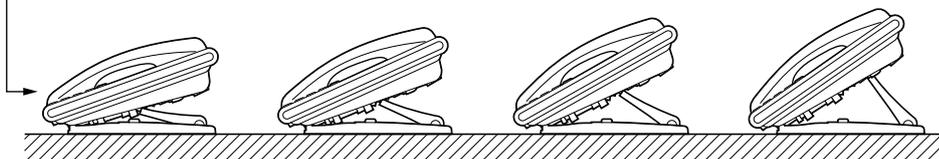
電話機底面の高角度アダプターを①の方向に回転させ、高角度アダプターの(A)部を②の方向に押し外します。

(B)部を電話機底面にロックします。角度を調節するときは、(C)部(「押す」の表示があります)を押しロックを外して行います。



- 下図のように4段階までロックの位置によって調節できます。

※ この角度の場合、高角度アダプターを手前に引き上げて(C)部を押してください。



お願い

- 4段階以上無理に広げようとしないでください。破損の原因となります。

記入シートを使う

記入シートには、電話番号や名前、設定した機能などを書き込みます。

《外しかた》

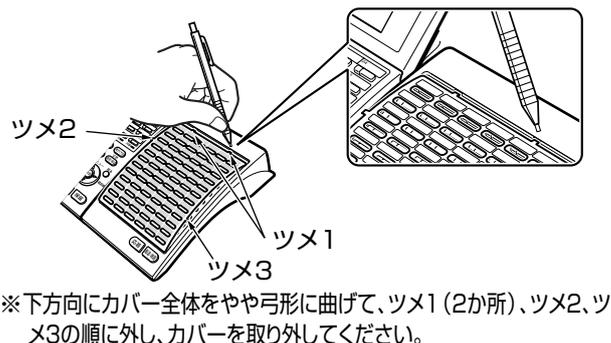
漢字表示付電話機の場合

カバー下部の穴にシャープペンなどの先を軽く差し込み、カバーと記入シートを取り外す



集中受付装置の場合

カバー右上部の穴にシャープペンなどの先を軽く差し込み、カバーと記入シートを取り外す



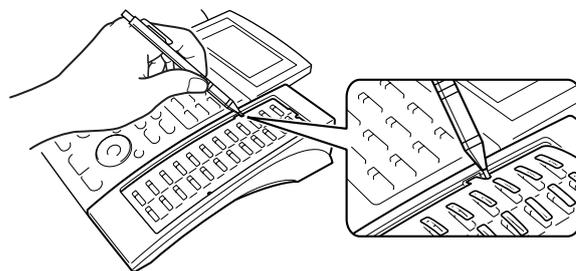
数字表示付電話機の場合

カバー横の穴にシャープペンなどの先を軽く差し込み、カバーと記入シートを取り外す



24キー増設ユニットの場合

カバー横の穴にシャープペンなどの先を軽く差し込み、カバーと記入シートを取り外す



《書き込みかた》

FFボタン、ワンタッチボタンの上のスペースに、登録した名前や機能を書き込む

(例)

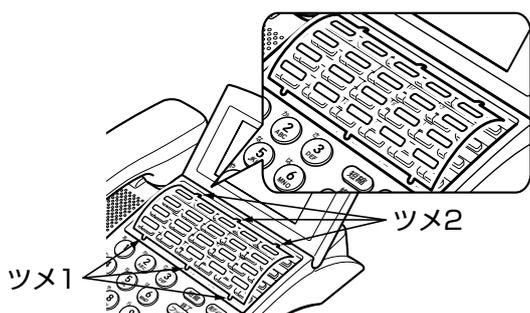
設定/転送	〇〇会社	〇〇会社			
		□□営業所			
確認/会議					

《取り付けかた》

電話機の場合

- 1 記入シートを元の位置に戻す
- 2 カバーのツメ1を差し込み、カバーをやや弓形に曲げて、ツメ2をはめ込む

＜漢字表示付電話機＞



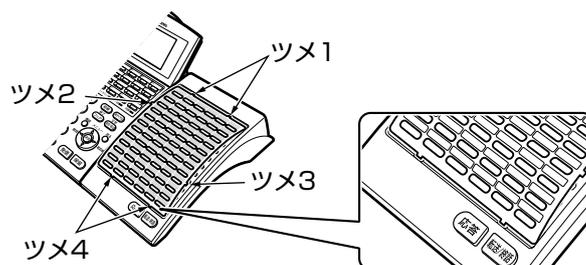
＜数字表示付電話機＞



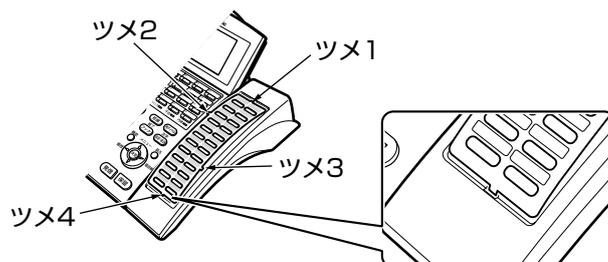
集中受付装置・24キー増設ユニットの場合

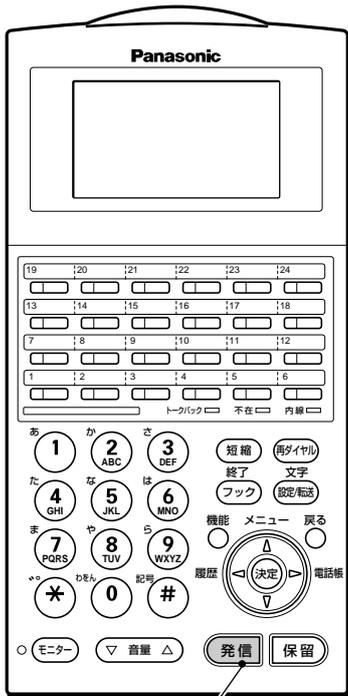
- 1 記入シートを元の位置に戻す
- 2 カバーのツメ4を差し込み、カバーをやや弓形に曲げる
- 3 ツメ3→ツメ2→ツメ1の順に下からツメをはめ込む

＜集中受付装置＞



＜24キー増設ユニット＞





発信

電話をかける

- 1  取る

- 2  押す
 - 「ツー」が聞こえ、外線ランプ 緑色点灯

- 3 電話番号を押す
 - ISDN回線/IP回線でかけるときは、電話番号のあとに**☎**を押す

■ 発信 を押すと

→お買い上げ時の設定では、その電話機のグループ（0発信グループ）の0発信に相当する外線を捕捉しますが、**☎**、**7**などのダイヤルを押したときと同じ外線を捕捉するように設定することもできます。

☎ 取付け時設定

→マルチラインボタンを選択して電話をかけるようにすることもできます。(78ページ) ☎ 取付け時設定

■本システムを構内交換機に接続しているとき

→電話番号の前に外線発信番号(例：**☎**)を押します。

■通話が終わってから、続けて電話をかけるには

→受話器を戻さずに ^{終了} **フック** を押すと、外線発信音(ツー)が聞こえ、続けてダイヤルできます。

■IP回線でかけたとき

→回線がご利用になれない場合に、自動的に電話(アナログ)回線やISDN回線から発信してご利用になることができます。☎ 取付け時設定

受話器を取らずに電話をかける

- 1  発信 →
- 2 電話番号 →
- 3 相手が出たら 

- ISDN回線/IP回線でかけるときは、電話番号のあとに**☎**を押します。
- 相手が出ないときは、**モニター**を押して電話を切ります。

お願い

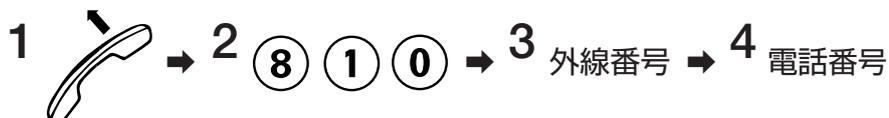
- 間違い電話を防ぐため、電話番号は発信音を確認してから正確にダイヤルしてください。
- IP回線で電話をかけて回線が使用できずに自動的に電話(アナログ)回線やISDN回線から発信された場合は、使用した回線の通話料金がかかります。



特定の外線を使って電話をかける（指定外線発信）



取付け時設定



- ISDN 回線／IP 回線でかけるときは、電話番号のあとに(井)を押します。

電話番号を確認してから電話をかける (プリセットダイヤル)

ダイヤルした電話番号を確認してから電話をかけることができます。また、外線電話帳 (30 ページ) や再ダイヤル (39 ページ)、発信履歴 (40 ページ)、着信通話履歴 (42 ページ)、着信不応答履歴 (44 ページ) に記憶されている電話番号を呼び出して電話番号を確認してから電話をかけることもできます。

1

電話番号を押す

- モニターランプ点滅

2



押す

3



取る

■プリセットダイヤルを途中でやめるには

-  を押してください。

■手順 1 で番号を押し直すには

-  または  を押してください。番号の最後から 1 ケタずつ消去されます。

外線電話帳を検索して電話をかける

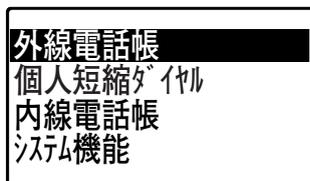
コマンドナビキーの操作にて、外線電話帳（共通短縮ダイヤル）を検索して電話をかけることができます。外線電話帳の検索方法は4種類あります。

- ・フリガナで検索してかける…………… 30 ページ
（相手の名前（フリガナ）全体、または一部が分かっている場合）
- ・頭文字を選択してからかける…………… 32 ページ
（相手の名前（フリガナ）の頭文字が分かっている場合）
- ・グループを選択してからかける…………… 33 ページ
（相手のグループが分かっている場合）
- ・メモリー番号（共通短縮番号）で検索してかける…………… 34 ページ
（相手が登録されているメモリー番号（共通短縮番号）が分かっている場合）

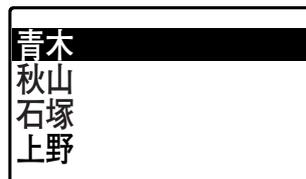
フリガナで検索してかける

漢字

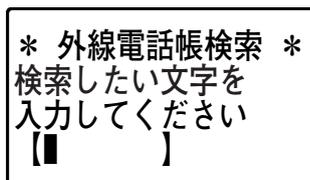
- 1 待ち受け中に  または  押す
- 4  または  押す



- メニュー画面が表示される



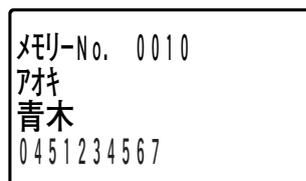
- 2  押す



- カタカナ検索画面が表示される
- 待ち受け中に  を押してもカタカナ検索画面を表示させることができる

- 5  でかけたい相手を選択する

- 6  押す



- 選択した相手の詳細内容が表示される
-  で詳細内容の表示が切り替わる
-  で相手が切り替わる

- 3 検索したい文字を入力する

- 31 ページの「検索したい文字の入力方法」の方法で入力する
-  を押すと検索方法が切り替わる
-  を1回押す：頭文字を選択して検索 (32 ページ)
-  を2回押す：グループを選択して検索 (33 ページ)
-  を3回押す：メモリー番号（共通短縮番号）で検索 (34 ページ)

- 7  押す

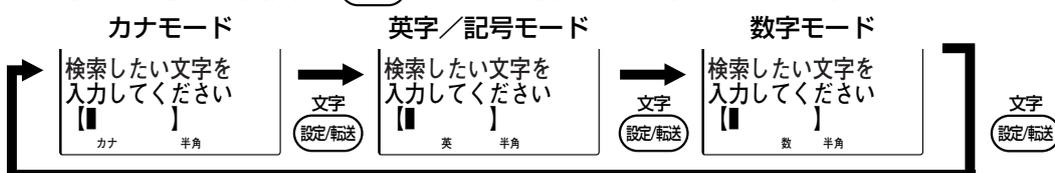
- 8  取る

- 数字表示付電話機では利用できません。「共通短縮番号でかける」(35ページ)の操作で電話をかけてください。
- 外線電話帳(共通短縮ダイヤル)を登録する場合、「外線電話帳に登録する」(96ページ)をご覧ください。
- 手順5で、かけたい相手を選択した後に  を押して、発信することもできます。
- 手順6、7を省略して電話をかけることができます。
- 手順5で  を押すと、選択中の外線電話帳の編集(102ページ)、削除(104ページ)をすることができます。

検索したい文字の入力方法

漢字

検索の文字を入力する画面で  ボタンを押して入力モードを選択します。



検索した文字の入力は、ダイヤルボタンを使って入力します。押す回数によって、入力できる文字が変わります。最大8文字まで入力することができます。

モード ボタン	カナモード	英字/記号モード	数字
①	ア イ ウ エ オ ↳ア イ ウ エ オ		1
②	カ キ ク ケ コ	A B C a b c	2
③	サ シ ス セ ソ	D E F d e f	3
④	タ チ ツ テ ト ッ	G H I g h i	4
⑤	ナ ニ ヌ ネ ノ	J K L j k l	5
⑥	ハ ヒ フ ヘ ホ	M N O m n o	6
⑦	マ ミ ム メ モ	P Q R S p q r s	7
⑧	ヤ ユ ヨ ヤ ユ ヨ	T U V t u v	8
⑨	ラ リ ル レ □	W X Y Z w x y z	9
⑩	ワ ヲ ン		0
＊	ゝ っ	. - @ _ / : ~	*
＃	, . - · ! ? (空白)	, ! ? ¥ & () * # ' " = ^ + ;	#
	カーソルを右へ移動する。		
	カーソルを左へ移動する。		
 または 	検索結果を表示する。		
	検索結果を表示する。ただし、入力した文字の1つ前の相手が表示される。		
戻る 	入力した文字を1文字分消去する。1秒以上押すとすべての文字を消去する。文字が入力されていない状態で押すと、前の画面に戻る。		
短縮 	入力した文字をすべて消去し、カナモードに移動する。		
機能 	頭文字選択画面に移動する。		

頭文字を選択してからかける

漢字

外線電話帳からかけたい相手の頭文字を選択したあと、相手を選択して電話をかけることができます。

- 1 待ち受け中に  または  押す
 - メニュー画面が表示される
- 2  押す

* 外線電話帳検索 *

検索したい文字を
入力してください
【 】

 - カタカナ検索画面が表示される
- 3  押す

ア-オ
カ-コ
サ-ソ
タ-ト

 - 頭文字選択画面が表示される
- 4  でかけたい相手の頭文字を
選択する
 -  を押すと検索方法が切り替わる
 -  を 1 回押す：グループを選択して検索 (33 ページ)
 -  を 2 回押す：メモリー番号 (共通短縮番号) で検索 (34 ページ)
 -  を 3 回押す：フリガナで検索 (30 ページ)
- 5  押す

青木
秋山
石塚
上野

 - 選択した頭文字から始まる相手が表示される
- 6 相手を選択して電話をかける
(30 ページの手順 5 ~ 手順 8)

■手順 3 を省略することができます。 取付け時設定

グループを選択してからかける

漢字

外線電話帳からグループを選択したあと、グループ内から相手を選択して電話をかけることができます。

1 待ち受け中に  または  押す

- メニュー画面が表示される

2  押す

* 外線電話帳検索 *
検索したい文字を
入力してください
【 】

- カタカナ検索画面が表示される

3  を 2 回押す

00: 販売
01: 製造
02: サービス
03: グループ 3

グループ名
グループ番号

- グループ選択画面が表示される

4  でグループを選択する

-  を押すと検索方法が切り替わる
-  を 1 回押す：メモリー番号（共通短縮番号）で検索（34 ページ）
-  を 2 回押す：フリガナで検索（30 ページ）
-  を 3 回押す：頭文字を選択して検索（32 ページ）

5  押す

青木
秋山
石塚
上野

- 選択したグループに登録されている相手が表示される

6 相手を選択して電話をかける
(30 ページの手順 5 ~ 手順 8)

■グループ名の登録操作は、指定電話機で行います。(101 ページ)

外線電話帳を検索して電話をかける

メモリー番号（共通短縮番号）で検索してかける 漢字

外線電話帳からメモリー番号（共通短縮番号）で検索して電話をかけることができます。

- 1 待ち受け中に  または  押す
 - メニュー画面が表示される
- 2  押す

* 外線電話帳検索 *

検索したい文字を
入力してください
【 】

 - カタカナ検索画面が表示される
- 3  を3回押す

* 外線電話帳検索 *

メモリー番号を
入力してください

 - 番号の入力画面が表示される
- 4 メモリー番号を押す
 - メモリー番号入力中に  を押すと検索方法が切り替わる
 -  を1回押す：フリガナで検索（30ページ）
 -  を2回押す：頭文字を選択して検索（32ページ）
 -  を3回押す：グループを選択して検索（33ページ）
- 5  押す

0100-田中
0101-鈴木
0102-川田
0103-伊藤

↑

メモリー番号

 - 選択したメモリー番号に登録されている相手が表示される
- 6  でかけたい相手を選択する
- 7 電話をかける
(30ページの手順6～手順8)

■手順5で  を押すと、選択中の外線電話帳の編集（102ページ）、削除（104ページ）をすることができます。

■ダイヤル操作で、メモリー番号に登録されている相手に電話をかけることができます。

取付け時設定

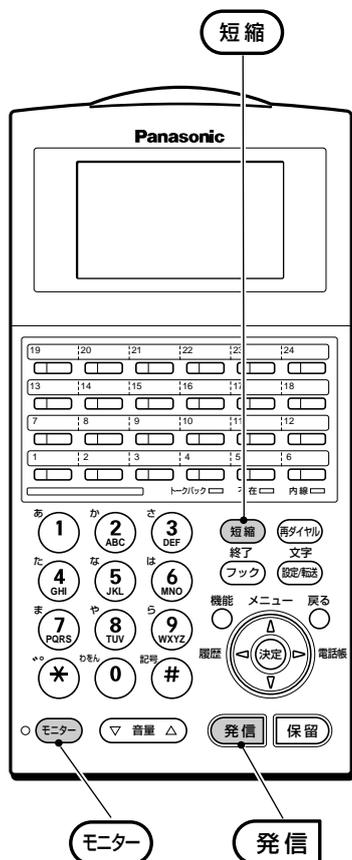
- 1  → 2    → 3 メモリー番号 (    ~    )

IP-Digaport J11 の場合、メモリー番号は     ~     になります。

共通短縮番号でかける

短縮ダイヤルだと

いままでは



①①①～⑦⑨⑨の共通短縮番号に登録された相手に、**短縮**を使って電話をかけることができます。

1



取る

●取らずにかけるときは手順2から

2

発信

押す

3

短縮

押す

4

短縮番号 (3ケタ)

(①①①～⑦⑨⑨)

を押す

●短縮ダイヤルに登録した電話番号が表示される

■手順2を省略して電話をかけることができます。

■設定により短縮番号を2ケタ(①①～⑦⑨)(80件)にすることができます。 **取付け時設定**

■共通短縮番号(①①①～⑦⑨⑨)はメモリー番号(①①①①～①⑦⑨⑨)と共用です。

■設定により①⑧①①～②⑨⑨⑨(IP-DigaportJIIの場合、①⑧①①～①④⑨⑨)のメモリー番号に登録されている相手に**短縮**を使って電話をかけることもできます。 **取付け時設定**

■設定により、グループ(0発信グループ)に分割して使用することもできます。 **取付け時設定**

個人短縮ダイヤルで電話をかける

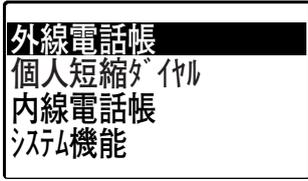
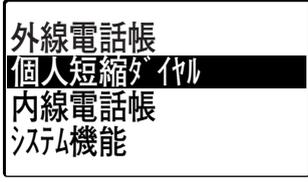
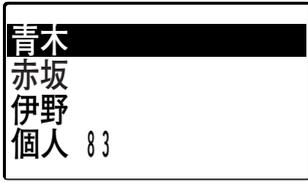
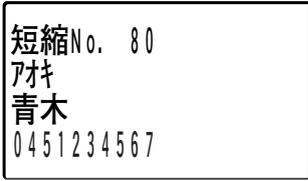
個人短縮ダイヤルによくかける電話番号を登録すると（106ページ）、簡単な操作で電話をかけることができます。

個人短縮ダイヤルは電話機ごとに登録することができます。

個人短縮ダイヤルを検索してかける

漢字

コマンドナビキーの操作にて、個人短縮ダイヤルを検索して電話をかけることができます。

- 1 待ち受け中に  または  押す

- 2  で「個人短縮ダイヤル」を選択する

- 3  押す

 - 個人短縮ダイヤルのリストが表示される
- 4  でかけたい相手を選択する

 - 選択した相手の詳細内容が表示される
- 5  押す
- 6  発信 押す
- 7  取る

- 手順 4 で、かけたい相手を選択した後に  を押して、電話をかけることができます。
- 手順 5、6 を省略して電話をかけることができます。
- 手順 4、5 で  を押すと、選択中の個人ダイヤルの編集（108ページ）・削除（110ページ）をすることができます。
- 待ち受け中に  を 2 回押した後に  を押して手順 3 の画面を表示させることもできます。

個人短縮番号でかける

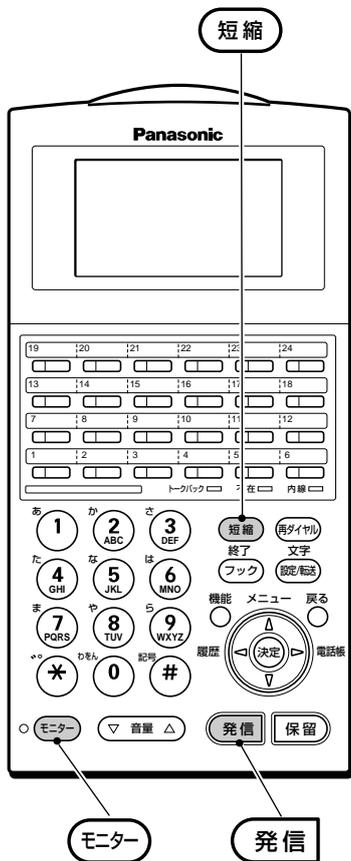


いままでは

短縮ダイヤルだと

何番
だっけ?

簡単



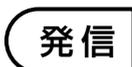
1



取る

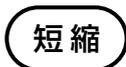
● 取らずにかけるときは手順 2 から

2



押す

3



押す

4

短縮番号

((8) (0) ~ (9) (9)) を押す

● 短縮ダイヤルに登録した電話番号が表示される

■ 手順 2 を省略して電話をかけることができます。

ワンタッチボタンでかける

数字

数字表示付電話機の場合、ワンタッチボタンを使って個人短縮ダイヤルのうち、⑧①～⑧⑨にはさらに簡単にかけることができます。

1



取る

● 取らずにかけるときは手順 2 から

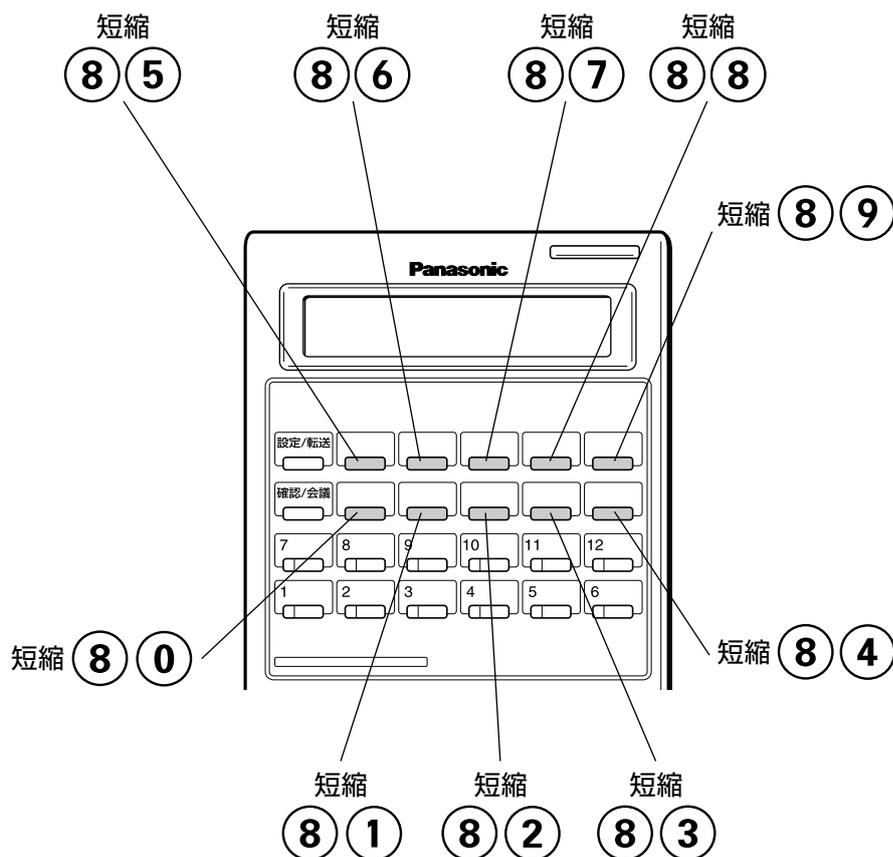
2

ワンタッチボタン 押す

● 外線ランプゆっくり緑色点滅
● 短縮ダイヤルに登録した電話番号が表示される

■ 個人短縮ダイヤルの登録方法は「個人短縮ダイヤルに電話番号を登録する」(113ページ)をご覧ください。

《個人短縮ダイヤルとワンタッチボタンの対応》



以前にかけた電話番号に、簡単な操作で電話をかけることができます。

再ダイヤルする (ラストナンバーリダイヤル)

最後にかけた外線電話番号に簡単にかけ直すことができます。

- 1  押す
- 2  押す
- 3  取る

■再ダイヤルは

→短縮ダイヤル (35、37 ページ) でかけた電話番号も記憶されます。

■漢字表示付電話機では

→コマンドナビキーの操作で以前にかけた5件までかけ直すことができます。

■漢字表示付電話機で短縮ダイヤルや履歴からかけたものを選択したときは

→電話番号または名前が表示されます。(名前が登録されている場合は名前を、名前が登録されていない場合は電話番号が表示されます。短縮ダイヤルの場合はA80というように短縮番号が表示されます。)

■最後にかけた電話番号をコピーして、個人短縮ダイヤルに登録することができます。

(112 ページ)

■ を押すと、操作を途中で終了できます。

相手が通話中のとき、電話を切らずにかかけ直す

- 1 電話をかけ、相手が話し中 → 2 電話を切らずに 

■オートリピートダイヤルすることもできます。

→ を押すと、自動的に最大15回まで再ダイヤルします。

→交換機によっては、相手の通話中を検出できないため、自動的にダイヤルできないこともあります。

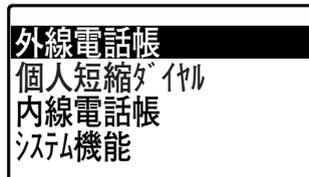
以前にかけた相手にかけ直す (再ダイヤル)

発信履歴を使ってかけ直す・確認する

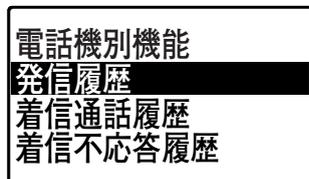
漢字

以前にかけた電話番号に、簡単な操作で電話をかけることができます。発信履歴は、5件まで記憶することができます。(5件を超えた場合は、最も古い電話番号を自動的に削除して登録します。)

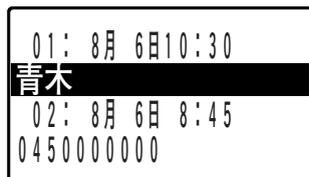
1 待ち受け中に または 押す



2 で「発信履歴」を選択する



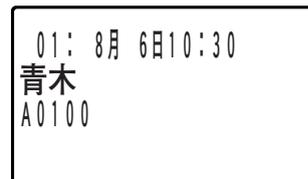
3 押す



- 上から新しい順に発信履歴が表示される
- 履歴が1件もない場合、「発信履歴ありません」と表示される

4 でかけたい相手を選択する

5 押す



- 選択した発信履歴の詳細内容が表示される

6 押す

7 取る

■履歴を確認する場合、手順1～手順5を行ってください。 を押すと待ち受け画面に戻ります。

■発信履歴は、短縮ダイヤル(35、37ページ)でかけた電話番号も記憶されます。

■短縮ダイヤルからかけたときは、A80というように短縮番号が表示されます。

■外線電話帳からかけたときは

- 手順3の画面で電話番号または名前が表示されます。(名前が登録されている場合は名前を、名前が登録されていない場合はA0000というように短縮番号が表示されます。)

■発信履歴の電話番号や名前の編集はできません。

■手順5、6を省略して電話をかけることができます。

■手順 4 で を押すと、選択中の発信履歴に対して以下の操作を行うことができます。

- 選択した履歴を個人短縮ダイヤルへ登録…………… 112 ページ
- 選択した履歴を迷惑電話パターンへ登録…………… 143 ページ
- 選択した履歴の削除…………… 41 ページ
- 履歴の全削除…………… 41 ページ

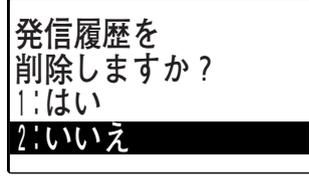
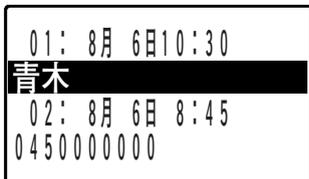
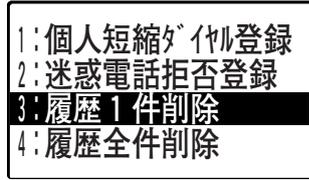
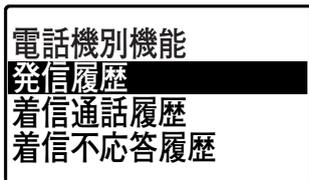
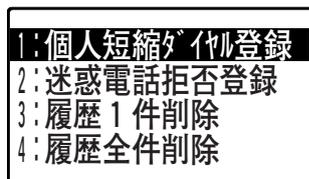
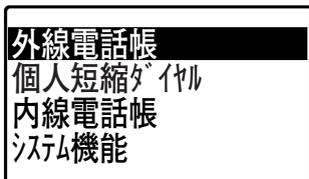
■待ち受け中に を押した後に を押して手順3の画面を表示させることもできます。

履歴を削除する

漢字

コマンドナビキーを使って発信履歴（40 ページ）／着信通話履歴（42 ページ）／着信不応答履歴（44 ページ）の履歴を削除することができます。

- 1 待ち受け中に または を押す
- 2 で削除したい履歴の種類を選択する
- 3 を押す
- 4 で削除したい履歴を選択する
- 5 を押す
- 6 で「3:履歴 1 件削除」を選択する
- 7 を押す
- 8 で「1:はい」を選択し、 を押す



- 履歴が表示される
- 履歴が 1 件もない場合、「発信履歴ありません」と表示される

- 確認画面が表示される

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。（18 ページ）

ただし、手順4で日時の前についている番号をダイヤルボタンで選択することはできません。

■手順 6 で「4:履歴全件削除」を選択すると、手順 2 で選択した履歴をすべて削除することができます。

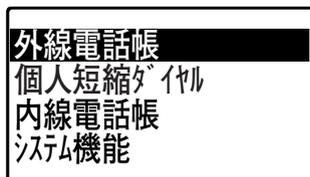
かかってきた相手にかかけ直す (コールバック)

外からかかってきた電話に応答した場合、電話番号が通知された場合には、その電話番号や名前*1、時刻*2を記憶します。着信通話履歴は、15件まで記憶できます。

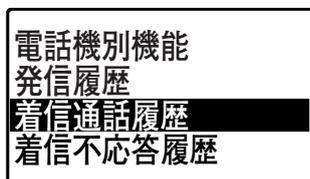
(15件を超えた場合は、自動的に最も古い履歴を削除して登録します。)

着信通話履歴を使ってかけ直す・確認する 漢字

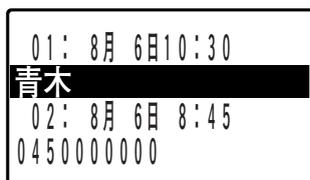
- 1 待ち受け中に  または  押す



- 2  で「着信通話履歴」を選択する



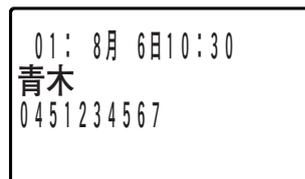
- 3  押す



- 着信通話履歴が表示される
- 履歴が1件もない場合、「着信履歴ありません」と表示される

- 4  でかけたい相手を選択する

- 5  押す



- 選択した着信通話履歴の詳細内容が表示される

- 6  発信 押す

- 7  取る

- 履歴を確認する場合、手順 1～手順 5を行ってください。フックを押すと待ち受け画面に戻ります。
- 着信通話履歴の電話番号や名前、時刻の編集はできません。
 - ※ 1 発信者の名前が登録されていれば、名前が表示されます。また、発信者電話番号と外線電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は、外線電話帳の名前が表示されます。
- 取付け時設定
- ※ 2 着信通話履歴は、通話開始時刻が登録され、表示されます。
- 手順 4の画面で、かけたい相手を選択した後に 外線 を押して、発信することができます。
- 手順 5、6を省略して電話をかけることができます。
- 手順 4で 機能 を押すと、選択中の着信通話履歴に対して以下の操作を行うことができます。
 - －選択した履歴を個人短縮ダイヤルへ登録…………… 112 ページ
 - －選択した履歴を迷惑電話拒否リストへ登録…………… 143 ページ
 - －選択した履歴の削除…………… 41 ページ
 - －履歴の全削除…………… 41 ページ
- ネーム・ディスプレイで通知された名前は履歴に表示されません。電話番号のみ履歴に残ります。
- 待ち受け中に ← を 2 回押した後に (決定) を押して手順 3の画面を表示させることもできます。

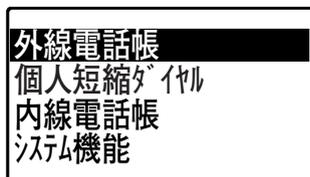
かかってきた相手にかけ直す (コールバック)

外からかかってきた電話で、電話番号が通知された場合に応答しなかったとき、その電話番号や名前^{*1}、時刻^{*2}を記憶します。着信不応答履歴は、15件まで記憶できます。

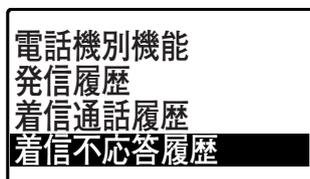
(15件を超えた場合は、自動的に最も古い履歴を削除して登録します。)

着信不応答履歴を使ってかけ直す・確認する 漢字

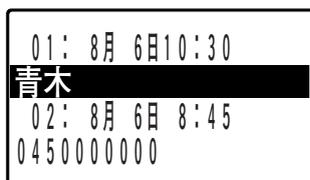
- 1 待ち受け中に  または  押す



- 2  で「着信不応答履歴」を選択する



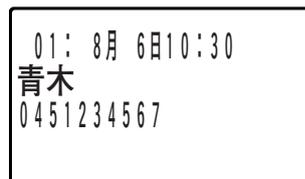
- 3  押す



- 着信不応答履歴が表示される
- 履歴が1件もない場合、「履歴はありません」と表示される

- 4  でかけたい相手を選択する

- 5  押す



- 選択した着信不応答履歴の詳細内容が表示される

- 6  押す

- 7  取る

■履歴を確認する場合、手順 1～手順 5を行ってください。フックを押すと待ち受け画面に戻ります。

■着信不応答履歴の電話番号や名前、時刻の編集はできません。

※ 1 発信者の名前が登録されていれば、名前が表示されます。また、発信者電話番号と外線電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は、外線電話帳の名前が表示されます。

 **取付け時設定**

※ 2 着信不応答履歴は、着信開始時刻が登録され、表示されます。

■電話番号の通知がない場合の着信を履歴に残すことができます。 **取付け時設定**

■手順 4の画面で、かけたい相手を選択した後に  を押して、発信することができます。

■手順 5、6を省略して電話をかけることができます。

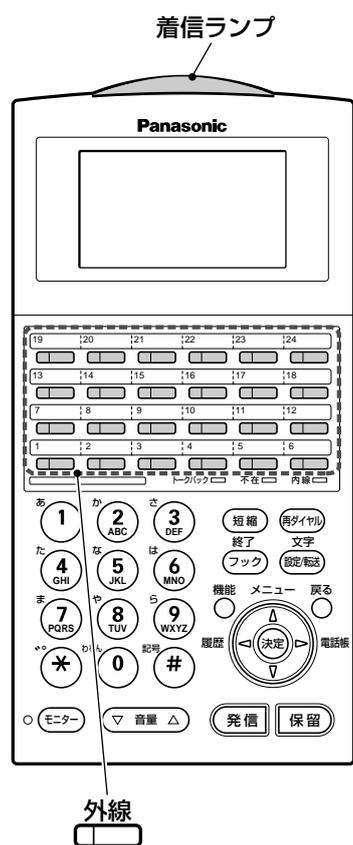
■手順 4で  を押すと、選択中の着信不応答履歴に対して以下の操作を行うことができます。

- －選択した履歴を個人短縮ダイヤルへ登録…………… 112 ページ
- －選択した履歴を迷惑電話拒否リストへ登録…………… 143 ページ
- －選択した履歴の削除…………… 41 ページ
- －履歴の全削除…………… 41 ページ

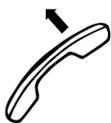
■ネーム・ディスプレイで通知された名前は履歴に表示されません。電話番号のみ履歴に残ります。

■待ち受け中に  を 3 回押した後に  を押して手順 3の画面を表示させることもできます。

外線からかかってきた電話を受けることができます。



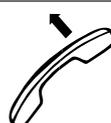
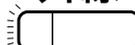
受話器を取って電話を受ける

- 1  呼出音が聞こえる
● 着信ランプ 赤色点滅
- 2  取る

- 漢字表示付電話機では着信ランプの点滅を緑色点滅に変えることができます。 取付け時設定
- 外線電話帳に登録されている相手から電話を受けたときの着信音、および着信ランプのパターンを設定することができます。(96ページ)

外線ボタンを押して電話を受ける

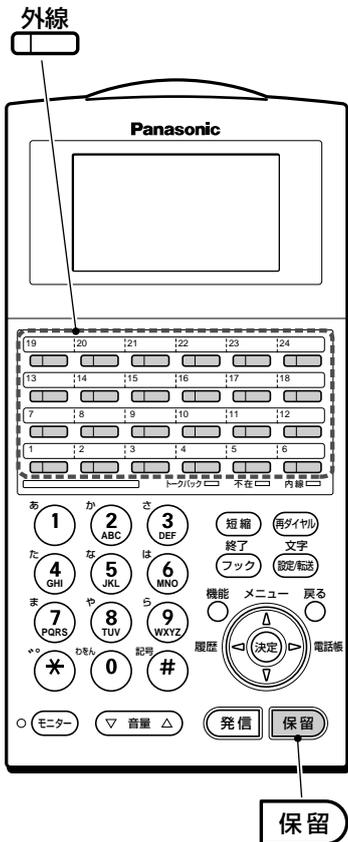
受話器を取ったあと外線ボタンを押して電話を受けることもできます。 取付け時設定

- 1  呼出音が聞こえる
● 着信ランプ 赤色点滅
● 外線ランプ 赤色点滅
- 2  取る
- 3  ランプが速く点滅している
外線 押す
● 外線ランプ 緑色点滅

- 手順 3 で
→ **(8)(8)** を押しても電話を受けられます (自動選局応答)。
- 手順 3 で
→ **(*)(8)(1)** と外線番号 (2～3ケタ) を押して電話を受けられます (外線指定代理応答)。
- 呼出音が聞こえない電話機では
→ 同じ操作で受けられます。
- 漢字表示付電話機では着信ランプの点滅を緑色点滅に変えることができます。 取付け時設定
- 外線電話帳に登録されている相手から電話を受けたときの着信音、および着信ランプのパターンを設定することができます。(96ページ)

外線からの電話を保留し、転送する方法には、口頭で取り次ぐ方法と、内線を呼び出して転送する方法があります。

外線を保留または口頭で取り次ぐ



保留・転送する人



1



通話中に
押す

- 外線ランプ
保留表示
(緑色点滅)

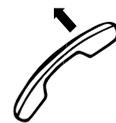
2



戻す

通話に戻るとき

3



取る

4

保留していた
外線



押す

- 外線の相手と
通話できる

口頭で取り次ぐとき

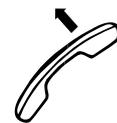
3



口頭で
連絡する

転送を受ける人

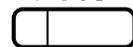
4



取る

5

保留していた
外線



押す

- 外線の相手と
通話できる

■通話に戻るときの手順 4 の代わりに

→ 取付け時設定により **保留** を押しても、通話に戻ることができます。

■転送を受ける人で、手順 5 の代わりに (外線指定代理応答)

→ ***81** と外線番号 (2~3ケタ) を押しても、通話できます。

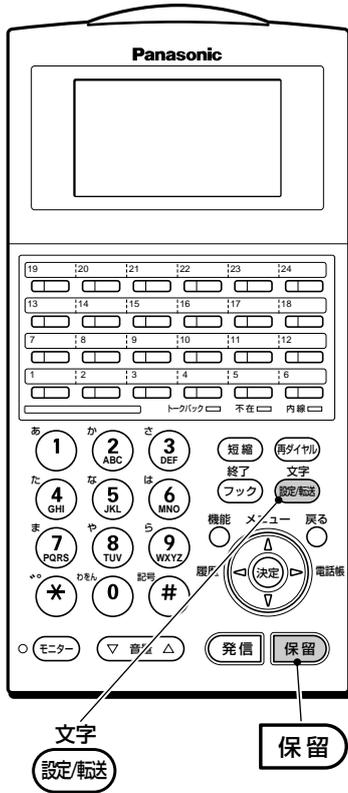
■他のグループ (196 ページ) から転送された外線は

→ 内線ランプに表示されます。その外線を転送するときは 48 ページの操作で転送してください。

■保留していた電話機からしか通話に戻れない保留 (自己保留) にしたいときは

→ 手順 1 で通話中の **外線** を押します。☎ **取付け時設定**

■この転送方法ができるのは、同一システム保留応答グループ内の電話機に限ります。



外線をほかの人に転送する

転送する人



- 1 **保留** 通話中に押す
 - 外線ランプ保留表示(緑色点滅)

- 2 転送したい人の内線番号を押す

- 3 連絡する

- 4 **文字設定/転送** 押す
 - 転送される

- 5 戻す

■転送を受ける人がいないとき

→保留中の **外線** を押すと、再び外線の相手と通話できます。

■手順4をしなくても

→受話器を戻すだけで転送できます。**取付け時設定**

■他のグループ(196ページ)から転送された外線は

→内線ランプに表示されます。

《保留再呼出について》

- 外線を保留したあと一定時間(1秒~255秒任意設定:標準60秒)を過ぎると、保留警告音(プルル)が鳴って時間経過を知らせます。
- 通話中のときは、話中時着信音が鳴ります。
- 保留警告音を設定によりメロディー音にすることができます。

取付け時設定



一斉または特定のグループを音声で呼び出して転送する



転送する相手の居場所がはっきりしないときなど、グループ別、またはすべての電話機を音声で呼び出して転送します。 **取付け時設定**

1

 **保留**

通話中に
押す

- 外線ランプ保留表示（緑色点滅）

2

 **井**

押す

3

呼出番号を押す

一斉呼出 → **0** 第1～9グループ → **1**～**9**
構内放送 → 取付け時に設定（177ページ）

4



呼び出して
連絡する

- 内線ランプ点灯
- 呼び出された人が受話器を取り、**井井**を押すと通話できる

5

 **文字
設定/転送**

押す

- 外線ランプ赤色点灯
- 呼び出された人は外線の相手と通話できる

6



戻す

■ 転送を受ける人がいないとき

→ 保留中の  **外線** を押すと、再び外線の相手と通話できます。

■ 手順5をしなくても

→ 受話器を戻すだけで転送できます。 **取付け時設定**

外線がすべて使用中のとき、外線コールバックを設定すると、外線が空いたときに自動的に知らせてくれます。

外線コールバックする



1



取る

2



押す

3

外線がすべて使用中のとき



押す

- 話中音 (ツーツー) が確認音 (ピーピー) に変われば設定完了

4



戻す

- 外線が空くと、呼出音が聞こえる

5

呼出音が聞こえたら



取る

6

電話番号、短縮番号などを押す

《外線コールバックは》

- 外線コールバックの設定有効時間は、約 2 分 30 秒間です。
- 呼出音を聞いてから約 12 秒以内に応答しないと無効になります。
- システム全体で同時に外線コールバックを設定できる電話機は、32 台までです。
- 呼出音が鳴っている間に、空いた外線に着信した場合は、着信が優先され、呼出音が止まります。
- 手順 3 の ② は、取付け時に変更することができます。

 取付け時設定

プッシュホンサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いでも、相手が応答したあとプッシュ信号を送り、航空券の予約などのプッシュホンサービスが利用できます。

1

サービス先に電話をかける

2

相手が応答したら

 または  押す

3

サービス先の案内に合わせて操作する

● プッシュ信号を送る

■電話を切ると

→元のダイヤル信号に戻ります。

お願い

- プッシュ信号に切り替えてもサービスをご利用になれないときは、サービス先にお問い合わせください。

キャッチホンサービスを利用する

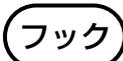
外線と通話中に、他の外線から電話がかかってきたことをお知らせするキャッチホンサービスが利用できます。現在お話し中の通話を保留にして、新たにかけてきた相手とお話することができます。

1

 軽く押す

● 新たにかけてきた相手と通話できる

2

 軽く押す

● 再びもとの相手と通話できる

■ キャッチホンサービスを利用するときは、NTT との契約が必要です。

■ キャッチホンサービスをご利用のときは、通話時間・通話料金は表示されません。

■ 通話中に誤ってフックスイッチ（受話器の下にあるスイッチ）を押すと、通話が切れます。

■ 2.4G カラーデジタルコードレス電話機の場合、 の代わりに、 を押ししてください。

ACRとは、自動的に特定の電話会社に接続する機能のことです。
NCC 各社と契約している場合にご利用になります。



国内 ACR 機能を使ってかける

市外電話をかける場合、通常の電話をかけるときと同じ操作でかけても、電話会社を自動的に選択して発信することができます。

1

通常の電話をかけるときの操作で
電話をかける

《国内 ACR は》

- 電話会社の選択は、設定によって行います。設定は、以下の3つの時間帯に分けて行います。 **取付け時設定**
 - ① 昼間
 - ② 夜間（土、日、祝日および平日の夜間）
 - ③ 深夜
- ACR 機能は、再ダイヤル、短縮ダイヤルでかけるときでも使用できます。
- 電話をかけるとき、NCC のアクセス番号に続けて相手の電話番号をダイヤルしたときも、NCC の回線を使って発信します。
- ACR 機能を利用できない電話機を設定することができます。 **取付け時設定**
- ビル電話回線などでも、0 発信のあとのダイヤルにより ACR 機能を利用することができます。

《国内 ACR が働かないケース》

- 携帯電話、PHS、自動車電話、船舶用電話など
- 177 番など、「1」で始まる NTT サービス番号（市外局番のあと、1 ケタ目が「1」の場合もお使いになりません。）

《国内 ACR のご注意》

-  **外線**（または  **発信**）を押して発信するとき、ACR 機能を利用するかどうかはシステムで取付け時に設定できます。 **取付け時設定**
- 表示部には、NCC 回線を使って発信したときでも、NTT 回線を使って発信した場合と同じ料金が表示されます。また、自動付加された NCC アクセス番号は表示されません。なお、漢字表示付電話機の液晶表示部に使用会社名の略称が表示されます。（20 ページの「NCC 回線を使って外線にかけたとき」）
- 国内 ACR を利用した場合、利用しない場合に比べてダイヤルされるまでに少し時間がかかります。
- 市外電話サービス以外（クレジットコールなど）の NCC サービス番号を記憶させるときは、プッシュ信号に切り替える操作を記憶させる必要があります。
- 電話帳に NCC アクセス番号 + 電話番号を登録させるとき、NCC アクセス番号のあとにポーズを登録する必要はありません。

《ACR ユニット（オプション）をお使いの場合》（IP-Digaport J II のみ）

- 操作方法は国内 ACR と同様です。
- 通話費用の安い回線への選択は、NCC 各社からのダウンロードデータにより行います。

国際 ACR 機能を使ってかける

国際電話をかけるとき、国番号と相手の電話番号をダイヤルするだけで、電話会社を自動的に選択して発信することができます。 **取付け時設定**

1



取る

2

国際 ACR 発信特番を押す

3

国番号を押す

4

電話番号を押す

《国際 ACR は》

- 国際 ACR の発信特番は、取付け時に設定します。 **取付け時設定**
- 電話会社の選択は、設定によって行います。
- 取付け時に、それぞれの国番号について最も通話料金の安い国際回線を使って発信できるように設定します。国番号は、最大 100 か所まで設定できます。
- 国内向けの ACR 機能と同様に、時間帯ごとに電話会社を選択するように設定できます。(52 ページ)
- 国際 NCC は、最大 40 社まで設定できます。
- 国際発信や国際 ACR 機能を利用できない電話機を設定できます。 **取付け時設定**
- 国際 NCC を選択して通話しているときは、使用会社名の略称を設定しておく、漢字表示付電話機の液晶表示部に使用会社名の略称が表示されます。 **取付け時設定**



内線を呼び出す (内線信号音呼出)

1  取る

2 内線番号を押す

- 相手が応答すると内線ランプ点灯

■相手が話し中のとき

- 話中音 (ツーツーツー) が聞こえます。
- 相手が話し終わると、再ダイヤルをしなくても自動的に呼び出しを開始することができます。(64、65 ページ)

受話器を取らずに呼び出す(内線信号音呼出)

1  → 2 内線番号 → 3 相手が出たら 

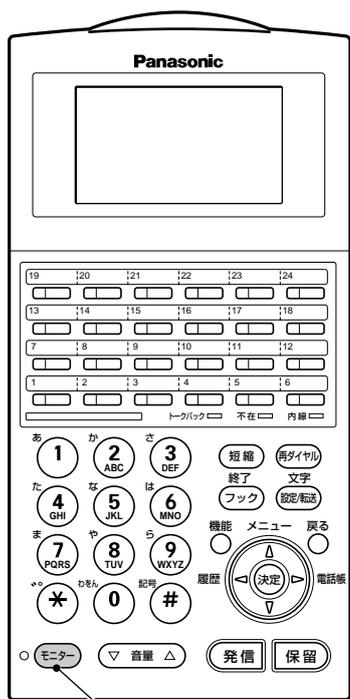
- モニターランプ点灯

音声で呼び出す(内線音声呼出)

1  → 2 内線番号 → 3  → 4 呼びかける

■① を押したとき

- 相手に予告音 (ブー) が聞こえます。
- 音声呼出から信号音呼出への切り替えはできません。



モニター

内線番号を確認してから呼び出す (プリセットダイヤル)

ダイヤルした内線番号を確認してから呼び出すことができます。
また、内線電話帳や再ダイヤルに記憶されている内線番号を呼び出して内線番号を確認して
から呼び出すこともできます。

1

内線番号を押す

- モニターランプ
点滅

2



取る

■プリセットダイヤルを途中でやめるには

→ **終了**
フック を押してください。

■手順 1 で番号を押し直すには

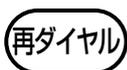
→ **再ダイヤル** または **戻る** を押してください。番号の最後から1ケタずつ消去されます。

■内線電話帳の呼び出しかたは

→56 ページをお読みください。

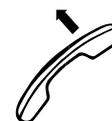
再ダイヤルする(ラストナンバーリダイヤル) 取付け時設定

1



押す

2



取る

■ラストナンバーを個人短縮ダイヤルに登録することができます。(114 ページ)

フリガナで検索して呼び出す (内線電話帳) 漢字

内線番号に名前をつけて内線電話帳に登録しておく、名前を検索して電話をかけることができます。

1 待ち受け中に  または  押す

外線電話帳
個人短縮ダイヤル
内線電話帳
システム機能

5  または  押す

青山	309
石田	306
上田	311
川田	305

2  で「内線電話帳」を選択する

外線電話帳
個人短縮ダイヤル
内線電話帳
システム機能

6  でかけたい相手を選択する

7  押す

内線No.	309
アヤマ	
青山	

● 選択した相手の詳細内容が表示される

3  押す

* 内線電話帳検索 *
検索したい文字を
入力してください
[]

● 内線電話帳のカタカナ検索画面が表示される

8  取る

4 検索したい文字を入力する

- 31 ページの「検索したい文字の入力方法」の方法で入力する
-  を押すと、頭文字を選択する検索方法に切り替わる (57 ページ)

■ 音声で呼び出したいときは

- 手順 8 のあと  を押し、相手に呼びかけます。
- 手順 7 を省略して電話をかけることができます。
- 手順 6、7 で  を押すと、選択中の内線電話帳の編集をすることができます。(118 ページ)
- 待ち受け中に  を 3 回押して手順 3 の画面を表示させることができます。

頭文字を選択してからかける

漢字

内線電話帳からかけたい相手の頭文字を選択したあと、相手を選択して電話をかけることができます。

- 1 待ち受け中に  または  押す
 - メニュー画面が表示される
- 2  で「内線電話帳」を選択する

外線電話帳
 個人短縮ダイヤル
内線電話帳
 システム機能
- 3  押す

* 内線電話帳検索 *
 検索したい文字を
 入力してください
 【 】

 - カタカナ検索画面が表示される
- 4  押す

ア-オ
 カ-コ
 サ-ソ
 タ-ト

 - 頭文字選択画面が表示される
- 5  でかけたい相手の頭文字を選択する
 -  を押すと、フリガナで検索する検索方法に切り替わる (56 ページ)
- 6  押す

青山	309
石田	306
上田	311
川田	305

 - 選択した頭文字から始まる相手が表示される
- 7 相手を選択して電話をかける (56 ページの手順 6 ~ 手順 8)

■手順 4 を省略することができます。  取付け時設定



内線からの呼出を受ける

1



呼出音または
音声聞こえる

- 着信ランプ点滅
- 内線ランプ点滅

2



取る

- 着信ランプ消灯
- 内線ランプ点灯

■音声で呼出を受けた場合

→手順 1 で内線ランプが点灯します。

■内線から呼び出されると

→発信者の内線番号が表示されます。

→漢字表示付電話機では、内線電話帳に名前が登録されている場合、発信者の名前が表示されます。

■呼出を受けた時、着信ランプを消灯のままにすることができます。

 取付け時設定

内線からの電話を保留し、転送する方法には、口頭で取り次ぐ方法と、内線呼び出して転送する方法があります。



内線を保留または口頭で取り次ぐ

保留・転送する人

1 通話中に押す ●内線ランプ赤色点滅

2 戻す

通話に戻るとき

3 取る

4 押す

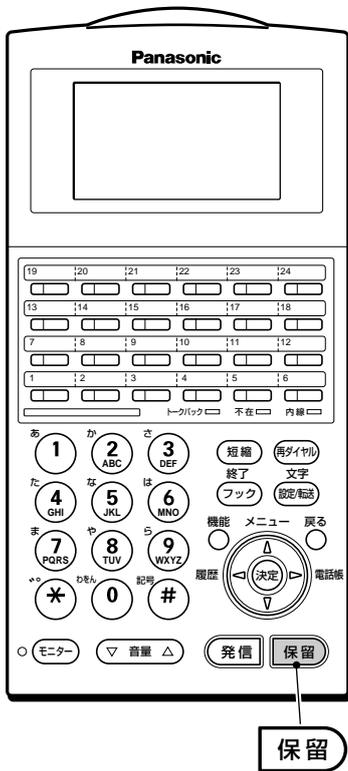
口頭で取り次ぐとき

3 口頭で連絡する

転送を受ける人

4 取る

5 押す ●内線の相手と通話できる



■この転送方法ができるのは

→ 同一システム保留応答グループ内の電話機に限ります。



内線をほかの人に転送する



転送する人

1

保留

通話中に
押す

●内線ランプ
赤色点滅

2

転送したい人の内線番号を押す

3



連絡する

4

文字

設定/転送

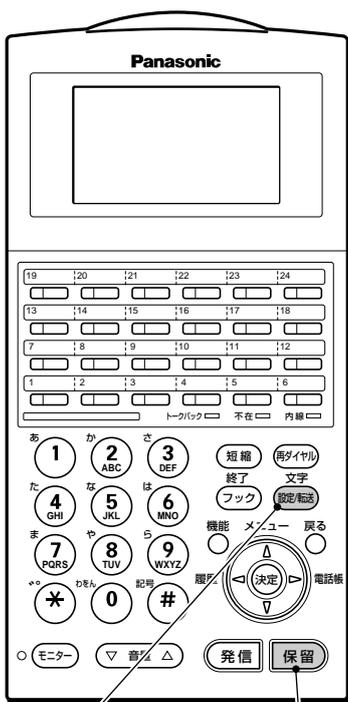
押す

●内線発信音（ツー）
が聞こえたら、転送
完了

5



戻す



文字

設定/転送

保留

■手順 4 をしなくても

→ 受話器を戻すだけで転送できます。☎️ **取付け時設定**

■相手が内線トークバック応答中は（63 ページ）

→ 転送できません。手順 4 を行ったとき、内線発信音は聞こえず、内線の相手との通話を継続します。

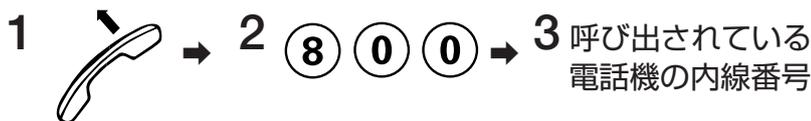
他の電話機で内線を受ける (内線代理応答)

信号音または音声による内線呼出中の電話機のそばに誰もいなくて応答できないとき、他の電話機で応答することができます。方法としては下記の4つの方法があります。



内線指定代理応答する (ダイレクトコールピックアップ) 取付け時設定

呼び出されている電話機の内線番号をダイヤルして応答する方法です。



内線代理応答する (グループ内全着信応答)

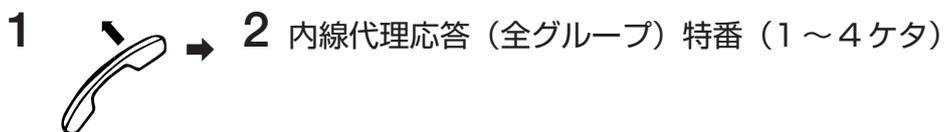
同一代理応答グループ内の電話機に着信順で応答する方法です。



- マルチライン番号に内線代理応答グループを設定すると、マルチラインボタンへの着信にも上記と同じ操作で代理応答できます。  取付け時設定
- 手順2で (*)(#) を押すと、内線代理応答グループ内の内線に、外線および内線からの内線個別呼出が同時に行われているとき、外線からの呼び出しにのみ代理応答できます。

内線代理応答する (全グループ着信応答) 取付け時設定

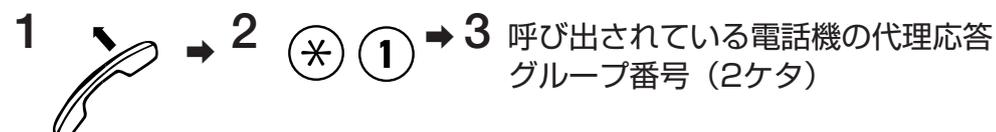
すべての内線代理応答グループの電話機に応答する方法です。異なるグループの着信にも代理応答することができます。



- 内線代理応答時は着信順に関係なく、内線代理応答グループの若い順の着信に応答します。

グループ指定代理応答する

同一代理応答グループ外の電話機に応答する方法です。



- 内線コールバックの呼び返し、保留再呼出が設定されている電話機に対して、グループ指定代理応答はできません。
- マルチライン番号に内線代理応答グループを設定時、手順3で、呼び出されているマルチライン番号の代理応答グループ番号を押すことで代理応答できます。  取付け時設定
- グループ番号は、3ケタ (001~144) にすることもできます。  取付け時設定

グループ別（1グループ当たり最大71台）、または一斉に全グループの電話機を音声で呼び出すことができます。 取付け時設定



一斉またはグループ別に呼び出す

1  取る

2  押す

3
グループ番号を押す ●内線ランプ点灯

第1～9グループ：①～⑨ 一斉呼出：⑩
構内放送：取付け時に設定（177ページ）

4  呼び出す ●相手が応答すると通話できる

■通話中の電話機には

→呼び出しはかかりません。

■構内放送を設定してあるときは

→一斉放送すると、構内放送からも呼び出します。（177ページ）

一斉またはグループ別呼出に応答する

1  → 2  

内線音声呼出に受話器を取らずに応答する (内線トークバック)

音声による個別の内線呼出に対して、受話器を取らずに応答できます。(内線トークバック)
手が離せないときなどに便利です。応答する前に設定が必要です。
音声で一斉またはグループ別での呼出に対して、内線トークバックはできません。

内線トークバックを設定する

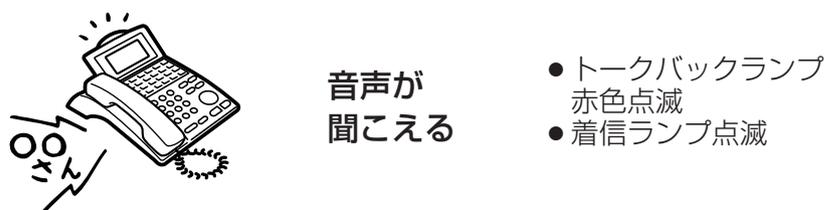


- 1 **モニター** 押す
- 2 **文字
設定/転送** 押す
- 3 **9 3** 押す
 - トークバックランプ
赤色点灯
- 4 **モニター** 押す

■設定を解除するには

→ 解除するときも同じ操作を行います。(トークバックランプが消えます。)

内線トークバックで応答する



音声
聞こえる

- トークバックランプ
赤色点滅
- 着信ランプ点滅

- 1 

マイクに
向かって
話す

 - 受話器を取って通話
することもできます。

■内線トークバック中は

→ **保留** は働きません。

内線呼出をして相手が話し中のとき、その相手が話し終わると、再ダイヤルしなくても自動的に呼び出しを開始します。方法として、内線コールバック、内線キャンブオンの2つがあります。また、話し中の電話に近い内線番号の電話機を代わりに呼び出すこともできます。(内線リセットコール)



内線コールバックする

内線コールバックでは、相手が話し中のとき、受話器を戻して待ちます。

- 1 内線呼び出し音が鳴ると、受話器を戻して待ちます。
- 2 ② 内線呼び出して相手が話し中のときに押す
 - 話中音（ツーツー）が確認音（ピッピッピッ）に変われば、設定完了
- 3 ③ 戻す
 - 相手が通話を終了すると、自分の電話機に呼出音が聞こえる
- 4 ④ 呼出音が聞こえたら取る
 - 自動的に相手の電話機を呼び出し、相手が受話器を取ると通話できる

《内線コールバックは》

- 内線コールバック設定有効時間は、約2分30秒間です。
- 呼出音を聞いてから約12秒以内に応答しないと無効になります。
- 相手の電話機が不在設定（70ページ）を設定している場合は、内線コールバックできません。
- 内線コールバック設定中に、外線から電話がかかってきても、受けることができます。
- システム全体で、1度に内線コールバック設定できる電話機は32台です。
- 1台の電話機から2か所に内線コールバック設定したときは、最初の設定は取り消されます。
- すでに他の電話機から内線コールバックが設定されている相手へ、またコールバック着信規制が設定されている相手へ（☎ 取付け時設定）、内線コールバック設定することはできません。
- 手順1の②は、取付け時に変更することができます。

☎ 取付け時設定

内線キャンプオンする

内線キャンプオンでは、相手が話し中のとき、受話器を持ったまま待ちます。

(内線キャンプオンされる電話機については、取付け時に設定が必要です。)  **取付け時設定**

- 1
 - ③ 内線を呼び出して相手が話し中のときに押す
 - 話中音 (ツーツーツー) がキャンプオン設定音 (ツー) に変われば、設定完了
- 2
 
 受話器を持ったまま待つ
 - 相手が通話を終了して受話器を戻すと、自動的に相手の電話機に呼出音が鳴る
 - キャンプオン設定音が呼出音 (ブルブルブル) に変わる
- 3
 相手が受話器を取ると通話できる

《内線キャンプオンは》

- 同一の電話機に対して、同時に複数の電話機から内線キャンプオンできます。
- 相手の電話機が不在設定 (70 ページ) してある場合は、内線キャンプオンはできません。
- システム全体で、1 度に内線キャンプオン設定できる電話機は 32 台です。
- 同一の電話機から同じ相手への内線コールバックと内線キャンプオンの二重設定はできません。
- 手順 1 の ③ は、取付け時に変更することができます。  **取付け時設定**

内線リセットコールする

相手が話し中のとき、続けて内線番号に近い電話機を呼び出すことができます。

 **取付け時設定**

- 1 内線呼出をして相手が話し中のとき、他の内線番号の下 1 ケタを押す

例：123 番が話し中のとき、続けて ⑤ を押すと、125 番を呼び出します。

- システムで内線リセットコールをできるように設定した場合は、内線コールバック、内線キャンプオン、相手が話し中のときのメッセージランプ点灯は、利用できません。ただし、使用しない FF ボタンにこれらの機能を設定したときは利用できます。

相手が話し中、または応答しないとき

内線呼出をしたときに、相手が話し中または応答しない場合、自分の名前を相手の電話機の液晶表示部に表示することができます。(メッセージウェイト) 

内線を呼び出したときに、相手が話し中の場合、相手に音で通知することができます。(コールウェイティング)

 **取付け時設定**

数字表示付電話機では、この機能は使えません。

相手の電話機が単独電話機の場合は利用できません。

メッセージウェイトする

漢字

1

⑥ (優先)

内線呼出をして相手が話し中、
または応答しないときに押す

または

④ (一般)

- 自分の電話機に「X-ル 設定」が表示される
- 相手の電話機に自分の内線番号（または内線名）と「X-ル」が表示される。
- 相手の電話機の着信ランプが点灯する

2



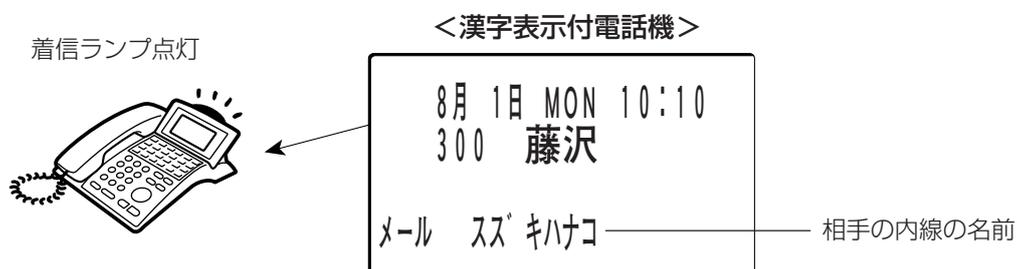
戻す

- 受話器を取らずにかけたときは  を押す

- 内線メッセージウェイト（優先）、および内線メッセージウェイト（一般）の特番の設定が必要です。 
- メッセージウェイト（優先）は、通常2WayProまたはIP-2Wayからのメール表示に使用しますので、一般の内線電話機では使用しないでください。
- 1台の電話機に同時に優先メッセージが1メール、一般メッセージが4メールの合計5メールのメッセージウェイトが登録できます。
ただし、表示は一般（④）より優先（⑥）から表示されます。
- 相手の電話機が不在設定（70 ページ）を設定しているときは、メッセージウェイトはできません。ただし、不在転送（71 ページ）を設定した場合は、転送先にメール表示されます。

メッセージウェイトされた人は

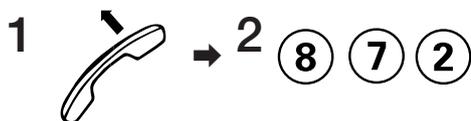
漢字



- メッセージウェイトされた内線は、受話器を取る（または **モニター** を押す）と、内線発信音の前に約5秒間メッセージウェイト音が聞こえます。

メッセージウェイトした人を呼び出す（メッセージ呼び返し）

簡単な操作でメッセージウェイトした人を呼び出せます。



- 通話が始まると、メッセージウェイト（一般）のメッセージが消えます。複数のメッセージウェイトが登録されているときは、次のメールが表示されます。
- 優先メッセージウェイトの場合は、メッセージが消えません。メッセージウェイトキャンセルの操作でメッセージを消してください。

登録されているメッセージウェイトをキャンセルする（メッセージウェイトキャンセル）

メッセージウェイトした人を呼び出さないときは、次のようにしてメール表示と着信ランプを消します。



- メッセージウェイトを複数登録されているときは、手順 2 を繰り返します。

コールウェイティングする

内線通話中に他の内線からの呼出に応答できます。 **取付け時設定**

コールウェイティング着信音が聞こえたら

通話中の相手に断ってから、**保留** を押す

- あとからかけてきた相手と通話できます。
- 先にかけてきた相手は自動的にシステム保留され、保留音が聞こえます。
- すでに保留者がいる場合の通話は、コールウェイティングできません。

内線交互通話する

内線通話中に他の内線を呼び出し、交互に通話できます。

1

保留

通話中に押す

- 相手側に保留音が聞こえる

2

第3者の内線番号を押す

- 第3者が応答すると、通話状態になる

3

保留

押す

- 第3者に保留音が聞こえる
- 最初に保留した相手と再び通話状態に戻る

4

保留

再度、押す

- 再び第3者との通話に戻る
 - 最初に保留した相手側に再び保留音が聞こえる
-

交互通話を終わるには

1



戻す

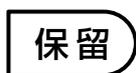
- 通話中の相手との通話を終了する
- 内線ランプ赤色点滅

2



取る

3



押す

- 残る相手との通話に戻る

4

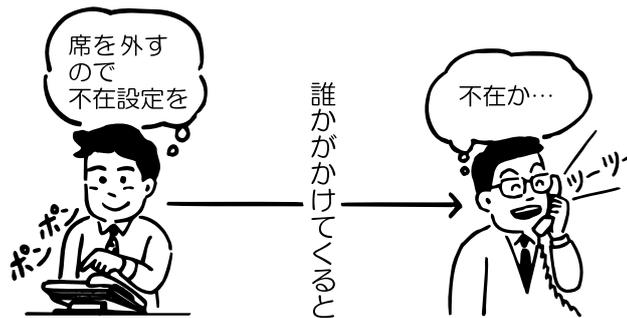


戻す

- すべての通話を終了する
-

席を外すとき(不在設定)

席を外すときなどにご利用になれる便利な機能として、不在設定と不在転送があります。



不在設定する

席を離れるときに不在設定をすると、かけてきた相手に対して話中音を流すことができます。

1 モニター → 2 8 0 1 → 3 モニター

●不在ランプが赤色で点灯

- 不在設定(または不在転送、話中転送、不応答転送)を設定している電話機で、受話器を取ったとき(またはモニターを押したとき)には、内線発信音の前に約5秒間、不在設定/転送設定中音が聞こえます。

■解除するには→同じ操作をします。(不在ランプが消える)

- 不在設定と一緒に、登録中の不在転送、話中転送、不応答転送をすべて解除するときは、不在設定をするときの手順2で8①⑨を押します。

《不在設定は》

- 不在設定されている電話機を呼び出すと、漢字表示付電話機では“不在”が表示されます。
- 別売のトーキー装置を接続すると、内線および専用線からの呼び出しに対して、音声で不在である旨を知らせることができます。(不在案内)  取付け時設定

他の電話機から代行する(代理不在設定)

 取付け時設定

1 モニター → 2 8 1 1 → 3 不在設定先の内線番号 → 4 モニター

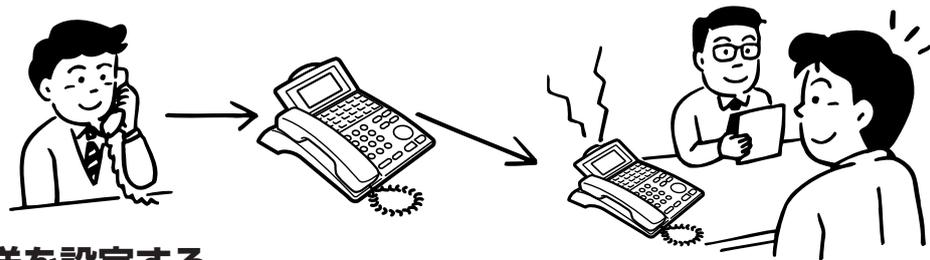
他の電話機から不在設定を解除する

 取付け時設定

1 モニター → 2 8 1 2 → 3 解除先の内線番号 → 4 モニター

- 手順2の8①①、8①②、8①⑨は、取付け時に変更することができます。 取付け時設定

不在転送する



不在転送を設定する

席を離れるときに不在転送を設定すると、外線からの個別呼出および内線からの個別呼出が指定した内線電話機に転送されます。

1 モニター → 2 8 0 3 → 3 転送先の
内線番号 → 4 モニター

● 不在ランプが赤色で点灯

- 不在転送を設定している電話機で、受話器を取ったとき（または **モニター** を押したとき）には、内線発信音の前に約5秒間、不在設定／転送設定中音が聞こえます。
- 漢字表示付電話機の場合、設定をすると「転送」と転送先の相手が表示されます。
- 不在転送設定をしている電話機を転送先として不在転送設定はできません。

不在転送を解除する

1 モニター → 2 8 0 4 → 3 モニター

- 不在転送設定と一緒に、登録中の不在設定、話中転送、不応答転送をすべて解除するときは、手順2で **8 1 9** を押します。

他の電話機から代行する（代理不在転送）



1 モニター → 2 8 1 3 → 3 設定先の
内線番号 → 4 転送先の
内線番号 →

5 モニター

他の電話機から不在転送を解除する



1 モニター → 2 8 1 4 → 3 解除先の
内線番号 → 4 モニター

■ 手順2の **8 0 3**、**8 0 4**、**8 1 3**、**8 1 4** は、取付け時に変更することができます。 **取付け時設定**

話中転送する

お話し中に電話がかかってきたときのために、話中転送をご利用になれます。

話中転送を設定する

話中転送を設定すると、外線からの個別呼出および内線からの個別呼出があったとき、電話機が話し中ならば指定した内線電話機が呼び出されます。



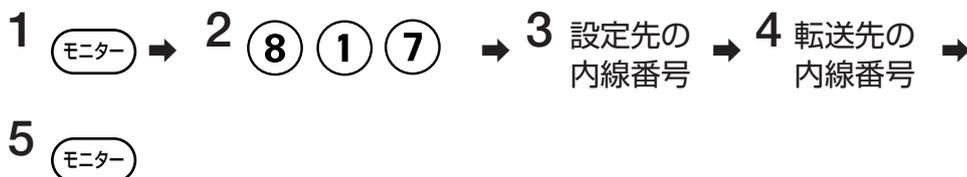
- 話中転送を設定している電話機で、受話器を取ったとき（または を押したとき）には、内線発信音の前に約5秒間、不在設定／転送設定中音が聞こえます。
- 漢字表示付電話機の場合、設定をすると「転送」と転送先の相手が表示されます。
- 不在転送設定をしている電話機を転送先として話中転送設定はできません。

話中転送を解除する



- 話中転送設定と一緒に、登録中の不在設定、不在転送、不応答転送をすべて解除するときは、手順2で を押します。

他の電話機から代行する（代理話中転送）



他の電話機から話中転送を解除する



■手順2の 、 、 、 は、取付け時に変更することができます。

電話がかかってきてもすぐに応答できないときのために、不応答転送がご利用になれます。

不応答転送を設定する

不応答転送を設定すると、外線からの個別呼出および内線からの個別呼出に一定時間(60秒(標準)) 応答しないとき、設定した内線電話機が呼び出されます。



- 不応答転送を設定している電話機で、受話器を取ったとき(または を押したとき)には、内線発信音の前に約5秒間、不在設定/転送設定中音が聞こえます。
- 漢字表示付電話機の場合、設定をすると「転送」と転送先の相手が表示されます。
- 不在転送を設定している電話機に対しての不応答転送設定はできません。

不応答転送を解除する

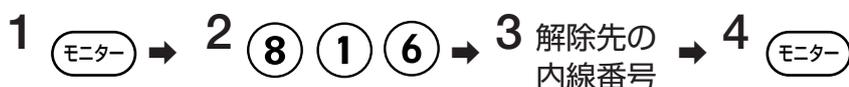


- 不応答転送と一緒に、登録中の不在設定、不在転送、話中転送をすべて解除するときは、手順2で を押します。

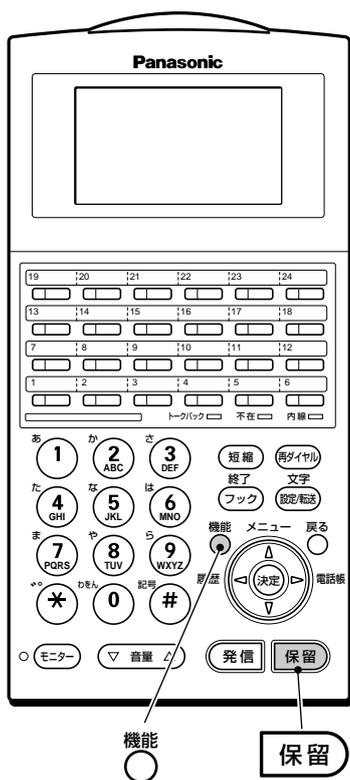
他の電話機から代行する(代理不応答転送)



他の電話機から不応答転送を解除する



■ 手順2の 、 、 、 は、取付け時に変更することができます。 取付け時設定



通話中に内線の第3者を加えて通話する（会議通話）

外線または内線通話中、内線の第3者を加えて3人で通話をすることができます。

- 1 **保留** 通話中に押す
- 2 第3者の内線番号を押す
- 3 **機能** 第3者が応答したら押す
 - 3人で通話できる

■数字表示付電話機の場合、手順3で **機能** の代わりに **確認/会議** を押します。

■会議通話は

- システムで1度にできるのは、8組までです。
- 普通の会話より音量が下がります。
- 会議通話中は保留できません。

通話に割り込む（通話割込）

通話割込を設定した電話機から、通話中の外線または内線に割り込んで通話することができます。☎ **取付け時設定**

外線通話に割り込むとき

- 1 → 2 割り込みたい **外線**

内線通話に割り込むとき

- 1 → 2 割り込みたい → 3 **9**

■通話に割り込めるのは

- 1台の電話機のみです。

■割り込まれた人には

- 割り込んだ内線番号（または内線名）が表示されます。

■割込開始音を入れることができます。☎ **取付け時設定**

■内線番号を押して通話割込を行った場合、通話割込中音を相手に聞かせることができます。☎ **取付け時設定**

■手順3の **9** は、取付け時に変更することができます。☎ **取付け時設定**

アラーム時刻を設定すると、指定時刻に電話機からアラーム音を鳴らすことができます。設定した時刻にアラーム音が鳴ると、設定は解除されます。再度アラーム音を鳴らしたいときは、設定し直してください。



アラーム時刻を設定する

1

モニター 押す

2

8 3 4 押す

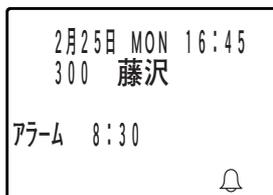
3

時 設定する「時、分」(4ケタ)を
24時間制で押す
分

4

モニター 押す

- 漢字表示付電話機の場合、登録後、現在のアラーム設定が表示される



■アラーム時刻を変更するときは

→手順 1 からやり直します。

■アラーム音が鳴り出してから、アラーム音を止めるには

→ **モニター** を押すか、受話器を取って戻します。

■約30秒間アラーム音が鳴っている間に、アラーム音を止める操作をしないときは、再度約150秒後にアラーム音が鳴ります。(最大2回繰り返します。)

アラーム設定を解除する

1

モニター → 2 8 3 5 → 3 モニター

■手順2の 8 3 4、8 3 5 は、取付け時に変更することができます。 取付け時設定

外線からの電話に応答するとき、夜間・休日は宿直室の電話機で集中して受けるなど、昼間と夜間で、電話を受ける電話機を変えることができます。切り替えはグループごとまたは全グループ1度に行います。切替操作をする電話機は、取付け時にシステムまたはグループごとに設定します。☎ **取付け時設定**

運用モードを切り替える



1 **モニター** 押す

2 切替番号を押す

《切替番号》

切替番号	運用モード	表示	
		漢字表示付電話機	数字表示付電話機
⑧③①	昼間1/夜間	— /夜間	— /夜間
⑧③②	昼間2	昼間 2	2
⑧③③	夜間1	夜間 1	夜間 1
⑧③④	夜間2	夜間 2	夜間 2

■現在の運用モードから昼間2、夜間1、夜間2に切り替えるときは、上表の切替番号を押します。

■夜間1、2から昼間1または夜間に切り替えるとき

⑧③① (昼間1) → ⑧③① (夜間)

■昼間2から昼間1または夜間に切り替えるとき

⑧③② (夜間) → ⑧③① (昼間1)

■昼間1から夜間または夜間から昼間1に切り替えるとき

⑧③①

- 登録後の運用モードが表示される

3 **モニター** 押す

- 登録後、運用モード表示するように設定されている電話機に現在の運用モードが表示される。

例：夜間切替

<漢字表示付電話機>

<数字表示付電話機>

11月27日 WED 11:30
300
夜間

曜 11-27 11-30

- 漢字表示付電話機では運用モードに対応する表示文字を設定により指定できます。

《自動夜間(昼間)切替》☎ **取付け時設定**

時刻を設定しておく、自動的に昼間と夜間モードを切り替えることができます。(132ページ)

マルチライン

FF ボタンにマルチラインを設定すると、マルチラインボタンとして使えます。 **取付け時設定**
マルチラインボタンをフローティング着信ボタンと呼ぶことがあります。

マルチラインボタンに設定された内線番号に外線から電話を受けると、マルチラインボタンを設定した複数の電話機を呼び出すことができます。マルチラインボタンを押して電話を受けることができます。(→ 79 ページ)

マルチラインボタンを押して外に電話をかけることができます (マルチライン発信)。

ISDN 回線 / IP 回線利用時、押したマルチラインボタンごとに相手に通知する発信者番号を選択することができます。 **取付け時設定**

《マルチラインボタンの動作モードについて》

マルチラインボタンには消灯モードと点灯モードがあります。

・消灯モード

使用中の電話機のマルチラインボタンのランプが緑色点灯になります。使用していない電話機のマルチラインボタンのランプは消灯し、電話をかけたり、次の電話を受けたりすることができます。

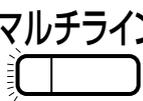
・点灯モード **取付け時設定**

使用中の電話機のマルチラインボタンのランプが緑色点灯になります。使用していない電話機のマルチラインボタンのランプは他の人が使用中 (赤色点灯) になり、使用状況を確認することができます。他の人の使用が終了すると、消灯になり、電話をかけたり、次の電話を受けたりすることができます。

マルチライン発信

マルチラインボタンを押し、空いているマルチラインボタンを選択して外に電話をかけることができます。

マルチラインボタンを押して電話をかける(消灯モード)

-  取る
-  マルチライン 押す
 - マルチラインランプ
緑色点灯
 - 他の電話機のマルチライン
ランプ消灯
- 3 電話番号を押す

マルチラインボタンを押して電話をかける(点灯モード) 取付け時設定

-  取る
-  マルチライン 押す
 - マルチラインランプ
緑色点灯
 - 他の電話機のマルチライン
ランプ赤色点灯
- 3 電話番号を押す

■手順2で  を押し、マルチラインボタンを自動的に選択してマルチライン発信することができます。  取付け時設定

■消灯モードでマルチライン発信した場合、マルチラインランプを消灯にすることができます。

 取付け時設定
■電話番号のあとに  、または  を押して (プリセットダイヤル)、マルチライン発信することもできます。

■外線電話帳 (→30ページ) / 個人短縮ダイヤル (→36ページ) で相手を選択してから  、または  を押してマルチライン発信することもできます。

■発信履歴 (→40ページ) / 着信履歴 (→42ページ) / 着信不応答履歴 (→44ページ) で相手を選択してから  、または  を押してマルチライン発信することもできます。

FF ボタンにマルチラインボタンを設定すると、フローティング着信機能を利用することができます。

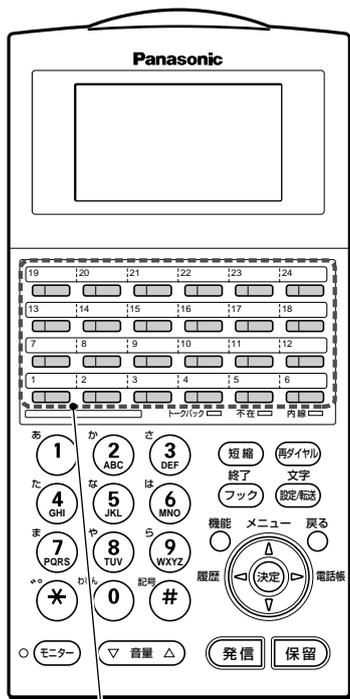
 **取付け時設定**

フローティング着信機能とは、外線の着信や保留にマルチラインボタンひとつで応答できる機能で、外線ボタンを減らすことができます。外線数が多いときや、2WayProまたはIP-2Way用のボタンを設定したいときに便利です。

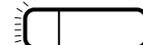
マルチラインボタンで電話を受ける (消灯モード)

マルチラインボタンで電話を受けることができます。

 **取付け時設定**



マルチライン


- 1  **マルチライン**
着信音が聞こえる ● マルチラインランプ赤色点滅
- 2  **取る**
- 3  **マルチライン**
押す
 - マルチラインランプが緑色で点滅し、相手と通話できる
 - 他の電話機のマルチラインランプは消え、他の電話機が使える

■ 受話器を取るだけで応答することもできます。 **取付け時設定**

■ マルチラインボタンは通常、フローティング保留を行うことはできませんが、設定によりフローティング保留が行えるようになります。

マルチラインボタンへの着信に代理応答する

マルチラインボタンに電話がかかってきたとき、またはマルチラインボタンで保留した通話に、マルチラインボタンを設定していない電話機で応答するときは、次の操作を行います。

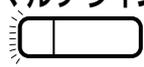
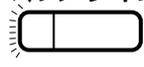
- 1  **モニター** →
- 2  **(*)**  **(5)** →
- 3 **マルチライン番号**

- マルチライン番号の内線代理応答グループを設定すると、同一内線代理応答グループの電話機が受話器を取って  を2回押すことで、フローティング着信応答できます。 **取付け時設定**
- マルチライン番号は、取付け時に設定します。

 **取付け時設定**

マルチラインボタンで電話を受ける (点灯モード)

マルチラインボタンで電話を受けるとき、システムのプログラム設定により、マルチラインランプで自分が使用しているか、他の人が使用しているかをランプ表示でき、さらに保留もできるようになります。 **取付け時設定**

- 1**  **マルチライン** 着信音が聞こえる
 - マルチラインランプ赤色点滅
- 2**  取る
- 3**  **マルチライン** 押す
 - マルチラインランプが緑色で点滅し、相手と通話できる

- 他人が使用中のマルチラインランプは、赤色で点灯します。
- 使用中のマルチラインボタンを押すと、速い話中音（ツーツーツー）が聞こえます。また、使用中のマルチラインボタンを押して割込通話はできません。

マルチラインボタンで受けた通話を保留する

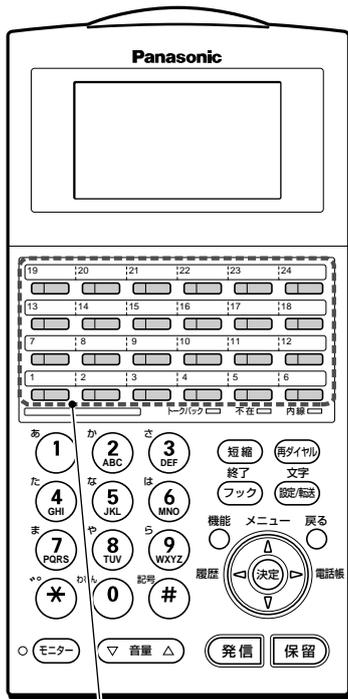
- 1**  **保留** →
- 2**  →
- 3** 通話に戻る
ときには  →
- 4** 保留していた **マルチライン**
マルチラインボタン 

- 保留はシステム保留となります。マルチラインボタンが保留されます。
- 保留中の通話に代理応答するには、79 ページをご覧ください。

FF ボタンにフローティング保留ボタンを設定すると、通話を FF ボタンに保留することができます。

 取付け時設定

フローティング保留ボタンで保留する



フローティング保留



- 1** フローティング保留



通話中にランプの消えているフローティング保留ボタンを押す

 - フローティング保留ランプの表示（緑色点滅）

- 2**



戻す

- 3**



通話に戻るときに取る

- 4** フローティング保留



保留していたフローティング保留ボタンを押す

 - フローティング保留ランプが消え、再び相手と通話できる

《フローティング保留は》

- 外線、内線、専用線とも同じ操作で保留に応答できます。
- 保留した電話機以外で、手順 **3**、**4** を行っても、再び相手と通話できます。
- フローティング保留ボタンが全部使用中（ランプ点滅）の場合は、フローティング保留ボタンでは保留できません。
- 通話中に **保留** ボタンを押す操作を、フローティング保留ボタンを押したのと同じ扱いにできます。
- 単独電話機からも、フローティング保留／フローティング保留応答することができます。（161、162 ページ）

着信数を制限する (回線数コントロール)

外線ボタン、およびマルチラインボタンを一時的に使用できなくすることができます。 **取付け時設定**
 夜間など電話を受ける人が少ないときに便利です。
 本機能は ISDN 局線 / IP 局線で利用することができます。

外線ボタンの使用を制限する

外線ボタンの使用を制限する手順は、制限したい外線を選択したあと、 を押す手順と  を押す手順の 2 通りあります。
 手順によって、制限を解除できる電話機が異なります。

解除できる電話機 \ 制限の手順	 を押して制限	 を押して制限
制限を操作した電話機	○	○
制限されている  が設定されている電話機	○	×

○：解除可能
 ×：解除不可能

1 使用を制限したい  押す

● 外線ボタン緑色点灯

2  または  押す

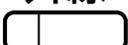
● 手順 **1** で選択した回線の使用が制限される

■ マルチラインボタンの使用を制限することもできます。(83 ページ)

■ 制限中のランプ表示は「主要な音とランプ表示」—「外線使用時」—「着信制限中」(201 ページ) を参照してください。

外線ボタンの使用制限を解除する

1  取る

2  押す

● 制限が解除される

マルチラインボタンの使用を制限する (点灯モード)

マルチラインボタンの使用を制限する手順は、制限したいマルチラインボタンを選択したあと、**保留** を押す手順と **マルチライン** を押す手順の2通りあります。

マルチラインボタンの使用を制限する機能はマルチラインボタンの動作モード（77ページ）が点灯モードの場合、利用することができます。消灯モードの場合、利用することはできません。

手順によって、制限を解除できる電話機が異なります。

解除できる電話機 \ 制限の手順	保留 を押して制限	マルチライン を押して制限
制限を操作した電話機	○	○
制限されている マルチライン が設定されている電話機	○	×

○：解除可能
×：解除不可能

1 使用を制限したい **マルチライン** を押す

● マルチラインランプ緑色点灯

2 **保留** または **マルチライン** を押す

● 手順 **1** で選択した回線の使用が制限される

■ 外線ボタンの使用を制限することもできます。（82ページ）

■ 制限中のランプ表示は「主要な音とランプ表示」—「外線使用時」—「着信制限中」（201ページ）を参照してください。

マルチラインボタンの使用制限を解除する

1  取る

2 **マルチライン** を押す

● 制限が解除される

番号を確認する

最後にかけた相手の電話番号を確認する

1 (モニター) → 2 機能 → 3 (再ダイヤル) → 4 表示される → 5 (モニター)

■数字表示付電話機の場合、手順2で 機能 の代わりに 確認/会議 を押します。

短縮ダイヤルに登録された電話番号を確認する

1 (モニター) → 2 機能 → 3 (短縮) → 4 短縮番号 → 5 表示される → 6 (モニター)

■数字表示付電話機の場合、手順2で 機能 の代わりに 確認/会議 を押します。

その電話機の内線の収容位置を確認する

1 (モニター) → 2 機能 → 3 (9)(0) → 4 (*) → 5 表示される → 6 (モニター)

漢字表示付電話機

収容位置	10101 M01
300	藤沢

数字表示付電話機

300	10101
-----	-------

■数字表示付電話機の場合、手順2で 機能 の代わりに 確認/会議 を押します。

他の内線番号の収容位置を確認する

1 (モニター) → 2 機能 → 3 (9)(0) → 4 確認する内線番号 → 5 表示される → 6 (モニター)

■数字表示付電話機の場合、手順2で 機能 の代わりに 確認/会議 を押します。

外線番号から外線の収容位置を確認する

1 (モニター) → 2 機能 → 3 (9)(1) → 4 確認する外線番号 → 5 表示される → 6 (モニター)

■数字表示付電話機の場合、手順2で 機能 の代わりに 確認/会議 を押します。

操作する電話機が所属するグループ内の指定電話機の内線番号を確認する

1 (モニター) → 2 機能 → 3 (9)(2) → 4 (*) → 5 表示される → 6 (モニター)

■数字表示付電話機の場合、手順2で 機能 の代わりに 確認/会議 を押します。

指定したグループの指定電話機の内線番号を確認する

1 (モニター) → 2 機能 → 3 (9)(2) → 4 グループ番号(2ケタ) → 5 表示される → 6 (モニター)

■数字表示付電話機の場合、手順2で 機能 の代わりに 確認/会議 を押します。

システム機能を使って操作する

漢字表示付電話機では、コマンドナビキーの操作により内線トークバック、内線代理応答をするなど、システム機能画面を使っていろいろな機能を利用できます。

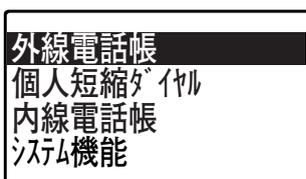
システム機能画面から操作する

漢字

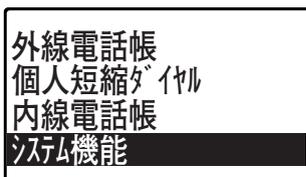
1 操作したい機能の最初の操作を
する

- 87～89 ページ参照
- 例：(モニター) を押すなど

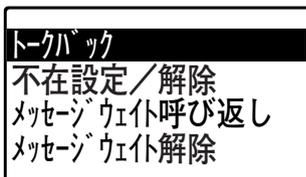
2  または  押す



3  で「システム機能」を選択
する



4  押す



- 手順 1 の操作により、電話機の状態に応じた機能画面が表示される (87～89 ページ参照)

5  で操作したい機能名を選択
する

6  押す

- 登録されている操作が行われる

7 続けて操作する必要があるときは
操作する

- 87～89 ページ参照

システム機能を使って操作する

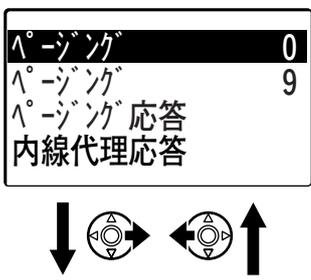
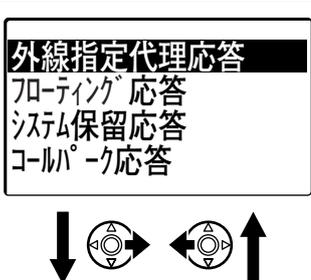
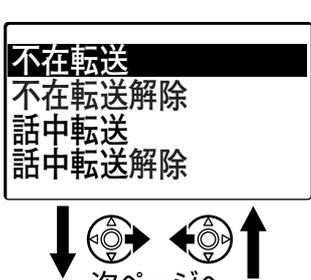
《システム機能は》

- 機能画面は最初にする操作に応じて表示される機能が異なります。
 - 受話器を取るか **モニター** を押したとき …………… 87～88 ページ
 - 内線呼び出し中のとき …………… 89 ページ
 - 内線呼び出し、相手が話し中のとき …………… 89 ページ
 - 通話中のとき …………… 89 ページ
- それぞれの機能について、詳しくは、それぞれの説明ページを参照してください。
- システム機能画面に登録されている機能を変更することができます。**取付け時設定**
- 受話器を取るか **モニター** を押してから行う機能の場合、コマンドナビキーで機能を選択してから、手順 **1** の操作を行って機能を利用することもできます。

機能画面について

漢字

《  または **モニター** を押したとき①》

操作できる機能	最初にする操作	表示される機能画面	続けてする操作	参照ページ
内線トークバックを設定	—		—	63
不在設定/解除	モニター		モニター	70
メッセージを呼び返す	 モニター		通話する	67
メッセージウェイトをキャンセル	モニター		モニター	67
一斉呼出する			呼び出しする	62
構内放送する			放送する	62、177
グループ・一斉呼出・構内放送に 応答する			通話する	62
内線代理応答 (グループ内全着信呼)			通話する	61
内線代理応答 (グループ内外着信呼)			通話する	61
内線指定代理応答する			内線番号→通話	61
グループ指定代理応答する			代理応答 グループ番号 →通話	61
同一着信グループにかかって きた外線を受ける			通話する	46
外線指定代理応答する			外線番号→通話	47
マルチラインボタンへの着信 に代理応答する			マルチライン 番号 →通話	79
保留に 応答する			通話する	47
コールパーク保留に 応答する			内線番号→通話	194
不在転送を設定	モニター		内線番号→ モニター	71
不在転送を解除	モニター		モニター	71
話中転送を設定	モニター		内線番号→ モニター	72
話中転送を解除	モニター		モニター	72

多機能電話機

メニューやFボタンに
登録された機能を使う

システム機能を使って操作する

機能画面について

漢字

《  または (モニター) を押したとき② 》

操作できる機能	最初にする操作	表示される機能画面	続けてする操作	参照ページ
不応答転送を設定	(モニター)	<p>前ページへ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>不応答転送</p> <p>不応答転送解除</p> <p>転送設定オール解除</p> <p>アラーム設定</p> </div> <p>↓ ← → ↑</p>	内線番号 → (モニター)	73
不応答転送を解除	(モニター)		(モニター)	73
すべての転送設定の解除	(モニター)		(モニター)	70~73
アラーム時刻を設定	(モニター)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アラーム解除</p> <p>BGM設定/解除</p> <p>DAY1/NIGHT1切り替え</p> <p>NIGHT1切り替え</p> </div> <p>↓ ← → ↑</p>	時・分 (4ケタ) → (モニター)	75
アラーム設定を解除	(モニター)		(モニター)	75
BGMを聞く/止める※1	(モニター)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>NIGHT2切り替え</p> <p>ヘッドセットモード</p> <p>個人短縮名前</p> <p>共通短縮名前</p> </div> <p>↓ ← → ↑</p>	(モニター)	180
昼間/夜間に切り替える	(モニター)		(モニター)	76
夜間1に切り替える	(モニター)		(モニター)	76
夜間2に切り替える	(モニター)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>内線名前</p> <p>内線収容位置確認</p> <p>外線収容位置確認</p> <p>機能 36</p> </div> <p>↓ ← → ↑</p>	(モニター)	76
ヘッドセットモードに切替/解除※1	(モニター)		(モニター)	179
個人短縮ダイヤルに名前を登録	 (モニター)	<p>↓ ← → ↑</p>	登録操作	106
共通短縮ダイヤルに名前を登録 指定	 (モニター)		登録操作	115
内線に名前を登録 指定	 (モニター)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>機能 37</p> <p>機能 38</p> <p>機能 39</p> <p>機能 40</p> </div> <p>↓ ← → ↑</p>	登録操作	116
内線の収容位置を確認	(モニター)		内線番号 → (モニター)	84
外線の収容位置を確認	(モニター)		トランク番号 → (モニター)	84

※ 1 : 2.4G カラーデジタルコードレス電話機では使用できません。

機能画面について

漢字

《内線を呼び出し中のとき》

操作できる機能	最初にする操作	表示される機能画面	続けてする操作	参照ページ
内線を音声で呼び出す	内線呼出		呼びかける	54
内線トークバックを設定	内線呼出		通話	63
メッセージウェイトする(一般)	内線呼出		((モニター))	66

《内線を呼び出し、相手が話し中のとき》

操作できる機能	最初にする操作	表示される機能画面	続けてする操作	参照ページ
内線トークバックを設定	内線呼出		((モニター))	63
メッセージウェイトする(一般)	内線呼出		((モニター))	66
内線キャンプオンする	内線呼出		受話器を持ったまま待つ	65
内線コールバックする	内線呼出		((モニター))	64
内線通話に割り込む	内線呼出			通話する

《通話中のとき》

操作できる機能	最初にする操作	表示される機能画面	続けてする操作	参照ページ
内線トークバックを設定	内線呼出		通話	63
転送ボタンとして使う	外・内線通話		((モニター))	48
会議ボタンとして使う	外・内線通話		3人で通話	74
プッシュ信号を出す	外線発信		提供先に合わせて操作	51

多機能電話機

メニューやFボタンに登録された機能を使う

電話機別機能を登録する

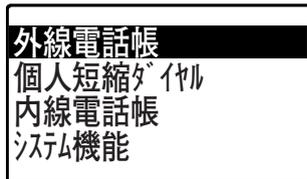
漢字表示付電話機では、コマンドナビキーの操作により「電話機別機能」に、システム機能と同じような機能を登録すると、システム機能を使って操作するのと同じ要領で機能进行操作できます。設定できるのは8画面、最大30機能(機能01～機能30)です。

電話機別機能を登録する

漢字

1 待ち受け中に

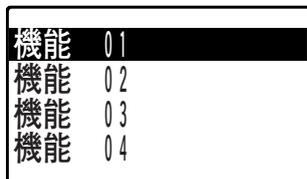
 または  押す



2 で「電話機別機能」を選択する



3 押す

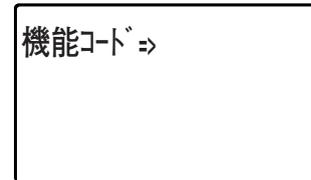


4 で登録したい機能番号を選択する

5 押す



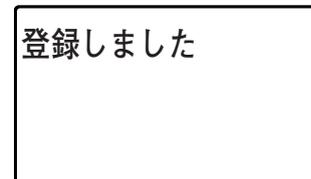
6 押す



● 機能コード入力画面が表示される

7 機能コード(設定番号)(92～94ページ)を入力する

8 押す



● 選択した機能番号に、機能が登録される
● 続けて登録するときには、 または  を押したあと、手順4～8の操作を行う

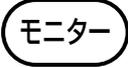
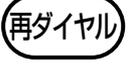
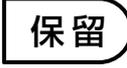
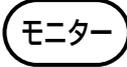
電話機別機能を削除する

- 1 「電話機別機能を登録する」の手順1～手順2を操作する
- 2  で削除したい機能を選択し  押す
- 3  で「2:機能削除」を選択し  押す

FFボタンを機能ボタンとして使う

外線用に設定されていないFFボタンは、機能を設定して機能ボタンとして使えます。

FFボタンに機能を設定する

- | | |
|--|--|
| <p>1</p> <p> 押す</p> <hr/> <p>2</p> <p>文字
 押す</p> <hr/> <p>3</p> <p> 設定したいFF
ボタンを押す</p> <hr/> <p>4</p> <p> 押す</p> | <p>5</p> <p>機能コード（設定番号）を押す
(92～94 ページ)</p> <hr/> <p>6</p> <p> 押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 確認音（ピーピーピー）が聞こえたら、設定完了 <hr/> <p>7</p> <p> 押す</p> |
|--|--|

多機能電話機
メニューやFFボタンに
登録された機能を使う

■間違えたとき

→ 速い話中音（ピッピッピッ）が聞こえます。
 を押し、手順 **1** からやり直します。

■設定を解除するときは

→ 手順 **4**、**5** を抜いて操作します。

■手順 **4** で  の代わりに  を押しても設定することができます。

■内線発信の機能特番で設定するときは

→ 手順 **4**、**5** の代わりに、機能特番（操作するときには押す番号。例えば不在設定なら **801**）を押します。
● 内線発信の機能特番は、各機能の操作を参照してください。

FFボタンに設定した機能を確認する

- 1**  → **2**  → **3** 確認したい
FFボタン  → **4** 機能名が
表示される → **5** 

■数字表示付電話機の場合、手順 **2** で  の代わりに  を押します。

■数字表示付電話機では、設定した機能の機能特番または機能コードが表示されます。

■設定できる機能

機能名	機能コード（設定番号）	参照ページ
内線個別呼出（信号）	9+内線番号	54
内線個別呼出（音声）	8+内線番号	54
短縮ダイヤル発信	*01+短縮番号 ※1	35、37
短縮ダイヤル登録	*02	106
短縮ダイヤル確認	*03	108
メモリー番号発信	2#0	35
メモリー番号登録	2#1	96
メモリー番号確認	2#2	34
自動選局応答	*04	46
自動選局発信（局線）	*05	28
自動選局発信（専用線1）	*06	173
自動選局発信（専用線2）	*07	173
自動選局発信（専用線3）	*08	173
自動選局発信（専用線4）	*09	173
指定外線発信	*10	29
国際ACR発信	*12	53
フローティング応答	*13	79
システム保留応答	*14	47
コールパーク応答	*15	194
メッセージウェイト登録（優先）	*16	66
メッセージウェイト解除	*17	67
メッセージウェイト呼び返し	*18	67
不在転送登録	70+内線番号	71
不在転送解除	*19	71
代理不在転送登録	*20	71
代理不在転送解除	*21	71
不応答転送登録	71+内線番号	73
不応答転送解除	*22	73
代理不応答転送登録	*23	73
代理不応答転送解除	*24	73
話中転送登録	72+内線番号	72
話中転送解除	*25	72

※1：システムのプログラム設定で指定する共通短縮ダイヤル番号のケタ数（2～3ケタ）により、00～79または000～799を登録します。

個人短縮ダイヤル番号（80～99）の場合は、「短縮ダイヤル番号」の欄に「□□」と表示されます。

■設定できる機能

機能名	機能コード（設定番号）	参照ページ
代理話中転送登録	*26	72
代理話中転送解除	*27	72
不在設定登録／解除	*28	70
代理不在設定登録	*29	70
代理不在設定解除	*30	70
転送設定一括解除	*32	70～73
アラーム登録	*34	75
アラーム解除	*35	75
BGM登録／解除	*36 ※2	180
運用モード切替（昼1／夜）	*37	76
運用モード切替（昼2）	*38	76
運用モード切替（夜1）	*39	76
運用モード切替（夜2）	*40	76
確認／会議	*42	74
設定／転送	*43	48
グループ呼出し	*44+グループ番号	62
グループ応答	*45	62
内線代理応答（全呼）	*46	61
内線代理応答（局着呼）	*47	61
内線代理応答（全グループ呼）	7*0	61
グループ指定代理応答	*48+グループ番号 ※3	61
内線指定代理応答	73+内線番号	61
外線指定代理応答	*49	46、47
コールバック	*52 ※4	50、64
キャンプオン	*53 ※4	65
メッセージウェイト登録（一般）	*54 ※4	66
メッセージウェイト登録（優先）	*55 ※4	66
内線通話割込	*56 ※4	74

※2：2.4G カラーデジタルコードレス電話機では使用できません。

※3：システムのプログラム設定で指定するピックアップ内線グループ番号のケタ数（2～3ケタ）により、00～99または000～144を登録します。

※4：話中音が聞こえているときに動作する機能です。

■設定できる機能

機能名	機能コード（設定番号）		参照ページ
音声呼出	*57	※5	54
メッセージウェイト登録（一般）	*58	※5	66
メッセージウェイト登録（優先）	*59	※5	66
会議	*61		74
転送	*62		48
プッシュ信号転換	*64	※6	51
個人短縮ダイヤル名登録	*65		106
内線名登録	*66	※7	116
共通短縮ダイヤル名登録	*67	※7	115
ヘッドセットモード切替	*73	※2	179
着信音量調節ボタン（外線）	*41		24
着信音量調節ボタン（内線）	*77		24
短縮ボタン	*75		35、37
自己保留／転送ボタン	*78		47
発番号非通知設定／解除	*870	※8	166

※5：内線呼出確認音（RBT）が聞こえているときに動作する機能です。

※6：外線通話中に動作する機能です。

※7：指定電話機でのみ使用できます。

※8：電話機別機能に登録できません。

よくおかけになる電話番号を外線電話帳や個人短縮ダイヤルに登録しておけば、コマンドナビキーの操作で簡単にかけることができます。

電話帳と短縮ダイヤルについて

外線電話帳	<p>IP-Digaport JII : 最大1500件 メモリー番号(共通短縮番号) ①④⑨⑨</p> <p>IP-Digaport XII : 最大3000件 メモリー番号(共通短縮番号) ②⑨⑨⑨</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指定電話機で登録された電話番号を、外線電話帳としてシステム共通で使用することができます。 外線電話帳には電話番号の名前、グループ、着信ランプの点滅パターンなどを登録することができます。 コマンドナビキーの操作で外線電話帳を検索して電話をかけることができます。 共通短縮番号(①④⑨⑨)に登録された相手には、電話を漢字表示付電話機/数字表示付電話機から(短縮)を押して、電話をかけることもできます。(35ページ) 設定により①⑧①①以降のメモリー番号(共通短縮番号)に登録された相手にも(短縮)を押して、電話をかけることができます。
個人短縮ダイヤル	<p>最大20件 短縮番号⑧①～⑨⑨</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各電話機で登録した電話番号を、個人で使用することができます。 コマンドナビキーの操作で個人短縮ダイヤルを検索して電話をかけることができます。
内線電話帳	<p>システムに登録されている内線番号の件数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内線番号に名前を登録することができます。 コマンドナビキーの操作で内線電話帳を検索して内線を呼び出すことができます。 登録した名前は待ち受け画面に表示されます。

登録・修正・削除の操作について

《外線電話帳》

指定電話機	外線電話帳に新規に登録する	96ページ
	メモリー番号の開始番号を設定する	100ページ
	グループ名を登録する	101ページ
	登録済みの外線電話帳を修正する	102ページ
	外線電話帳を1件削除する	104ページ
	外線電話帳を全件削除する	105ページ

《個人短縮ダイヤル》

漢字表示付電話機	個人短縮ダイヤルに新規に登録する	106ページ
	登録済みの個人短縮ダイヤルを修正する	108ページ
	個人短縮ダイヤルを1件削除する	110ページ
	個人短縮ダイヤルを全件削除する	111ページ
	履歴から個人短縮ダイヤルに電話番号を登録する	112ページ
	ラストナンバーリダイヤルを個人短縮ダイヤルに登録する	114ページ
数字表示付電話機	個人短縮ダイヤルに電話番号を登録する	113ページ

《内線電話帳》

指定電話機	他の内線番号の個人短縮ダイヤルに登録する	115ページ
	内線電話帳に新規に名前を登録する	116ページ
	登録済みの名前を修正・削除する	118ページ

外線電話帳に新規に登録する

指定

外線電話帳に名前と電話番号を登録しておく、コマンドナビキーからの操作で検索して電話をかけることができます。

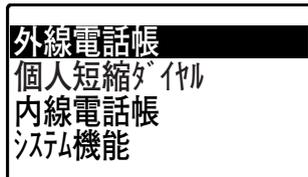
外線電話帳には電話番号と電話番号の名前、フリガナのほかに以下の内容を登録することができます。

登録した電話番号から電話を受けたときの電話の動作を設定したい場合、下記の内容を設定してください。

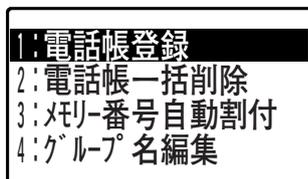
設定しなかった場合、システムで決められた動作をします。グループを設定しなかった場合、グループ0になります。

項目	内容
グループ	登録した電話番号のグループを設定できます。
個別着信先(昼)	昼間モード時(76ページ)、登録した電話番号から電話を受けたときに呼び出す内線を設定できます。
個別着信先(夜)	夜間モード時(76ページ)、登録した電話番号から電話を受けたときに呼び出す内線を設定できます。
着信音パターン	登録した電話番号から電話を受けたときの着信音パターンを設定できます。
着信ランプ	登録した電話番号から電話を受けたときの着信ランプの点滅/消灯を設定できます。

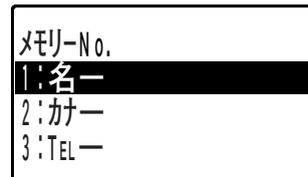
1 待ち受け中に  または  押す



2  押す



3  押す



- 電話帳編集画面が表示される
-  で登録したい項目を選択する
 - 名前 (1:名)
 - フリガナ (2:か)
 - 電話番号 (3:TEL)
 - グループ (4:Gr)
 - 着信先 (5:着信先(昼)、6:着信先(夜))
 - 着信音 (7:着信音パターン)
 - 着信ランプ(8:着信ランプ色)
- 順不同で必要な項目のみ登録することができる
- 登録したい項目の入力終了後、手順 28 に移動する
- 以降、電話番号から順番に登録する例を説明する

4 (決定) 押す

- 名前入力画面が表示される

5 名前を入力する

例：「青木」と入力

- 漢字／ひらがな／カタカナ／英数字／記号で全角 10 文字（半角 20 文字）まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する
- 例の場合、以下の手順で入力する
 ① → (戻る) → ① を 5 回 → (戻る) → ② を 2 回 → (戻る) → (決定)

6 (決定) 押す

- 名前が登録され、電話帳編集画面に戻る
- フリガナも自動的に入力される
- フリガナを修正する場合、手順 7 に移動する
フリガナを修正しない場合、(方向キー) で「3:TEL」を選択し、手順 10 に移動する

7 (決定) 押す

- フリガナ入力画面が表示される
- 手順 5 で入力した名前に合わせて自動的に入力されている

8 フリガナを入力する

- (戻る) を押すと文字を 1 文字消去できる
- (戻る) を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- カタカナ／英数字／記号で半角 16 文字まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

9 (決定) 押す

- フリガナが登録され、電話帳編集画面に戻る

10 (決定) 押す

- 電話番号入力画面が表示される

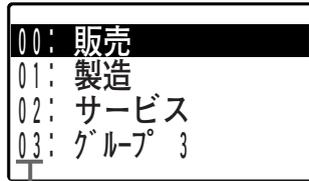
11 電話番号を入力する

- 24 ケタまで登録できる
- (機能) を押すと、ポーズ (R)、識別子 (A)、ハイフン (F) を登録することができる (124 ページ)
- (戻る) を押すと、1 文字削除できる

12 (決定) 押す

- 電話番号が登録され、電話帳編集画面に戻る

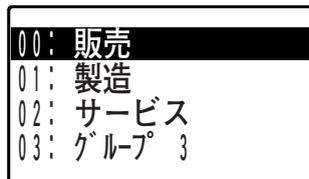
13 (決定) 押す



グループ番号

- グループ選択画面が表示される

14 (方向キー) でグループを選択する

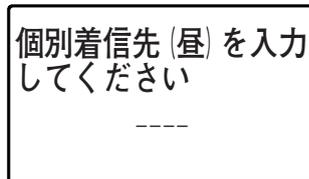


- グループを選択して電話をかける (→ 33 ページ) ときに利用する
- グループ名を編集できる (101 ページ)

15 (決定) 押す

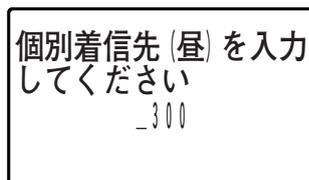
- グループが登録され、電話帳編集画面に戻る

16 (決定) 押す



- 個別着信先 (昼) の入力画面が表示される

17 内線番号を入力する

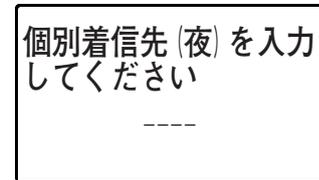


- 手順 11 で入力した電話番号から電話を受けた場合に特定の内線に着信させる機能を利用しない場合、何も入力しない
- 昼間モード (132 ページ) のとき、手順 11 で入力した電話番号から電話を受けた場合に着信させたい内線の内線番号を入力する
- (戻る) を押すと、1 文字削除できる

18 (決定) 押す

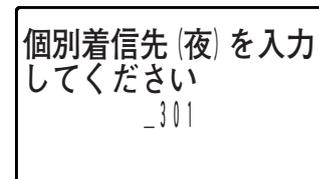
- 個別着信先 (昼) の内線番号が登録され、電話帳編集画面に戻る

19 (決定) 押す



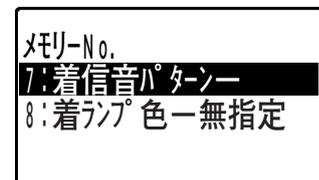
- 個別着信先 (夜) の入力画面が表示される

20 内線番号を入力する



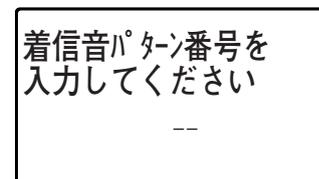
- 手順 11 で入力した電話番号から電話を受けた場合に特定の内線に着信させる機能を利用しない場合、何も入力しない
- 夜間モード (132 ページ) のとき、手順 11 で入力した電話番号から電話を受けた場合に着信させたい内線の内線番号を入力する
- (戻る) を押すと、1 文字削除できる

21 (決定) 押す



- 個別着信先 (夜) の内線番号が登録され、電話帳編集画面に戻る

22 (決定) 押す



- 着信音パターン番号の入力画面が表示される

23 着信音のパターン

(01~10) を入力する

着信音パターン番号を
入力してください
03

- 手順 11 で入力した電話番号から電話を受けた場合に特定の着信音にする機能を利用しない場合、何も入力しない
- 入力しない場合、システムで決められた着信音で呼び出される
- を押すと、1文字削除できる

24 押す

- 着信音パターンが登録され、電話帳編集画面に戻る

25 押す

1: 指定しない
2: 赤点滅
3: 緑点滅
4: 消灯

- 着信ランプのパターン選択画面が表示される

26 で着信ランプのパターンを選択する

1: 指定しない
2: 赤点滅
3: 緑点滅
4: 消灯

- 手順 11 で入力した電話番号から電話を受けた場合の着信ランプの点滅/消灯パターンを指定する
- 「1: 指定しない」を選択した場合、システムで決められたパターンになる

27 押す

- 着信ランプのパターンが登録され、電話帳編集画面に戻る

28 押す

電話帳登録します
メモリー番号を
指定してください
0100

- メモリー番号入力画面が表示される
- 空いているメモリー番号が自動的に入力されている
- 割り当てるメモリー番号の開始番号を選択することができる(100ページ)
- メモリー番号を変更する場合、メモリー番号は4ケタで入力する

IP-Digaport JII の場合:

0000~1499

IP-Digaport XII の場合:

0000~2999

- を押すと、1文字削除できる

29 押す

登録しました

- 登録が完了する
- 続けて登録するときは、 または を押したあと手順 4 ~ 手順 29 を繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す
- 指定したメモリー番号にすでに登録されている場合、確認画面が表示されるので、「1: はい」を選択して、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18ページ)

ただし、手順 14 でグループ番号をダイヤルボタンで選択することはできません。

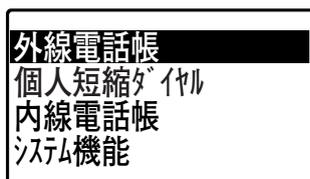
■手順23の着信音のパターンは、周波数と周期をあらかじめ設定しておく必要があります。

メモリー番号の開始番号を設定する

指定

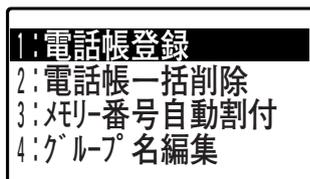
新規に登録する外線電話帳のメモリー番号（共通短縮番号）の開始番号を設定します。
メモリー番号（0000～0799）に登録された相手に対しては、漢字表示付
電話機/数字表示付電話機から **短縮** を押して電話をかけることができます。（35ページ）
設定によりメモリー番号 0800 以降に登録された相手に対して **短縮** を押して電
話をかけることもできます。☎ **取付け時設定**

1 待ち受け中に  または  押す

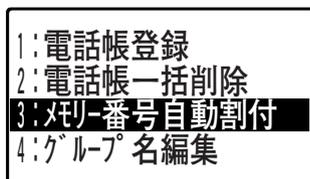


- メニュー画面が表示される

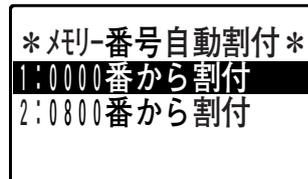
2  押す



3  で「3:メモリー番号自動割付」を
選択する



4  押す



- メモリー番号自動割付画面が表示される
- 現在、設定されている項目が選択されている

5 メモリー番号の開始番号を選択する

- 新規に登録した外線電話帳の相手に対して、漢字表示付電話機/数字表示付電話機から **短縮** を押して、電話をかけたい場合、「1:0000番から割付」を選択する

6  押す

- メニュー画面に戻る
- 待ち受け画面に戻るときは、**フック** を押す

■「2:0800番から割付」を設定しても、外線電話帳の登録、および修正時、メモリー番号を手動で0000番から選択することができます。

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。（18ページ）

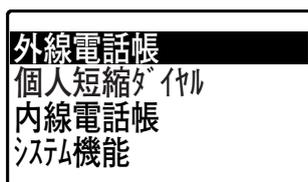
■外線電話帳を複数のグループに分けて利用している場合、本設定は無効です。本設定に関わらず0000番からメモリー番号が割付られます。

グループ名を登録する

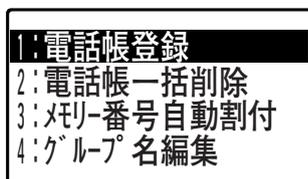
指定

グループ名を編集することができます。
外線電話帳からグループを選択してかける（33ページ）場合、編集したグループ名を表示させることができます。

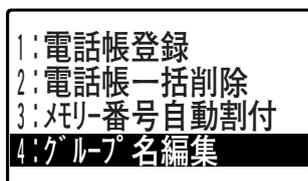
1 待ち受け中に  または  押す



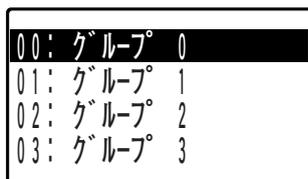
2  押す



3  で「4:グループ名編集」を選択する



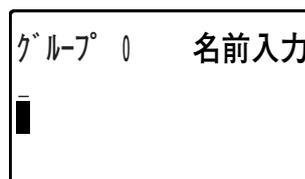
4  押す



- グループ名選択画面が表示される

5 グループ名を編集したいグループを選択する

6  押す



- グループ名編集画面が表示される

7 グループ名を編集する

- 漢字／ひらがな／カタカナ／英数字／記号で全角8文字（半角16文字）まで登録できる
- 120ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する
-  を押すと文字を1文字消去できる
-  を1秒以上押すとすべての文字を消去できる

8  押す

- グループ名が登録され、グループ名選択画面に戻る
- 続けて登録するときは、手順5～手順8を繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。（18ページ）

ただし、手順5でグループ番号をダイヤルボタンで選択することはできません。

■グループは最大30グループ（グループ番号0～グループ番号29）です。

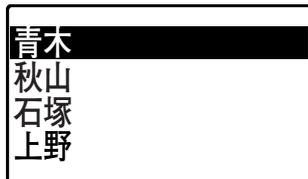
登録済みの外線電話帳を修正する

外線電話帳に登録した内容を修正することができます。

例) 下記の変更をする操作例を示す。
名前(フリガナ): 青木(アオキ)
電話番号: 0451234567

↓
名前(フリガナ): 青木事務所(アオキジムシヨ)
電話番号: 0311111111

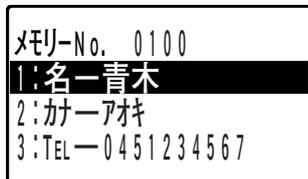
1 編集したい相手を選択する
(30 ページの手順 1 ~ 手順 4)



2 機能 押す

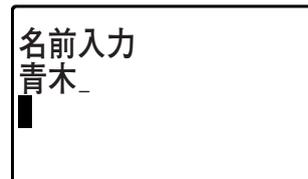


3 決定 押す



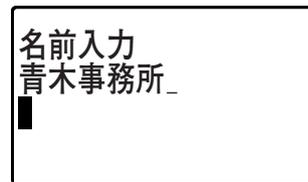
- 電話帳編集画面が表示される
- で修正したい項目を選択する
- 順不同で必要な項目のみ修正することができる
- 修正したい項目の修正終了後、手順 14 に移動する
- 以降、電話番号から順番に修正する例を説明する

4 決定 押す



- 名前入力画面が表示される

5 名前を修正する

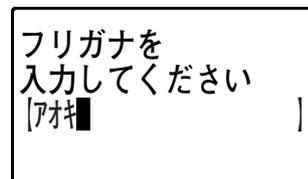


- を押すと文字を 1 文字削除できる
- を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- 漢字/ひらがな/カタカナ/英数字/記号で全角 10 文字(半角 20 文字)まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

6 決定 押す

- 名前が修正され、電話帳編集画面に戻る

7 決定 押す



- フリガナ入力画面が表示される

8 フリガナを修正する

フリガナを
入力してください
[アキジムシヨ]

- を押すと文字を 1 文字消去できる
- を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- カタカナ / 英数字 / 記号で半角 16 文字まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

9 押す

- フリガナが修正され、電話帳編集画面に戻る

10 押す

電話番号を
入力してください
0451234567

- 電話番号入力画面が表示される

11 電話番号を修正する

電話番号を
入力してください
031111111

- を押すと文字を 1 文字消去できる
- を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- 24 ケタまで登録できる
- を押すと、ポーズ (R)、識別子 (A)、ハイフン (F) を登録することができる (124 ページ)

12 押す

メモリー-No. 0100
4: Gr ー販売
5: 着信先 (昼) -300
6: 着信先 (夜) -301

- 電話番号が修正され、電話帳編集画面に戻る

13 グループ、着信先、着信音のパターン、着信ランプのパターンを修正する (98 ~ 99 ページの手順 13 ~ 手順 27)

14 押す

メモリー-No. 0100
上書きしますか?
1: はい
2: いいえ

- 確認画面が表示される

15 押す

登録しました

- 修正が完了する
- 「2: いいえ」を選択し を押すと、登録されずにメモリー番号選択画面が表示され、メモリー番号を指定することができる (99 ページの手順 28)
- 続けて編集するときは、 または を押したあと、手順 1 から繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)

外線電話帳を 1 件削除する

指定

外線電話帳に登録されている相手を削除することができます。

- 1 削除したい相手を選択する
(30 ページの手順 1 ~ 手順 4)

青木
秋山
石塚
上野

- 2 機能  押す

1: 電話帳修正
2: 1 件削除

- 3  で「2: 1 件削除」を選択する

1: 電話帳修正
2: 1 件削除

- 4  押す

電話帳データを 1 件 削除しますか?
1: はい
2: いいえ

- 確認画面が表示される

- 5  で「1: はい」を選択する

電話帳データを 1 件 削除しますか?
1: はい
2: いいえ

- 6  押す

1 件削除しました

- 外線電話帳が削除される
- 「2: いいえ」を選択し、 を押すと削除されずに手順 3 の画面に戻る
- 続けて削除するときは、 または  を押したあと、手順 1 から繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)

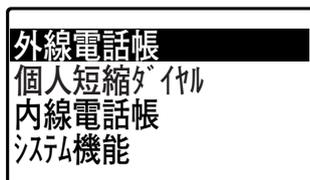
■外線電話帳に登録されている相手をすべて削除することができます。(105 ページ)

外線電話帳を全件削除する

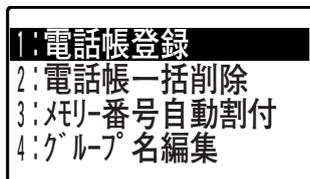
指定

外線電話帳に登録されている相手をすべて削除することができます。

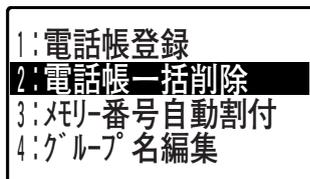
1 待ち受け中に  または  押す



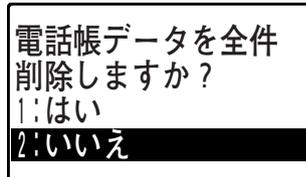
2  押す



3  で「2:電話帳一括削除」を選択する

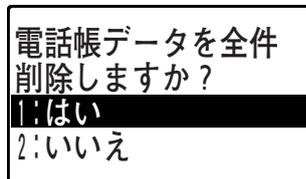


4  押す

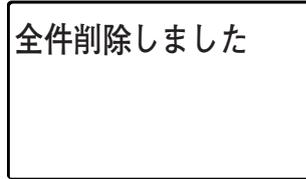


- 確認画面が表示される

5  で「1:はい」を選択する



6  押す



- 外線電話帳がすべて削除される
- 「2:いいえ」を選択し、 を押すと削除されずに手順 3 の画面に戻る
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

- 画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)
- 外線電話帳に登録されている相手を選択して削除することができます。(104 ページ)
- 外線電話帳を複数のグループに分けて利用している場合、本機能は利用できません。

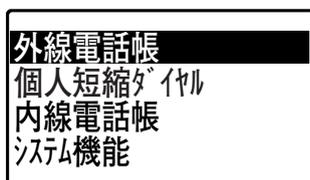
個人短縮ダイヤルに登録する

個人短縮ダイヤルに新規に登録する

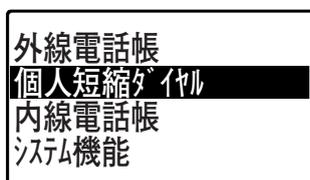
漢字

個人短縮ダイヤルに名前と電話番号を登録しておく、コマンドナビキーからの操作で検索して電話をかけることができます。

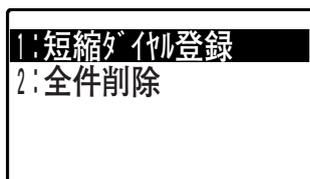
1 待ち受け中に  または  押す



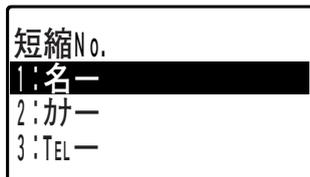
2  で「個人短縮ダイヤル」を選択する



3  押す

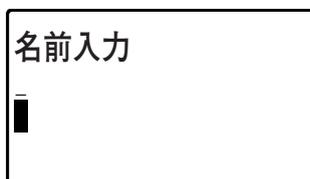


4  押す



- 電話帳編集画面が表示される

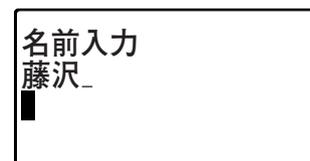
5  押す



- 名前入力画面が表示される

6 名前を入力する

例：「藤沢」と入力

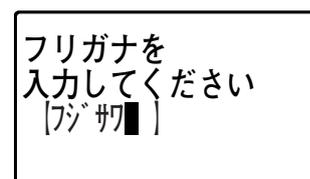


- 漢字/ひらがな/カタカナ/英数字/記号で全角7文字(半角14文字)まで登録できる
- 120ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する
- 例の場合、以下の手順で入力する
 を3回 →  →  を2回 →  →  →  を1回 →  →  を1回 →  → 

7  押す

- 名前が登録され、電話帳編集画面に戻る
- フリガナも自動的に入力される
- フリガナを修正する場合、手順8に移動する
フリガナを修正しない場合、 で「3:TEL」を選択し、手順11に移動する

8  押す



- フリガナ入力画面が表示される
- 手順6で入力した名前に合わせて自動的に入力されている

9 フリガナを入力する

フリガナを
入力してください
[フリガナ]

- を押すと文字を 1 文字消去できる
- を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- カタカナ / 英数字 / 記号で半角 7 文字まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

10 押す

- フリガナが登録され、電話帳編集画面に戻る

11 押す

電話番号を
入力してください

- 電話番号入力画面が表示される

12 電話番号を入力する

電話番号を
入力してください
0451234567

- 24 ケタまで登録できる
- を押すと、ポーズ (R)、識別子 (A)、ハイフン (F) を登録することができる (124 ページ)
- を押すと、番号を 1 文字削除できる

13 押す

短縮No.
1: 名一藤沢
2: カーブジガ
3: TEL—0451234567

- 電話番号が登録され、電話帳編集画面に戻る

14 押す

短縮ダイヤル登録します
短縮番号を
指定してください
80

- 短縮番号入力画面が表示される
- 空いている短縮番号が自動的に入力されている
- 短縮番号を変更する場合、2 ケタ (~) で入力する
- を押すと、1 文字削除できる

15 押す

登録しました

- 登録が完了する
- 指定した短縮番号にすでに登録されている場合、確認画面が表示されるので、「1:はい」を選択して を押す
- 続けて登録するときは、 または を押したあと手順 5 ~ 手順 15 を繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)

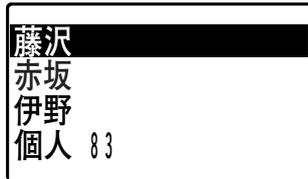
個人短縮ダイヤルに登録する

登録済みの個人短縮ダイヤルを修正する 漢字

個人短縮ダイヤルに登録した内容を修正することができます。

例) 下記の変更をする操作例を示す。
 名前(フリガナ): 藤沢(フジサワ)
 電話番号: 0451234567
 ↓
 名前(フリガナ): 青木(アオキ)
 電話番号: 031111111

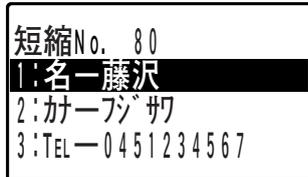
1 編集したい相手を選択する (36 ページの手順 1 ~ 手順 4)



2 機能 押す

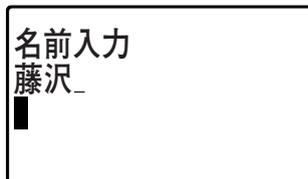


3 (決定) 押す



- 電話帳編集画面が表示される
- で修正したい項目を選択する
- 順不同で必要な項目のみ修正することができる
- 修正したい項目の修正終了後、手順 13 に移動する
- 以降、電話番号から順番に修正する例を説明する

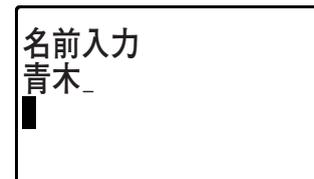
4 (決定) 押す



- 名前入力画面が表示される

5 名前を修正する

例: 「藤沢」から「青木」に修正

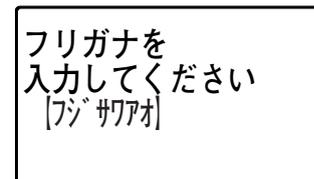


- を押すと文字を 1 文字消去できる
- を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- 漢字/ひらがな/カタカナ/英数字/記号で全角 7 文字 (半角 14 文字) まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する
- 例の場合、以下の手順で入力する
 を 2 回 → ① → → ① を 5 回 → → ② を 2 回 → → (決定)

6 (決定) 押す

- 名前が修正され、電話帳編集画面に戻る

7 (決定) 押す



- フリガナ入力画面が表示される

8 フリガナを修正する

フリガナを
入力してください
[アキ]

- を押すと文字を 1 文字消去できる
- を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- カタカナ / 英数字 / 記号で半角 7 文字まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

9 押す

- フリガナが修正され、電話帳編集画面に戻る

10 押す

電話番号を
入力してください
0451234567

- 電話番号入力画面が表示される

11 電話番号を入力する

電話番号を
入力してください
031111111

- を押すと文字を 1 文字消去できる
- を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- 24 ケタまで登録できる
- を押すと、ポーズ (R)、識別子 (A)、ハイフン (F) を登録することができる (124 ページ)

12 押す

短縮No. 80
1:名-青木
2:カーアキ
3:TEL-031111111

- 電話番号が登録され、電話帳編集画面に戻る

13 押す

短縮No. 80を
上書きしますか?
1:はい
2:いいえ

- 確認画面が表示される

14 押す

登録しました

- 登録が完了する
- 「2:いいえ」を選択し、 を押すと登録されずに短縮番号入力画面が表示され、短縮番号を指定することができる (107 ページの手順 14)
- 続けて編集するときは、 または を押したあと、手順 1 から繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

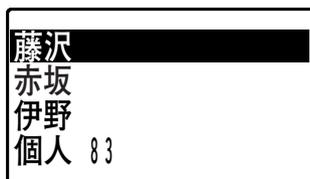
■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)

個人短縮ダイヤルを 1 件削除する

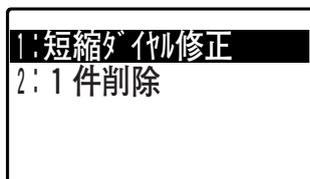
漢字

個人短縮ダイヤルに登録されている相手を削除することができます。

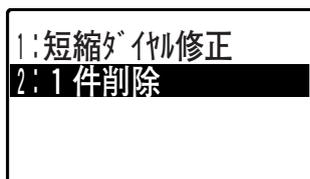
- 1** 削除したい相手を選択する
(36 ページの手順 1 ~ 手順 4)



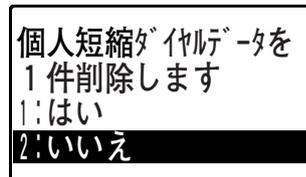
- 2** 機能  押す



- 3**  で「2:1件削除」を選択する

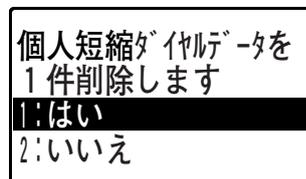


- 4**  押す

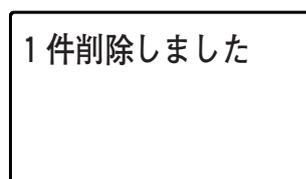


● 確認画面が表示される

- 5**  で「1:はい」を選択する



- 6**  押す



- 個人短縮ダイヤルが削除される
- 続けて削除するときは、 または  を押したあと、手順 1 から繰り返す
- 「2:いいえ」を選択し  を押すと、削除されずに手順 3 の画面に戻る
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)

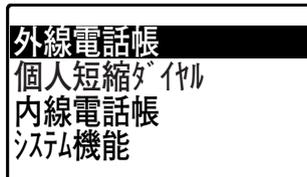
■個人短縮ダイヤルに登録されている相手をすべて削除することができます。(111 ページ)

個人短縮ダイヤルを全件削除する

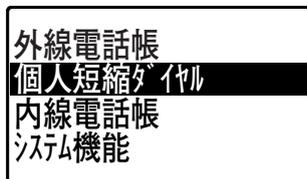
漢字

個人短縮ダイヤルに登録されている相手をすべて削除することができます。

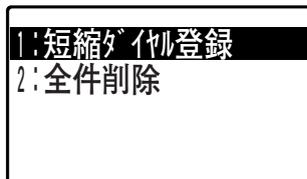
1 待ち受け中に  または  押す



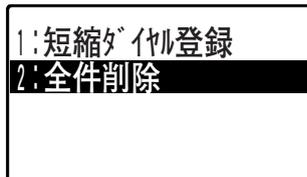
2  で「個人短縮ダイヤル」を選択する



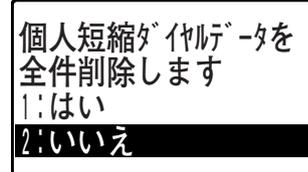
3  押す



4  で「2:全件削除」を選択する

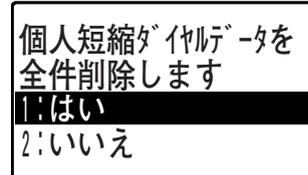


5  押す

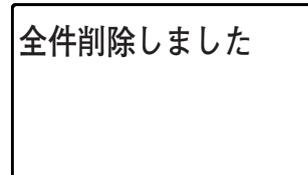


● 確認画面が表示される

5  で「1:はい」を選択する



6  押す



- 個人短縮ダイヤルがすべて削除される
- 「2:いいえ」を選択し、 を押すと削除されずに手順 3 の画面に戻る
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18ページ)

■個人短縮ダイヤルに登録されている相手を選択して削除することができます。(110ページ)

個人短縮ダイヤルに登録する

履歴から個人短縮ダイヤルに電話番号を登録する 漢字

発信履歴/着信通話履歴/着信不応答履歴から個人短縮ダイヤルに電話番号を登録することができます。

- 1** 待ち受け中に  または  押す

外線電話帳
個人短縮ダイヤル
内線電話帳
システム機能
- 2**  で登録したい履歴の種類を選択する

電話機別機能
発信履歴
着信通話履歴
着信不応答履歴
- 3**  押す

01: 8月 6日 10:30
青木
02: 8月 6日 8:45
0450000000

 - 履歴が表示される
- 4**  で登録したい相手を選択する
- 5**  押す

1: 個人短縮ダイヤル登録
2: 迷惑電話拒否登録
3: 履歴 1 件削除
4: 履歴 全件削除
- 6**  押す

0450000000
登録短縮番号->

 - 短縮番号入力画面が表示される
- 7** 短縮番号
(  ~  ) を入力する

0450000000
登録短縮番号->80
- 8**  押す

登録しました

 - 登録が完了する
 -  を押すと手順 5 に戻る
 - 待ち受け画面に戻るときは、 を押す
 - 指定した短縮番号にすでに登録されている場合、確認画面が表示されるので、「1:はい」を選択して  を押す

- 画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)
ただし、手順 4 で日時の前についている番号をダイヤルボタンで選択することはできません。
- 登録した電話番号に名前を登録したい場合、「登録済みの個人短縮ダイヤルを修正する」(108 ページ) の操作を行ってください。

個人短縮ダイヤルに電話番号を登録する 数字

数字表示付電話機には、電話番号を登録することができます。名前は登録できません。

- 1 モニター 押す
●モニターランプ点灯
- 2 設定/転送 押す
- 3 短縮 押す
- 4 登録する短縮番号
8 0 ~ 9 9 を押す

- 5 登録する電話番号を押す
 - 構内交換機に接続している場合は、電話番号の前に外線発信番号(例：0)を押す
 - 24ケタまで登録できる
 - 電話番号のほかに124ページの項目を登録できる
- 6 保留 押す
 - 「ピーピーピー」が聞こえたら、設定完了
 - 続けて登録するときは、手順2～6を繰り返す
 - 登録を終了するときは、モニターを押す

■修正するには

→手順5で修正したい番号を押します。

■削除するには

→手順5を抜いて操作します。

■手順3、4の代わりに登録したい短縮番号のワンタッチボタン(38ページ)を押して登録することができます。

短縮ダイヤルの登録番号を確認する

- 1 モニター → 2 確認/会議 → 3 短縮 → 4 短縮番号 → 5 登録されている → 電話番号表示
- 6 モニター

■ワンタッチボタンの登録番号を確認するには

→手順3、4の代わりに確認したいワンタッチボタンを押します。

■次の短縮番号の確認をするには

→手順6で保留を押します。登録されている電話番号がない場合、何も表示されません。

ラストナンバーリダイヤルをコピーして 個人短縮ダイヤルに登録する

ラストナンバーリダイヤルを個人短縮ダイヤルに登録する 漢字

- 1** 再ダイヤル 押す

 - 短縮ダイヤルに登録したい電話番号を表示させる

0457891234

- 2** 文字
設定/転送 押す

0457891234
トウロクタンシュクNO=>

- 3** 登録したい短縮番号

8 0 ~ 9 9 を押す

- 4** 保留 押す

 - 「トウロク OK」と表示される
 - 登録を終了するときには、終了 フック を押す

- 手順 3 で、間違った短縮番号を入力して 保留 を押すと
 - ➔ 「トウロク NG」と表示されます。手順 2 からやり直してください。
- 手順 3 を省略すると
 - ➔ 表示した電話番号が削除されます。
- 手順 3 で選択した短縮番号にすでに電話番号が登録されている場合、表示したラストナンバーが上書きして登録されます。

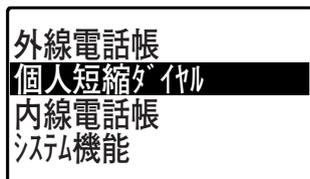
他の内線番号の個人短縮ダイヤルに登録する 指定

他の内線番号の個人短縮ダイヤルに登録する 指定

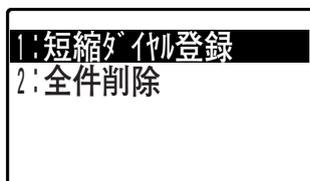
他の内線番号の個人短縮ダイヤルに電話番号や名前を登録することができます。

1 待ち受け中に  または  押す

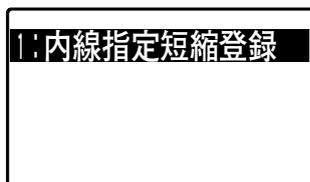
2  で「個人短縮ダイヤル」を
選択する



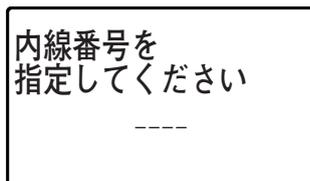
3  押す



4  押す



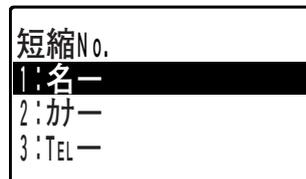
5  押す



- 内線番号指定画面が表示される

6 内線番号を入力する

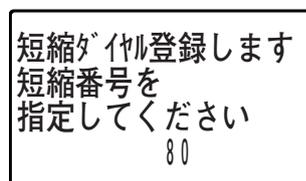
7  押す



- 電話帳編集画面が表示される

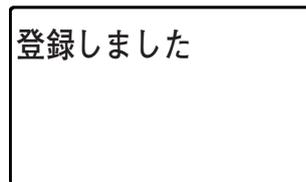
8 名前、フリガナ、電話番号を登録する
(106~107ページの手順5~手順13)

9  押す



- 短縮番号入力画面が表示される
- 空いている短縮番号が自動的に入力されている
- 短縮番号を変更する場合、2ケタ（~）で入力する
-  を押すと、1文字削除できる

10  押す



- 登録が完了する
- 指定した短縮番号にすでに登録されている場合、確認画面が表示されるので、「1:はい」を選択して  を押す
- 続けて登録するときは、 または  を押したあと手順8~手順10を繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18ページ)

内線電話帳に新規に名前を登録する

指定

内線電話帳に名前と電話番号を登録しておくこと、コマンドナビキーからの操作で検索して電話をかけることができます。

また、内線電話帳に登録されている相手から内線を受けると登録した名前が表示されます。

1 待ち受け中に  または  押す

外線電話帳
個人短縮ダイヤル
内線電話帳
システム機能

2  で「内線電話帳」を選択する

外線電話帳
個人短縮ダイヤル
内線電話帳
システム機能

3  機能 押す

1:電話帳登録

4  押す

内線番号を 指定してください

- 内線番号指定画面が表示される

5 内線番号を入力する

内線番号を 指定してください
_309

6  押す

内線No. 309
1:名-
2:カー

- 電話帳編集画面が表示される
- 内線番号にすでに名前が登録されている場合、確認画面が表示されるので、「1:はい」を選択して、 を押す

7  押す

名前入力
█

- 名前入力画面が表示される

8 名前を入力する

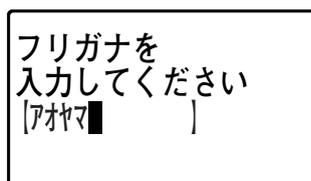
名前入力
青山_
█

- 漢字/ひらがな/カタカナ/英数字/記号で全角7文字(半角14文字)まで登録できる
- 120ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

9 決定 押す

- 名前が登録され、電話帳編集画面に戻る
- フリガナも自動的に入力される
- フリガナを修正する場合、手順10に移動する
フリガナを修正しない場合、手順13に移動する

10 決定 押す



- フリガナ入力画面が表示される
- 手順8で入力した名前に合わせて自動的に入力されている

11 フリガナを入力する

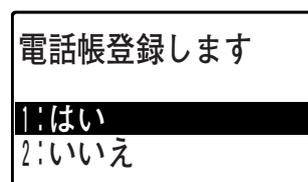
- を押すと文字を1文字消去できる
- を1秒以上押すとすべての文字を消去できる
- カタカナ／英数字／記号で半角10文字まで登録できる
- 120ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

12 決定 押す



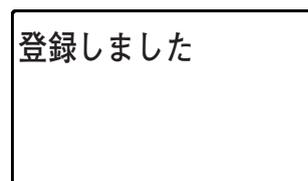
- フリガナが登録され、電話帳編集画面に戻る

13 機能 押す



- 確認画面が表示される

14 決定 押す



- 登録が完了する
- 「2:いいえ」を選択し、 を押すと登録されずに手順12の画面に戻る
- 続けて登録するときは、 または を押したあと、手順5～手順14を繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18ページ)

■登録した内線番号の電話機が漢字表示付電話機の場合、登録した名前の先頭から全角6文字（半角12文字）までが待ち受け画面が表示されます。

登録済みの名前を修正・削除する

内線電話帳に登録した名前を修正、または削除することができます。

例) 下記の修正をする操作例を示す。

名前 (フリガナ): 青山 (アオヤマ)



名前 (フリガナ): 青山太郎 (アオヤマタロウ)

1 編集したい相手を選択する
(56 ページの手順 1 ~手順 6)

青山	309
石田	306
上田	311
川田	305

2 機能
○ 押す

1: 電話帳修正
2: 1 件削除

3 (決定) 押す

内線No. 309
1: 名-青山
2: カ-アヤマ

- 電話帳編集画面が表示される

4 (決定) 押す

名前入力 青山

- 名前入力画面が表示される

5 名前を修正する

名前入力 青山太郎

- (戻る) を押すと文字を 1 文字消去できる
- (戻る) を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- 漢字/ひらがな/カタカナ/英数字/記号で全角 7 文字 (半角 14 文字) まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

6 (決定) 押す

- 名前が登録され、電話帳編集画面に戻る

7 (決定) 押す

- フリガナ入力画面が表示される

8 フリガナを修正する

フリガナを 入力してください [アヤマタロウ]

- (戻る) を押すと文字を 1 文字消去できる
- (戻る) を 1 秒以上押すとすべての文字を消去できる
- カタカナ/英数字/記号で半角 10 文字まで登録できる
- 120 ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

9 押す

内線No. 309
1:名-青山太郎
2:カーアヤマタロウ

- フリガナが登録され、電話帳編集画面に戻る

10 押す

内線No. 309
上書きしますか?
1:はい
2:いいえ

- 確認画面が表示される

11 押す

登録しました

- 登録が完了する
- 「2:いいえ」を選択し、 を押すとデータは削除されずに手順 9 の画面に戻る
- 続けて編集するときは、 または  を押したあと、手順 1 から繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

- 画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)
- 修正した内線番号の電話機が漢字表示付電話機の場合、修正した名前の先頭から全角 6 文字 (半角 12 文字) までが待ち受け画面が表示されます。
- 手順 2 で「2:1 件削除」を選択して、 を押すと選択した内線電話帳を削除することができます。確認画面が表示されるので、 で「1:はい」を選択して  を押してください。

外線電話帳、個人短縮ダイヤル、内線電話帳、迷惑電話パターンに名前を入力して登録することができます。
登録できる最大の文字数は以下のとおりです。

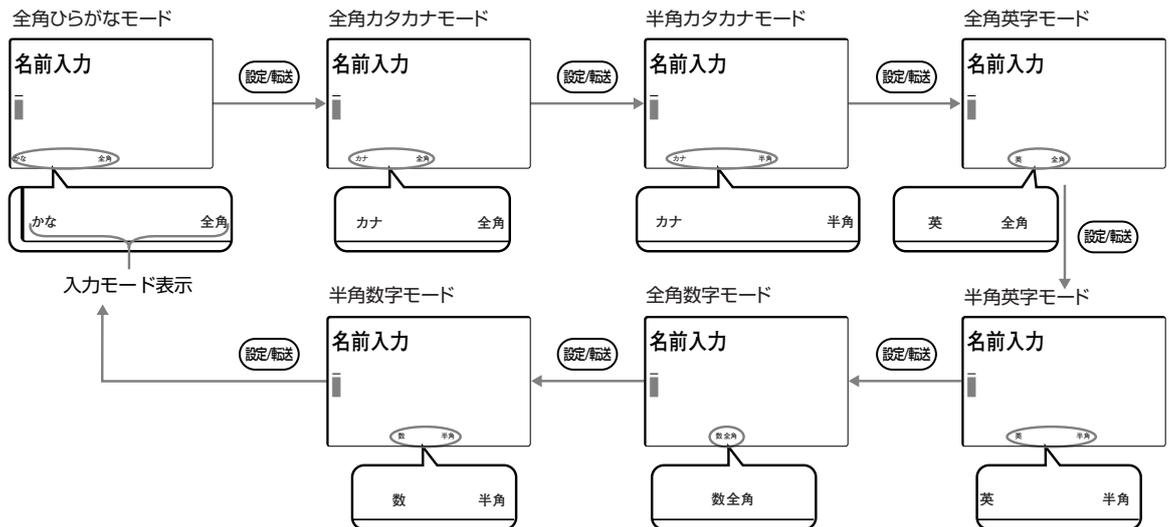
電話帳	名前	フリガナ	グループ名
外線電話帳	全角10文字(半角20文字)	半角16文字	全角8文字(半角16文字)
個人短縮ダイヤル	全角7文字(半角14文字)	半角7文字	—
内線電話帳	全角7文字(半角14文字)	半角10文字	—
迷惑電話パターン	全角10文字(半角20文字)	半角10文字	—

文字の入力方法

入力できる文字の種類は、ひらがな(全角)、漢字(全角)、カタカナ(全角/半角)、英字(全角/半角)、数字(全角/半角)の8種類あります。

文字の入力モードを切り替える

文字入力画面において **設定/転送** を押すことにより、全角ひらがな→全角カタカナ→半角カタカナ→全角英字→半角英字→全角数字→半角数字の順に入力モードが切り替わります。



- 入力画面によっては、選択できないモードもあります。

文字ボタン割当表

漢字

文字はボタンを押して入力します。
ボタンには、入力モードに応じて、下表の文字や機能が割り当てられています。

ボタン	入力モード						
	全角ひらがな 入力モード	カタカナ入力モード		英字入力モード		数字入力モード	
		全角	半角	全角	半角	全角	半角
①	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウエオ アイウエオ	—	—	1	1
②	かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	ABC abc	ABC abc	2	2
③	さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	DEF def	DEF def	3	3
④	たちつと っ	タチツテト ッ	タチツテト ッ	GHI ghi	GHI ghi	4	4
⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	JKL jkl	JKL jkl	5	5
⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフヘホ	MNO mno	MNO mno	6	6
⑦	まみむめも	マミムメモ	マミムメモ	PQRS pqrs	PQRS pqrs	7	7
⑧	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	TUV tuv	8	8
⑨	らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	WXYZ wxyz	9	9
⑩	わをん	ワヲン	ワヲン	—	—	0	0
✳	”	”	”	. - @ _ / : ~	. - @ _ / : ~	*	*
＃	、。ー ! ? 空白	、。ー ! ? 空白	、。ー ! ? 空白	, ! ? ¥ & () * # " ' = ^ + ;	, ! ? ¥ & () * # " ' = ^ + ;	#	#
設定/転送	入力モードを全角ひらがな→全角カタカナ→半角カタカナ→全角英字→半角英字→全角数字→半角数字→全角ひらがなの順に切り替えます。 文字が未確定の状態、設定/転送を押すと未確定の文字は確定します。						
フック	設定を終了し、待ち受け画面に戻ります。						
↕	ひらがなモードで入力したひらがなを漢字に変換します。↕を押した場合、登録されている候補の一番最後から表示され、↕を押した場合、登録されている候補の一番最初から表示されます。						
戻る ○	1文字消去します。戻るを1秒以上押すと、表示中の文字データをすべて消去します。未入力状態の場合には、ひとつ前の画面に戻ります。						
短縮	編集中の文字入力をクリアして、保存データから再度読み込みます。						
Ⓜ	表示中のデータを登録します。文字入力中は、入力中の文字や漢字変換を確定します。						
←	カーソルを左へ移動します。						
→	文字が何も入力されていない場合、スペースを入力しカーソルを右に1つ移動します。すでに入力がある場合、入力されている文字を確定し、カーソルを右に1つ移動します。						

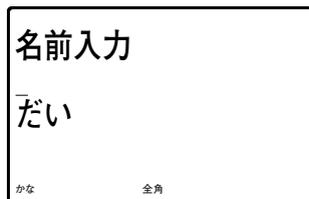
多機能電話機 / 指定電話機

ダイヤル登録 / 短縮

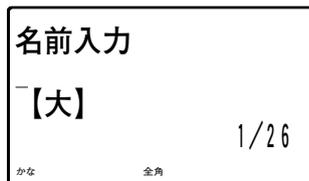
漢字変換のしかた

例：「第1営業」と入力する場合

- 1 「だい」を入力する
- ④ を1回 (た) →
 - ✳ を1回 (濁点) →
 - ① を2回 (い)



- 2  で漢字変換する



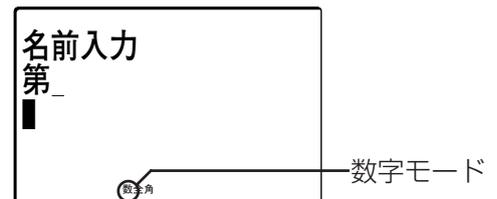
- 目的の漢字が表示されるまで  を繰り返し押す

- 3  を押す



- 漢字が決定される

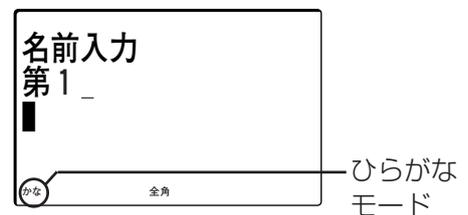
- 4 入力モード表示が全角数字モードになるまで  を押す (120ページ)



- 5 ① を押し  を押す



- 6 入力モード表示が全角ひらがなモードになるまで  を押す (120ページ)



7 「えいぎょう」を入力する

- ① を4回 (え) →
- ⊙ (カーソルを移動) →
- ① を2回 (い) →
- ② を2回 (き) →
- ✳ を1回 (濁点) →
- ⑧ を6回 (よ) →
- ① を3回 (う)

名前入力
第1
えいぎょう

かな 全角

8 で漢字変換する

名前入力
第1
【営業】

かな 全角 1/4

- 目的の漢字が表示されるまで  を繰り返し押す

9 押す

名前入力
第1 営業

かな 全角

- 漢字が決定される
- 文字を消去する場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去する
- すべての文字を消去する場合、 を約1秒以上押す

■漢字は JIS 第 1 水準および JIS 第 2 水準に対応しています。

■名前の前にスペースがあると検索できないため、名前の最初はスペースをあげないでください。

短縮ダイヤルに登録できるもの

外線電話帳、および個人短縮ダイヤルに電話番号を登録するとき、電話番号の中、または電話番号の代わりにポーズ(R)、識別子(A)、ハイフン(F)を登録することができます。押したボタンはそれぞれ1ケタとして数えます。

<漢字表示付電話機の場合>

電話番号を入力中に  を押すとコマンドナビキーの操作でポーズ(R)、識別子(A)、ハイフン(F)を登録することができます。

<数字表示付電話機の場合>

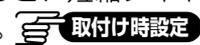
電話番号を入力中に以下のボタンを押すと各項目を登録することができます。

ポーズ(R) : 

識別子(A) : 

ハイフン(F) : 

※表示される文字は、漢字表示付電話機を例としています。

項目	表示される文字	種別	内容
ポーズ	R	電話番号の中	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号の中にポーズ(R)を登録すると、ポーズ(R)のところで、3秒のポーズ時間がつづられます。 NCC回線など、ポーズを必要とする電話番号を登録するときなどに使います。
プッシュ 信号 転換	A**	電話番号の中	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号の中に識別子(A)+を登録すると、識別子(A)+以降の電話番号をプッシュ信号に替えて送り出します。 NCC回線で、プッシュ信号に切り替える必要のある電話番号を登録するときなどに使います。
ブーン ダイヤル	A××× ××× : 短縮番号	電話番号の 代わり	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号の代わりに短縮ダイヤルを登録することができます。共通短縮ダイヤルを個人短縮ダイヤルに登録するときに使います。 また、短縮ダイヤルを6つまで登録することができます。ブーンダイヤルで送ることのできるダイヤルのケタ数は最大80ケタです。 短縮ダイヤルを登録した短縮ダイヤルを、他の短縮ダイヤルに登録することはできませんが、発信はできません。例えば、短縮ダイヤルを登録させた場合、は他の短縮ダイヤルに登録させることができますが、発信はできません。 短縮番号を4ケタで登録することはできません。
表示 ハイフン	F	電話番号の中	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号の中にハイフン(F)を登録すると、登録したところでハイフン(F)を表示します。 電話番号を見やすくするときに使います。
表示 制御 短縮 ダイヤル	A*2	電話番号の中	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号の中に識別子(A)+を登録すると、それ以降の電話番号はハイフン(F)を表示します。再度識別子(A)+を登録すると、以降の番号を再び表示します。 NCCの暗証番号などを表示したくないときに利用します。
番号 内線 捕捉	A*#	内線番号 の前	<ul style="list-style-type: none"> 外線優先が設定されている場合、短縮番号に内線番号や機能特番を登録するときに使用します。内線番号や機能特番の前に登録します。登録しないと間違った相手先にかかることがあります。
番号 外線 捕捉	A*0	電話番号 の前	<ul style="list-style-type: none"> 外線優先が設定されている場合、外線を捕捉する番号を登録すると、短縮ダイヤルでかけるとき、を押す操作などを省略することができます。
番号 専用 線 捕捉	A*71 A*72 A*73 A*74	電話番号 の前	<ul style="list-style-type: none"> 専用線捕捉番号(専用線発信1(A*71)、専用線発信2(A*72)、専用線発信3(A*73)、専用線発信4(A*74))を登録すると、専用線にかけるときに専用線捕捉番号をダイヤルしなくても、発信できます。

項目	表示される文字	種別	内容
名前 変換 ダイヤル イン 番号	#*	電話番号 の前	<ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤルに「⇒ダイヤルイン番号」を設定すると、ダイヤルイン番号が一致したときに、該当する短縮の名前を表示することができます。短縮登録された名前は最大15文字まで表示します。(171ページ) (短縮ダイヤル発信としては、使用できません)

指定電話機でシステム全体に関わる操作を行うことができます。指定電話機は取付け時に設定する必要があります。取付け時設定

数字表示付電話機、2.4G カラーデジタルコードレス電話機を指定電話機とすることはできません。

ユーザー設定の主装置メニューに移動したあと、各操作を行います。

迷惑電話の設定に関する操作は、コマンドナビキーを使って行います。(138 ページ)

指定電話機で主装置メニューに移動する

- 1 モニター 押す

- 2 文字
設定/転送 押す

- 3 * * 押す

- 4 機能 ○ 押す
 - ユーザーログインモードになる

61-
ユーザ'セッテイ

- 5 保留 押す
 - 主装置メニューになる

610-
シュウチ

上記の手順 1 ~ 5 の操作のあと、続けて次の操作に移ることができます

- カレンダー・時刻の設定を変更する (126 ページ)
- グループ別の通話料金の各種操作 (127 ~ 128 ページ)
- 内線番号別の通話料金の各種操作 (129 ページ)
- ACR 機能を解除、復旧する (130 ページ)
- 共通短縮ダイヤルの発信回数を確認する (131 ページ)
- 自動夜間切替を設定する (132 ~ 135 ページ)
- 2.4G カラーデジタルコードレス電話機の FF キーの名称を登録する (136 ページ)

カレンダー・時刻の変更をすることができます。

カレンダー・時刻の設定を変更する

1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと

0 **6** **保留** 押す

610-06
シュウチ

2 **機能** 押す

61006-
カレンダー-/ジ'コ

- カレンダー・時刻の設定メニューになる

3 年 (00~99、西暦下2ケタ)

月 (01~12、2ケタ)

日 (01~31、2ケタ)

保留 押す

0 :070801
ヒツケ

(2007年8月1日の場合)

4 時 (00~23、2ケタ)

分 (00~59、2ケタ)

保留 押す

1 :1445
ジ'コ

(14時45分の場合)

5 曜日番号 (0~6)、

保留 押す

日曜：0、月曜：1、火曜：2、
水曜：3、木曜：4、金曜：5、
土曜：6、

2 :3
ヨ'ビ

- 曜日番号は自動的に表示される

6 **モニター** 終わるときに
押す

■手順 3 ~ 5 で間違えたときは

→ **終了** **フック** を押し、間違えた手順からやり直します。

■手順 5 の操作を終了した時点で、カレンダー・時刻の設定の変更は完了します。

→ 手順 5 の操作のあとに表示されるメニュー (SNTPカ'シ) を利用して、自動的に時刻補正を行うこともできます。

詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

お願い

- 外線通話中にカレンダー・時刻を変更すると、その通話の通話料金計算は正しく行われません。

グループ別の通話料金の予算額を設定する

- 1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと
 押す

シュウチ
- 2 押す

カキンカンリ
- 3 機能 押す

グループヨサン
- 4 グループ番号（2ケタ）、
 押す

グループバンゴウ
- 5 予算額（0～9999999円）、
 押す

グループバンゴウ03
 - を押すと次のグループの予算が表示される
- 6 終わるときに押す

■続けて設定するときは

→手順6で の代わりに を押し手順4～5を繰り返します。

■手順5で次のグループの予算額を見るときは、、前のグループの予算額を見るときは、 を押します。

グループ別通話料金の予算額を確認する

主装置メニューに移動（125ページ）したあと

- 1 → 2 → 3 機能 →
- 4 グループ番号、 → 5 表示される → 6 終わるとき

グループ別通話料金の予算額を接続プリンターから印刷する 取付け時設定

主装置メニューに移動（125ページ）したあと

- 1 → 2 → 3 →
- 4 印刷開始 → 5 終わるとき

●印刷中に印刷を停止するときは、再度 を押します。

グループ別の通話料金

今月のグループ別の通話料金を確認する

- 1 主装置メニューに移動（125 ページ）したあと
 - ① ① 保留 押す
 - 610-00
シュウチ
- 2 ② 保留 押す
 - 61000-2
カギカンリ
- 3 機能 押す
 - ③
 - 2
グループ（コンタクト）
- 4 グループ番号(①①)~(②④)の2ケタ
 - 保留 押す
 - 03
グループバンクウ
 - 通話料金が表示される
 - 13000円
グループバンクウ03
- 5 モニター 終わるときに押す

■前月のグループ別の通話料金を確認するとき

→手順2で② 保留 の代わりに、③ 保留 を押します。

今月のグループ別の通話料金を印刷する

取付け時設定

主装置メニューに移動（125 ページ）したあと

1 ①① 保留 → 2 ② 保留 → 3 FFボタン →

4 印刷される → 5 終わるとき モニター

●印刷中に印刷を停止するときは、再度 FFボタン を押します。

●前月分のグループ別の通話料金を印刷するには、手順2で② 保留 の代わりに、③ 保留 を押します。

グループ別の通話料金集計をクリアーする

主装置メニューに移動（125 ページ）したあと

1 ①① 保留 → 2 ② 保留 → 3 機能 →

4 ①① 保留 → 5 フック 保留 → 6 モニター

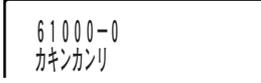
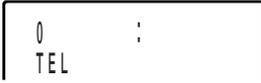
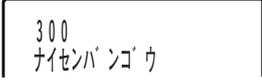
●グループ別、内線番号別の通話料金がクリアーされます。

●クリアー操作をしない限り、通話料金は9,999,999円まで加算表示され、9,999,999円を超えると、9,999,999円のみで表示は変わりません。

●クリアーを行うと、今月のグループ別通話料金が、前月のグループ別通話料金にコピーされ、今月のグループ別料金がクリアーされます。

内線番号別の通話料金を確認する

- 1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと
 押す

- 2  押す

- 3 機能  押す

- 4 内線番号、 押す
 - 通話料金が表示される
- 5  終わるときに押す

■続けて確認するときは

- 手順 5 で  の代わりに、次の内線番号の料金表示を見るときは  を、前の内線番号を見るときは  を押します。

内線番号別の通話料金を印刷する



主装置メニューに移動（125ページ）したあと

- 1  → 2  → 3 FFボタン  →
- 4 印刷される → 5 

- 印刷中に印刷を停止するときは、再度  を押します。

ACR 機能を解除する

NCC回線が通信できなくなったときに、ACR機能（52ページ）を一時的に解除できます。

1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと

① ⑤ 保留 押す

610-05
シュウチ

3 ① 保留 押す

0 :0
トウサセイギョ

2 機能 ○ 押す

61005-
ACR

4 モニター 押す

■ACR 機能を復旧させるときは

→手順 3で、①の代わりに①を押します。

■自動キャリア選択をしている場合は、ACR 機能の解除はできません。

共通短縮ダイヤルの発信回数を確認する

1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと

① ⑧ 保留 押す

② ① 保留 押す

③ 機能 押す

4 短縮番号、保留 押す

5 モニター 終わるときに押す

610-08
シュウチ

61008-1
タンシュクリヨウカイスウ

1
タンシュクリヨウカイスウ

001
タンシュクバンゴウ

● 発信回数が表示される

発信回数 10
マツシタツウシ 001
名前 共通短縮番号

- 本機能は共通短縮番号（①①①～⑦⑨⑨）に対して有効です。
共通短縮番号を4ケタで指定することはできません。
 - 続けて確認するときは
→手順5で モニター の代わりに、次の短縮番号の発信回数を見たいときは ▽音量 を、前の短縮番号を見るときは 音量△ を押します。
 - 印刷するときは
→上記手順1～2のあと FFボタン を押します。印刷を停止するときには、再度 FFボタン を押します。
- 取付け時設定

共通短縮ダイヤルの発信回数のカウントを始める

主装置メニューに移動（125ページ）したあと

① ① ⑧ 保留 → ② ① 保留 → ③ ② を押して短縮ダイヤル測定指示する →

④ 保留 → ⑤ モニター

0* :0XXXXX
ソクタイセイヨ

○：測定開始
×：測定停止

- 測定を停止し、再度開始すると、今までの発信回数がクリアーされます。
- ビーンダイヤル（124ページ）として個人短縮ダイヤルの中に共通短縮ダイヤルを登録して発信した場合は、発信回数のカウントに含まれません。

自動切替時刻設定

昼間と夜間で、外からの電話に応答する電話機を変える場合（夜間切替）、時刻を設定しておく、システムの運用モード（昼間モード、夜間モード）が自動的に切り替えられます。この設定をしたあと、切替時刻の例外日時（134ページ）、切り替えしない期間（135ページ）を設定してください。

グループ単位の自動切替はできません。

通常日自動切替

通常日の曜日ごと（平日（月～金）／土曜／日曜）に、運用モード切替時刻と運用モードが設定できます。平日、土曜、日祝日ごとに最大5パターンまで設定可能です。

- 1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと

0	7	保留	押す
610-07 シュウチ			
- 2

0	保留	押す
61007-0 ウンヨウモード		
- 3

機能	○	押す
0- キリカエパター		
- 4 平日1の運用モード切替時刻（□□時□□分、24時間制）、

保留	押す
000 :0000 ヘイジツ1カイジカン	
- 5 切り替える運用モード番号（133ページ）、

保留	押す
001 :1 ヘイジツ1モード	
- 6 平日2の運用モード切替時刻（□□時□□分、24時間制）、

保留	押す
002 :0900 ヘイジツ2カイジカン	
- 7 切り替える運用モード番号（133ページ）、

保留	押す
003 :3 ヘイジツ2モード	
- 8 平日3の運用モード切替時刻（□□時□□分、24時間制）、

保留	押す
004 :1700 ヘイジツ3カイジカン	
- 9 切り替える運用モード番号（133ページ）、

保留	押す
005 :4 ヘイジツ3モード	
- 10

モニター	終わるときに押す
------	----------

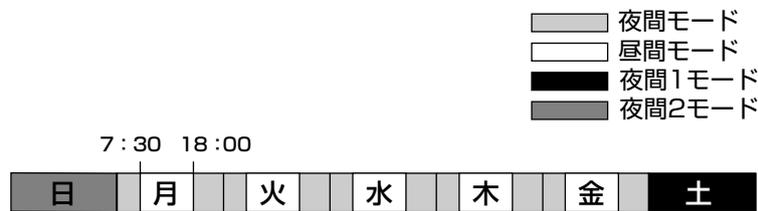
■手順9のあとに続けて、平日4～5、土曜1～5、日祝日1～5の運用モード切替時刻と運用モードが設定できます。

■運用モードの自動切替は、手動による運用モード切替（夜間切替：76ページ）と併用になりますのでご注意ください。

《運用モード番号》

運用モード	運用モード番号	表示	
		漢字表示付電話機	数字表示付電話機
昼間1	1	—	—
昼間2	2	昼間 2	2
夜間	3	夜間	夜間
夜間1	4	夜間 1	夜間 1
夜間2	5	夜間 2	夜間 2
運用モード切替なし	0	—	—

《設定例》



主装置メニューに移動（125 ページ）したあと

- 1 (0) (7) [保留] → 2 (0) [保留] → 3 ^{機能} → 4 (0) (0) (0) (0) [保留] → 5 (3) [保留] →
- 6 (0) (7) (3) (0) [保留] → 7 (1) [保留] → 8 (1) (8) (0) (0) [保留] →
- 9 (3) [保留] → 10 [保留] を 4 回押す（「トヨ1がジカ」と表示されるまで） →
- 11 (0) (0) (0) (0) [保留] → 12 (4) [保留] →
- 13 [保留] を 8 回押す（「キウツツ1がジカ」と表示されるまで） → 14 (0) (0) (0) (0) [保留] →
- 15 (5) [保留] → 16

通常とは違う時刻で夜間切替する日を設定

祝祭日や臨時の休日、長期休暇など、通常の時刻で夜間切替されると困る日や期間については、あらかじめ違う時刻で設定したり、夜間切替されないように設定できます。

設定できるのは、20日分です。

日付は4ケタで、時刻は24時間制、4ケタで入力します。

1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと

0 7 保留 押す

610-07
シュウチ

2 1 保留 押す

61007-1
ウンヨウモード

3 機能 押す

1-
トクテイビ

4 特定日の日付、□□月□□日(4ケタ)、

保留 押す

1000 :0101
パターン1トクテイビ

5 モード1に切り替える時刻
(□□時□□分、24時間制)、

保留 押す

1001 :0700
パターン1カインジカン1

6 モード1の運用モード番号(133ページ)、

保留 押す

1002 :3
パターン1モード1

7 モード2に切り替える時刻
(□□時□□分、24時間制)、

保留 押す

1003 :1800
パターン1カインジカン2

8 モード2の運用モード番号(133ページ)、

保留 押す

1004 :4
パターン1モード2

9 モニター 終わるときに押す

■ひとつの特定日に切り替える時刻と運用モードを最大5まで登録することができます。

→手順5～8を繰り返します。

《設定例》

11月23日に、07時00分から夜間1、18時00分から夜間2に切り替えるとき

1 0 7 保留 → 2 1 保留 → 3 機能 → 4 1 1 2 3 保留 →

5 0 7 0 0 保留 → 6 4 保留 → 7 1 8 0 0 保留 → 8 5 保留 →

9 モニター

• 同じ操作でプラス20日分を設定する場合は、手順2で4 保留 を押します。

自動夜間切替しない期間を設定する

設定できるのは最大6パターンまでです。日付は4ケタで入力します。

- 1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと
⑦ 保留 押す
610-07
シュウチ
- 2 ② 保留 押す
61007-2
ウンヨウモード
- 3 機能
○ 押す
2-
カイジ ョビ トウロク
- 4 自動夜間切替しない期間を開始する日付
□□月□□日（休暇の最初の日）、
保留 押す
200 :0806
パターン1カイジ
- 5 自動夜間切替しない期間を終了する日付
□□月□□日（休暇の最後の日）、
保留 押す
201 :0815
パターン1シュウリヨウビ
- 6 モニター 終わるときに押す

■手順5のあとに続けて、次の期間の設定ができます。

曜日ごとの日種別を設定する

曜日ごとに平日扱いにするか、土曜扱いにするか、休日扱いにするかを設定します。平日を休日扱いの設定にしたり、日曜日を平日扱いにしたりできます。

- 1 主装置メニューに移動（125ページ）したあと
⑦ 保留 押す
610-07
シュウチ
- 2 ③ 保留 押す
61007-3
ウンヨウモード
- 3 機能
○ 押す
3-
ヨウビ パターン
- 4 曜日ごとの日種別
（平日：1/土曜：2/休日：3）、
保留 押す
300 :3
ダイニチヨウビ
- 5 モニター 終わるときに押す

■手順4のあとに続けて、1か月分（第1週から第5週）を設定します。

2.4Gカラーデジタルコードレス電話機のFFボタン機能を利用したときに表示されるFFキーの名称を登録することができます。

FF キーの名称を登録する

1 主装置メニューに移動 (125ページ) したあと

1 7 保留 押す

610-17
ジュウチ

2 0 保留 押す

61017-0
コードレスFFキーメシヨウ

3 内線番号、
保留 押す

300
ナイセンバンゴウ

4 FFキーの番号 (01 ~ 12)、
保留 押す

01
FFキーハンゴウ300

- 間違えたときは 保留 を押す前に 終了
フック を押す

5 名称を入力する

アイウエオFF01

- 137ページの「FFボタンで入力する方法」の操作手順で文字を入力する
- 名称の初期値はない
- 名称はカタカナ／英数字／記号で半角16文字まで登録できる

6 保留 押す

- 名称が登録され、次のFFキーの番号が表示される
- 続けて登録する場合は、手順 **5** ~ **6** を行う

7 モニター 終わるときに押す

■名称の表示方式がボタン表示の場合

- ➔ 入力した文字の先頭から6文字が表示されます。
- ➔ 表示方式については2.4Gカラーデジタルコードレスセットに添付されている取扱説明書をお読みください。

■電話帳編集ソフトウェアを利用すると、FFキーの名称を漢字／ひらがなで登録することもできます。

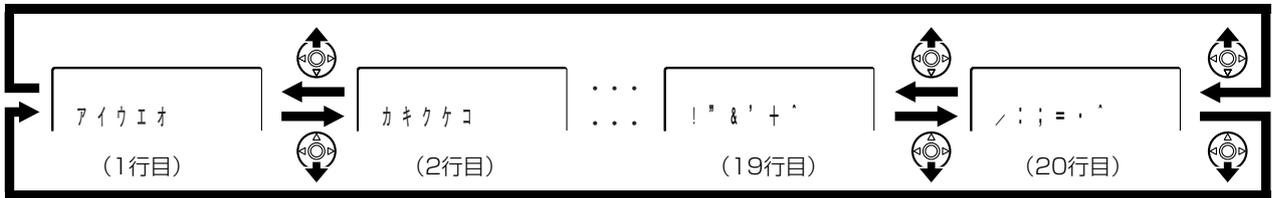
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

FFボタンで入力する方法

FFボタンで文字を入力するには、コマンドナビキーで入力したい文字の行を選択し、FFボタンで何文字目かを選択する操作を繰り返します。

文字の行の選択のしかた

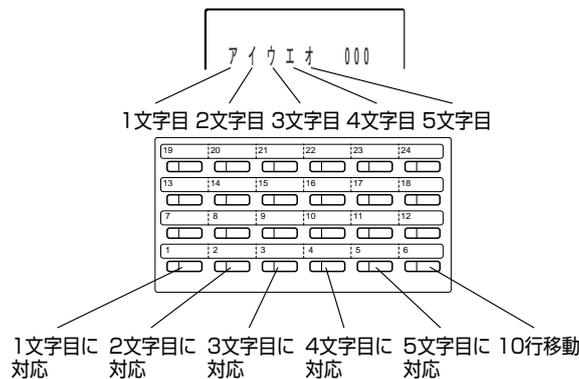
コマンドナビキーで行を選択します。



行	文字	1文字目	2文字目	3文字目	4文字目	5文字目
1行目		ア	イ	ウ	エ	オ
2行目		カ	キ	ク	ケ	コ
3行目		サ	シ	ス	セ	ソ
4行目		タ	チ	ツ	テ	ト
5行目		ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
6行目		ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
7行目		マ	ミ	ム	メ	モ
8行目		ヤ	ユ	ヨ	ワ	ン
9行目		ラ	リ	ル	レ	ロ
10行目		。	。	ー	・	。
11行目		ア	イ	ウ	エ	オ
12行目		ツ	ャ	ユ	ヨ	ヲ
13行目		A	B	C	D	E
14行目		F	G	H	I	J
15行目		K	L	M	N	O
16行目		P	Q	R	S	T
17行目		U	V	W	X	Y
18行目		Z	()	*	#
19行目		!	"	&	'	+
20行目		/	:	;	=	.

- FFボタン6 を押すと、10行移動します。
例えば、2行目選択時に FFボタン6 を押すと、12行目に移動します。18行目選択時に FFボタン6 を押すと、8行目に移動します。

入力したい文字の行を選択したあとに、その行の何文字目かを FF ボタンで選択します。



● 「アイダ3」と入力したいとき

- 1 FFボタン1 → 2 FFボタン2 → 3 を3回押す → 4 FFボタン1 → 5 を6回押す → 6 FFボタン1 →

7 ③

迷惑電話の登録をすることで、登録された相手から電話を受けたときに着信を受け付けない（着信拒否）ようにしたり、特定の内線へ転送することができます。 **取付け時設定**
着信拒否は ISDN 局線 / IP 局線でナンバー・ディスプレイが有効な場合、利用することができます。
最大 250 パターン登録することができます。

迷惑電話を新規に登録する

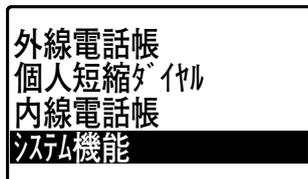
指定

電話を受けたくない相手の電話番号と名前、電話を受けたときの動作（着信拒否、特定の内線へ転送）を登録することができます。

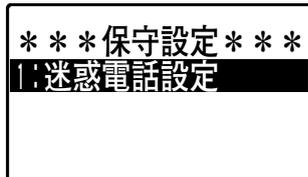
1 待ち受け中に  または  押す

- メニュー画面が表示される

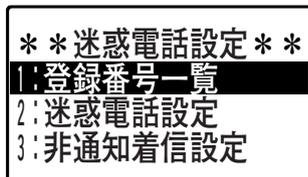
2  で「システム機能」を選択する



3  押す

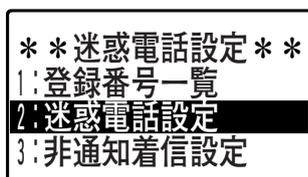


4  押す

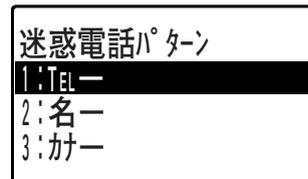


- 迷惑電話設定画面が表示される

5  で「2: 迷惑電話設定」を選択する

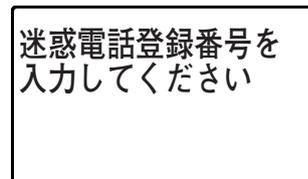


6  押す



- 迷惑電話パターン画面が表示される

7  押す

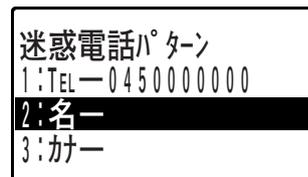


- 電話番号入力画面が表示される

8 電話番号を入力する

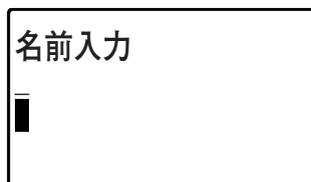
- 20 ケタまで登録できる

9  押す



- 電話番号が登録され、迷惑電話パターン画面に戻る

10 決定 押す



- 名前入力画面が表示される

11 名前を入力する

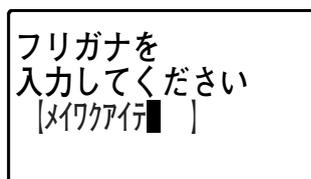
- 漢字／ひらがな／カタカナ／英数字／記号で全角10文字（半角20文字）まで登録できる
- 120ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

12 決定 押す



- 名前が登録され、迷惑電話パターン画面に戻る
- フリガナも自動的に入力される
- フリガナを修正する場合、手順13に移動する
フリガナを修正しない場合、 で「4:着扱い」（画面表示にあわせる）を選択し、手順16に移動する

13 決定 押す

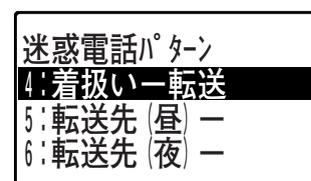


- フリガナ入力画面が表示される
- 手順11で入力した名前に合わせて自動的に入力されている

14 フリガナを入力する

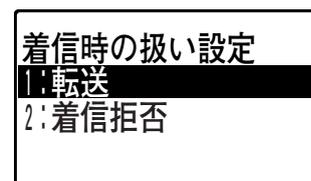
-  を押すと文字を1文字消去できる
-  を1秒以上押すとすべての文字を消去できる
- カタカナ／英数字／記号で半角10文字まで登録できる
- 120ページの「名前入力のしかた」の操作手順で名前を入力する

15 決定 押す



- フリガナが登録され、迷惑電話パターン画面に戻る

16 決定 押す



- 着信時の扱い画面が表示される

17 着信時の扱いを選択する

- 特定の内線に転送したい場合、「1:転送」を選択する
- 着信を受け付けたくない場合、「2:着信拒否」を選択する

18 決定 押す

- 着信時の扱いが登録され、迷惑電話パターン画面に戻る
- 手順17で、「2:着信拒否」を選択した場合、手順23に移動する。「5:転送先(昼)」と「6:転送先(夜)」には着信拒否を示す「****」が自動的に入力される

19 押す

転送先 (昼) を入力
してください

- 転送先 (昼) 画面が表示される

20 内線番号を入力する

- 昼間モード (76 ページ) のとき、手順 8 で入力した電話番号から電話を受けた場合に転送したい内線の内線番号を入力する

21 押す

迷惑電話パターン
4: 着扱い-転送
5: 転送先 (昼) -400
6: 転送先 (夜) -

- 内線番号が登録され、迷惑電話パターン画面に戻る

22 迷惑電話パターン画面で「6:転送先(夜)」を選択されていることを確認し、手順 19~手順 21 を繰り返し、転送先 (夜) を登録する

23 押す

迷惑電話設定します
迷惑電話パターン番号を
指定してください
001

- 迷惑電話パターン番号入力画面が表示される
- 空いている迷惑電話パターン番号が自動的に入力されている
- 迷惑電話パターン番号を変更する場合、3ケタ ( ~ ) で入力する
-  を押すと、1 文字削除できる

24 押す

登録しました

- 登録が完了する
- 指定した迷惑電話パターン番号にすでに登録されている場合、確認画面が表示されるので、「1:はい」を選択して  を押す
- 続けて登録するときは、 または  を押したあと手順 6 ~手順 24 を繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)

■登録した電話番号から、電話を受けたときの着信音を変更することができます。

 取付け時設定

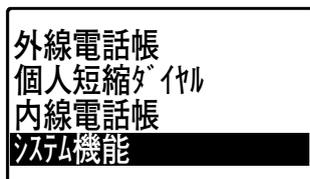
登録済みの迷惑電話パターンを修正する 指定

登録されている迷惑電話パターンを編集することができます。

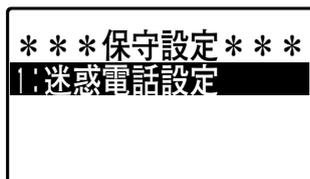
1 待ち受け中に  または  押す

- メニュー画面が表示される

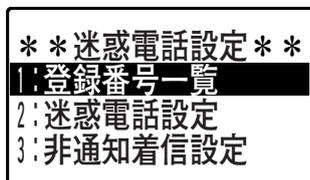
2  で「システム機能」を選択する



3  押す



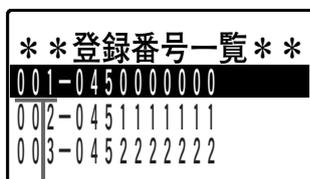
4  押す



- 迷惑電話設定画面が表示される

5 「1:登録番号一覧」を選択する

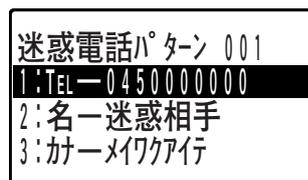
6  押す



迷惑電話パターン番号

7  で編集したい迷惑電話番号パターンを選択する

8  押す

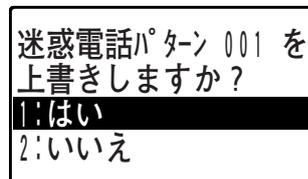


- 迷惑電話パターン画面が表示される

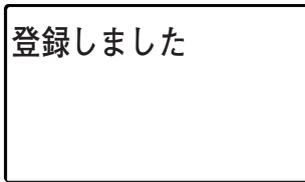
9 項目を編集する

-  で編集したい項目を選択後、各操作を行う
 - 電話番号を (1:TEL) 編集 (138 ページの手順 7 ~ 手順 9 を参照)
 - 名前 (2:名) を編集 (139 ページの手順 10 ~ 手順 12 を参照)
 - フリガナ (3:か) を編集 (139 ページの手順 13 ~ 手順 15 を参照)
 - 着信時の扱い (4:着扱い) を編集 (139 ページの手順 16 ~ 手順 18 を参照)
 - 転送先 (5:転送先(昼)、6:転送先(夜)) を編集 (140 ページの手順 19 ~ 手順 22 を参照)

10  押す



- 確認画面が表示される

11  押す

- 修正が完了する
- 「2:いいえ」を選択し  を押すと、登録されずに迷惑電話パターン番号入力画面が表示され、迷惑電話パターン番号を指定することができる（140ページの手順 **23**）
- 続けて修正するときは、 または  を押したあと手順 **7** ～手順 **11** を繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。（18ページ）
ただし、手順7で迷惑電話パターン番号をダイヤルボタンで選択することはできません。

履歴から迷惑電話パターンを登録する

指定

発信履歴／着信通話履歴／着信不応答履歴から迷惑電話パターンを登録することができます。

1 待ち受け中に  または  押す

外線電話帳
個人短縮ダイヤル
内線電話帳
システム機能

2  で登録したい履歴の種類を選択する

電話機別機能
発信履歴
着信通話履歴
着信不応答履歴

3  押す

01: 8月 6日 10:30
青木
02: 8月 6日 8:45
0450000000

●履歴が表示される

4  で登録したい相手を選択する

5  押す

1:個人短縮ダイヤル登録
2:迷惑電話拒否登録
3:履歴1件削除
4:履歴全件削除

6  で「2:迷惑電話拒否登録」を選択する

1:個人短縮ダイヤル登録
2:迷惑電話拒否登録
3:履歴1件削除
4:履歴全件削除

7  押す

迷惑電話登録番号を登録しますか?
1:はい
2:いいえ

●確認画面が表示される

8  押す

迷惑電話パターン002に
TEL-0452222222
を迷惑電話拒否登録
しました

- 登録が完了する
- 「2:いいえ」を選択し  を押すと、登録されずに手順 6 の画面に戻る
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

指定電話機

で指定電話機

- 画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、を押さずに項目を決定することができます。(18ページ)
- 登録した電話番号の着信時の扱いは着信拒否になります。
- 登録した電話番号の名前は「迷惑電話」、フリガナは「メイワゲツ」にそれぞれなります。
- 履歴の電話番号が21桁以上の場合、先頭の20桁が登録されます。
- 手順8のあとにを押すと、迷惑電話パターン画面(141ページの手順8)に移動し、登録した迷惑電話パターンの編集をすることができます。
各項目の編集については以下を参照してください。
 - 電話番号(1:TEL)を編集……………(138ページの手順7～手順9を参照)
 - 名前(2:名)を編集……………(139ページの手順10～手順12を参照)
 - フリガナ(3:か)を編集……………(139ページの手順13～手順15を参照)
 - 着信時の扱い(4:着扱い)を編集……………(139ページの手順16～手順18を参照)
 - 転送先(5:転送先(昼)、6:転送先(夜))を編集……………(140ページの手順19～手順22を参照)
- 登録できる迷惑電話パターンは最大250件です。手順8で「登録件数オーバーです」と表示された場合、登録済みの迷惑電話パターンを削除(147ページ)してから登録操作を行ってください。

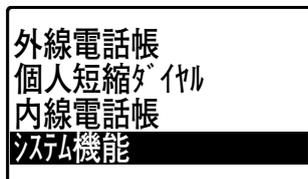
非通知着信を受けたときの着信先を登録する **指定**

相手の電話番号を非通知で受けたときに、非通知理由に応じて着信を受けないようにしたり（着信拒否）、特定の内線に転送することができます。
非通知理由ごとに着信拒否、または転送先が登録されている迷惑電話パターン番号を登録します。迷惑電話パターン番号に着信時の扱い設定をする必要があります。（138ページ～140ページ）

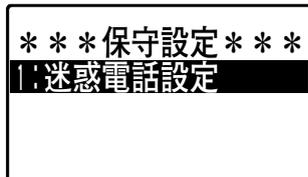
1 待ち受け中に  または  押す

- メニュー画面が表示される

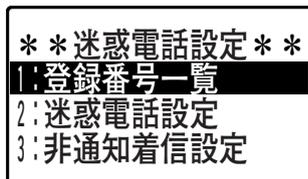
2  で「システム機能」を選択する



3  押す

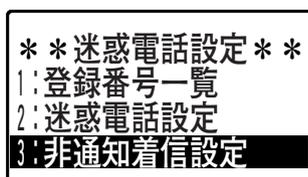


4  押す

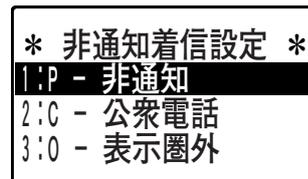


- 迷惑電話設定画面が表示される

5  で「3:非通知着信設定」を選択する



6  押す

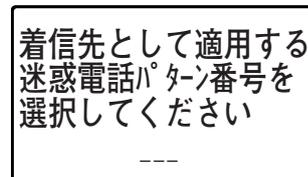


- 非通知着信設定画面が表示される

7  で着信時の扱いを登録したい非通知理由を選択する

- 「5: -」は予備のため、通常、設定の必要はない

8  押す

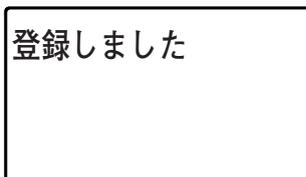


- 非通知着信設定画面が表示される

9 迷惑電話パターン番号
((0)(0)(1)~(2)(5)(0))を入力する

- 手順7で選択した非通知理由で、電話を受けたときに着信拒否、または転送先が登録された迷惑電話パターン番号を入力する
-  を押すと、1文字削除できる
- 登録を解除したい場合、迷惑電話パターン番号を削除する

10 押す



- 登録が完了する
- 続けて登録するときは、 または  を押したあと手順 **6**～手順 **10** を繰り返す
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

■画面上で項目名称の前に番号が付いている場合、その番号のダイヤルボタンを押すと、 を押さずに項目を決定することができます。(18 ページ)

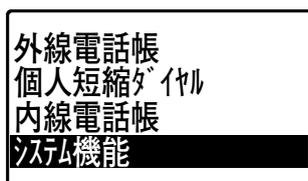
迷惑電話パターンを削除する

指定

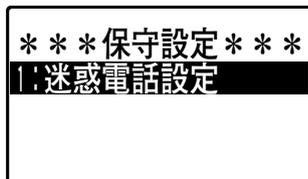
登録されている迷惑電話パターンを削除することができます。

- 1 待ち受け中に  または  押す
- メニュー画面が表示される

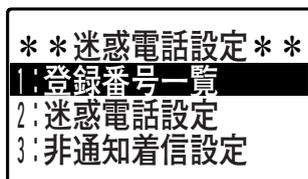
- 2  で「システム機能」を選択する



- 3  押す

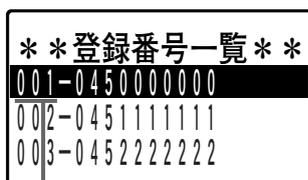


- 4  押す



- 迷惑電話設定画面が表示される

- 5  押す

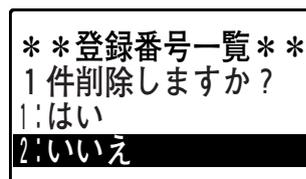


迷惑電話パターン番号

- 登録番号一覧が表示される

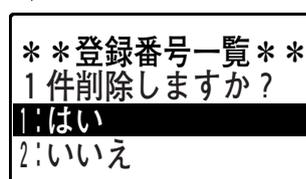
- 6  で削除したい迷惑電話パターンを選択する

- 7  押す

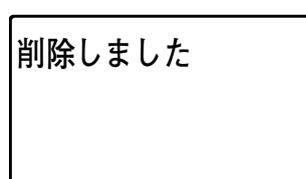


- 確認画面が表示される

- 8  で「1: はい」を選択する



- 9  押す



- 削除が完了する
- 続けて削除するときは、 または  を押したあと手順 6～手順 9 を繰り返す
- 「2: いいえ」を選択し、 を押すと削除されずに手順 6 に戻る
- 待ち受け画面に戻るときは、 を押す

お使いになる前に

本システムに、2.4G カラーデジタルコードレス電話機（以降、カラーコードレス電話機）を接続することができます。

カラーコードレス電話機では漢字表示付電話機と同様の操作で電話をかけたり、受けたりすることができます。コマンドナビキーを操作して漢字表示付電話機と同様に、電話帳の検索や履歴から電話をかけたり、登録されている機能を利用することもできます。また、カラーテレビドアホンと連携し、ドアホン子機としてドアホン／ドアホン親機／他のドアホン子機からの呼び出しに応答することもできます。

本章ではカラーコードレス電話機から電話をかける、電話を受ける、保留・転送する、FFキーを利用するなどの操作について説明しています。それ以外の操作については漢字表示付電話機の操作をお読みください。ただし、漢字表示付電話機とカラーコードレス電話機ではボタンの形状・表記が一部、異なります。漢字表示付電話機の各ボタンに対応するカラーコードレス電話機のボタンについては以下をご覧ください。

本章では、2.4G カラーデジタルコードレスセット（VB-W400B）を接続した場合の操作を説明しています。ご使用の製品品番によっては利用できない機能がある場合があります。詳しくは2.4Gカラーデジタルコードレスセットに添付されている取扱説明書をお読みください。

漢字表示付電話機	カラーコードレス電話機
	
 (決定)	
 保留	 保留
 設定/転送	 転送 <small>文字</small>
 音量	
①～⑨、⑩	①～⑨、⑩
 *	 *
 #	 #
 モニター	 開始 ※1、  終了
機能  、  短縮	機能  ※2
戻る  、  再ダイヤル	戻る ※3 
 フック	 終了 ※4

- ※ 1：通話中および電話をかけているときに押した場合、漢字表示付電話機の  フック に対応します。
- ※ 2：画面の下部に **短縮** が表示されているときに押した場合、漢字表示付電話機の  短縮 に対応します。
- ※ 3：画面の下部に **再ダ** が表示されているときに押した場合、漢字表示付電話機の  再ダイヤル に対応します。
- ※ 4：内線電話機として利用時、登録操作中などに押した場合、待ち受け画面に戻ります。

カラーコードレス電話機をご利用についてのお願い

- カラーコードレス電話機をご利用になる場合、本章をお読みになる前に、必ず 2.4G カラーデジタルコードレスセットの取扱説明書をお読みいただき、カラーコードレス電話機、充電台、ACアダプター、電池パックなどの安全上のご注意や充電のしかたなどを理解してからお使いください。
- 本章では、カラーコードレス電話機を本システムに接続した内線電話機として使用する場合の操作について説明しています。カラーコードレス電話機をカラーテレビドアホンの子機として使用する場合の操作方法やカラーコードレス電話機の機能メニューの設定については 2.4G カラーデジタルコードレスセットの取扱説明書をお読みください。

利用できない機能について

カラーコードレス電話機では以下の機能を利用することはできません。

利用できない機能	参照ページ
ヘッドセットを使う	179
BGMを聞く	180
指定電話機として利用する	125~147

電話をかける

1 ボイスチェンジ 発信 押す



- 開始ボタンのランプが点灯する
- 「ツー」という音が聞こえる

2 電話番号を押す



- ISDN回線／IP回線でかけるときは、電話番号のあとに **#** を押す

- 画面に電話番号が表示される
- 相手とつながったら通話ができる
- 通話中は通話時間が表示される

3 通話が終わったら **終了** 押す

- 待ち受け画面に戻る

■ **ボイスチェンジ 発信** を押すと

→ お買い上げ時の設定では、その電話機のグループ (0 発信グループ) の 0 発信に相当する外線を捕捉しますが、**0**、**7** などのダイヤルを押したときと同じ外線を捕捉するように設定することもできます。**取付け時設定**

■ 通話が終わったあとに続けて電話をかけるには、**終了** を押さずに **開始** を押したあと、手順 1 から操作してください。

■ IP 回線でかけたとき

→ 回線がご利用になれない場合に、自動的に電話 (アナログ) 回線や ISDN 回線から発信してご利用になることができます。**取付け時設定**

■ 間違い電話を防ぐため、電話番号は正確にダイヤルしてください。

■ 通話中にカラーコードレス電話機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたいときは保留を行ってください。(156 ページ)

電話番号を確認してから電話をかける (プリセットダイヤル)

ダイヤルしたい電話番号を確認してから電話をかけることができます。

1 電話番号を押す



- 画面に電話番号が表示される
- 番号の最後から1ケタずつ消去するとき  を押す
- 番号をすべて消去してダイヤルし直すときは  を押す

2 ボイスエッジ 発信 押す



- 開始ボタンのランプが点灯する
- 相手とつながったら通話ができる
- 通話中は通話時間が表示される

3 通話が終わったら 押す

- 待ち受け画面に戻る

- 漢字表示付電話機と同様にコマンドナビキーを操作して、外線電話帳 (30 ページ) や、発信履歴 (40 ページ)、着信通話履歴 (42 ページ)、着信不応答履歴 (44 ページ) に記憶されている電話番号を呼び出して電話番号を確認してから電話をかけることもできます。
- プリセットダイヤルの電話番号ケタ数は 24 ケタまでです。
- 電話番号入力後、約 15 秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。

電話をかける

1  押す



- 開始ボタンのランプが点灯する

2 内線番号を押す



(内線番号 301 番を
ダイヤルした場合)

- 相手とつながったら通話ができる
- 通話中、相手の内線番号（内線名）が表示される

3 通話が終わったら  押す

- 待ち受け画面に戻る

- 内線番号を押したあとに  を押して電話をかけることもできます。(153 ページ)
- 音声で呼び出す（内線音声呼出）には、内線番号の後に ① を押して呼びかけます。
- 通話中にカラーコードレス電話機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたいときは保留を行ってください。(157 ページ)

電話番号を確認してから電話をかける (プリセットダイヤル)

ダイヤルした電話番号を確認してから電話をかけることができます。

1 内線番号を押す



(内線番号 301 を
ダイヤルした例)

- 画面に内線番号が表示される
- 番号の最後から 1 ケタずつ消去するとき  を押す
- 番号をすべて消去してダイヤルし直すときは  を押す

2 押す



- 開始ボタンのランプが点灯する
- 相手とつながったら通話ができる
- 通話中は相手の内線番号 (内線名) が表示される

3 通話が終わったら 押す

- 待ち受け画面に戻る

- 漢字表示付電話機と同様にコマンドナビキーを操作して、内線電話帳を使って電話をかけることができます。(56 ページ)
-  を押したあとに内線番号を押して電話をかけることもできます。(152 ページ)
- 音声で呼び出す (内線音声呼出) には、内線番号の後に ① を押して呼びかけます。
- 電話番号入力後、約 15 秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。

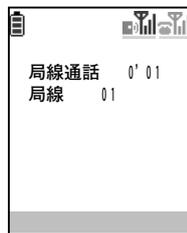
電話を受ける

1 着信音が鳴る



- 開始ボタンのランプが点滅する

2 押す



- 開始ボタンのランプが点灯する
- 相手とつながったら通話ができる
- 通話中は通話時間が表示される

3 通話が終わったら 押す

- 待ち受け画面に戻る

■着信中に充電台からカラーコードレス電話機を取り上げるだけで電話を受けることもできません（オフフック応答）。オフフック応答で電話を受けるにはカラーコードレス電話機の設定が必要です。2.4G カラーデジタルコードレスセットの取扱説明書をご覧ください。

■キャッチホンサービスを受ける場合、 を押してください。

■カラーコードレス電話機が呼び出されているときに、圏外など、電波が届かない状態になった場合、その時点で着信音が停止します。ただし、発信者側は電話の呼び出しが継続します。

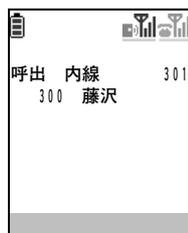
その場合、すぐに接続装置、または中継アンテナの近くに移動してください。再度、着信音が鳴り、電話を受けることができます。

■通話中にカラーコードレス電話機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたいときは保留を行ってください。（156 ページ）

電話を受ける

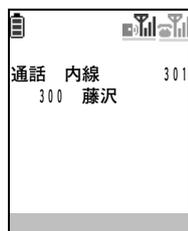
1 着信音が鳴る

例：内線番号 301 番から着信した場合



- 開始ボタンのランプが点滅する

2 開始 押す



- 開始ボタンのランプが点灯する
- 相手とつながったら通話ができる

3 通話が終わったら 終了 押す

- 待ち受け画面に戻る

■着信中に充電台からカラーコードレス電話機を取り上げるだけで電話を受けることもできます（オフフック応答）。オフフック応答で電話を受けるにはカラーコードレス電話機の設定が必要です。2.4G カラーデジタルコードレスセットの取扱説明書をご覧ください。

■内線から電話がかかってきた場合には、電話をかけた人の内線番号が表示されます。

■内線電話帳に名前が登録されている場合、名前が表示されます。

例：内線番号 301 番の鈴木さんからかかってきた場合



■カラーコードレス電話機が呼び出されているときに、圏外など、電波が届かない状態になった場合、その時点で着信音が停止します。ただし、発信者側は電話の呼び出しが継続します。

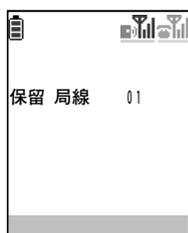
その場合、すぐに接続装置、または中継アンテナの近くに移動してください。再度、着信音が鳴り、電話を受けることができます。

■通話中にカラーコードレス電話機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたいときは保留を行ってください。（157ページ）

電話を保留・転送する

外線通話を保留する（通話中、待ってもらう）

1 通話中に **保留** 押す



- 通話が保留され、相手には保留音が流れる

外線保留に应答する

上記の操作または他の電話機で保留した外線通話に应答することができます。

例：FF キー 2（**②**）に保留された通話に应答する場合

1 保留した外線通話があるときに

FF 押す

- 他の電話機で保留した外線に対応する FF キーは赤色、自分で保留した外線に対応する FF キーは緑色にそれぞれ点滅する

2 点滅している FF キーに対応する

ダイヤルボタンを押す

- 相手と通話ができる
- 開始ボタンのランプが点灯する
- FF キー 10～FF キー 12 を選択する場合は以下のダイヤルボタンを押す

選択したい FFキー	FFキー-10	FFキー-11	FFキー-12
FFキーの 画面表示	⑩	⑪	⑫
操作する ダイヤルボタン	✳	0	#

■ 手順 2 の実行後、**FF** を押して FF キーを表示すると、該当の外線に対応する FF キーは緑色の点灯（2 秒に 1 回一瞬点滅）になります。

■ 保留中の FF キーの点滅は着信時に比べて遅い点滅になります。点滅パターンの詳細は「主要な音とランプ表示」（201 ページ）をご覧ください。

■ 自分で保留した場合、**保留** を押して通話に戻ることもできます。 **取付け時設定**

内線通話を保留する（通話中、待ってもらう）

1 通話中に **保留** を押す



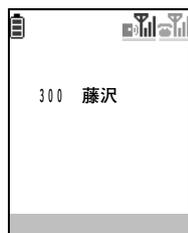
- 通話が保留される

2 通話に戻るとき **保留** を押す

- 通話に戻る

外線／内線通話を他の内線に転送する

1 通話中に **保留** を押す



- 通話が保留され、相手には保留音が流れる

2 転送先の内線番号を押す

例：内線番号 301 を押した場合



3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える



- 転送先が応答しないとき／転送をやめるときは、**開始** を押したあとに **保留** を押すと保留中の外線／内線通話に戻る

4 **転送** を押す

- 保留した通話が転送される
- **終了** を押すと待ち受け画面に戻る

■手順 3 で **保留** を押して、外線通話に戻る場合、設定が必要です。 **取付け時設定**

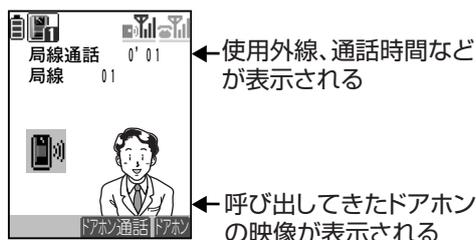
通話中にドアホンからの呼び出しがあったときは

外線／内線通話中にドアホンからの呼び出しがあったとき

外線／内線との通話中にドアホンからの呼び出しがあると、呼出音が鳴り、呼び出してきた機器の情報が画面に表示されます。(カラーテレビドアホン接続時)

例：外線通話中にドアホン1から呼び出しがあった場合

1 外線／内線通話中に呼出音が鳴る



- ソフトキー表示の **ドアホン通話** が点滅する

2 ドアホン周辺をモニターする、またはドアホンと通話する

ドアホン周辺をモニターする場合

戻る (ドアホン) 押す



- ドアホンの映像に切り替わり、周囲の音が聞こえる(こちらの声は相手側には聞こえない)。
- 外線／内線通話は保留される
- ● (ドアホン通話) を押すとドアホンと通話できる
- 機能 (保存) を押すとドアホンからの映像が保存される

ドアホンと通話する場合

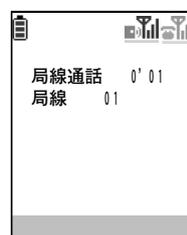
● (ドアホン) 押す



- ドアホンと通話ができる
- 相手の声はスピーカーから聞こえる
- 外線／内線通話は保留される
- 機能 (保存) を押すとドアホンからの映像が保存される

3 ドアホンとの通話またはモニターが終わったら

終了 押す



- 外線／内線通話の保留が解除され、外線／内線通話に戻る

4 外線／内線通話が終わったら

終了 押す

- 待ち受け画面に戻る

- 手順 2 でドアホンからの呼び出しに応答する前に、 を押して、外線／内線との通話を保留することができます。その場合、手順 3 を実行後は通話が保留された状態に戻ります。
- ドアホン通話中に  や  で受話音量を調節できます。 を押すと音量が大きくなり、 を押すと音量が小さくなります。
- ドアホンやカメラと通話中に画像の明るさを変更したりすることができます。
詳細は2.4Gカラーデジタルコードレスセットの取扱説明書「ドアホンからの呼び出しに
応答する」の操作のヒント、または「カメラからの呼び出しに
応答する」の操作のヒント
をご覧ください。
- ドアホンやカメラ周辺をモニター中に画像の明るさを変更したりすることができます。
詳細は2.4Gカラーデジタルコードレスセットの取扱説明書「外の様子を確認する（ドア
ホンモニター）」の操作のヒント、または「カメラ周辺の様子を確認する（カメラモニ
ター）」の操作のヒントをご覧ください。
- カメラからの呼び出しに
応答することもできます。
- 呼び出してきた機器が表示されるマークによって分かります。

ドアホン 1～2 :  ～ 

カメラ 1～4 :  ～ 

FF キーを利用する

FF キーに機能を設定する

外線ボタンに設定していないFFキーは、機能を設定して機能ボタンとして使うことができます。機能をFFキーに設定することにより、複数のダイヤルボタンを操作することなく、ワンタッチで機能を使うことができます。

FFキーに設定した機能を利用するための操作は、2.4G カラーデジタルコードレスセットに添付されている取扱説明書をお読みください。

1  押す

2  押す
文字

3  押す

4 機能を設定したいFFキーに対応するダイヤルボタンを押す

- FFキー 10～FFキー 12 を選択する場合は以下のダイヤルボタンを押す

選択したい FFキー	FFキー-10	FFキー-11	FFキー-12
FFキーの 画面表示			
操作する ダイヤルボタン			

5  押す

■間違えたとき

→ 速い話中音（ピッピッピッ）が聞こえます。 を押し、手順 1 からやり直します。

■設定を解除するときは

→ 手順 5、6 を抜いて操作します。

設定番号を確認する

1  → 2  → 3  → 4 設定番号を確認したいFFキーに対応する →
ダイヤルボタンを押す

5 確認したら 

■FFキーに機能を設定しても、名称は設定されません。名称を設定するためには、名称を編集する必要があります（136 ページ）。

6 機能コード（設定番号）を押す

- 設定番号については「電話機別機能／FFボタンに設定できる機能」（92～94 ページ）を参照

7  押す

- 確認音（ピーピーピー）が聞こえたら、設定完了

8  押す

本システムに、デザインテレホン、留守番電話機、黒電話機などを接続することができます。使用する電話回線の種類によって操作が違います。

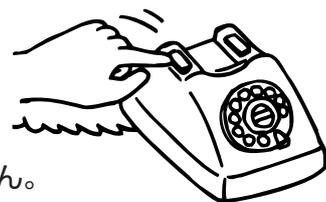
- デザインテレホン、留守番電話機等の種類により、外線からかかってきた呼出音と内線・ドアホンからの呼出音の区別ができないことがあります。

ダイヤル／プッシュ回線で使うときの操作

機能	操作	参照ページ
外	外へ電話をかける  → 0 → 電話番号	28
	外からの電話を受ける 呼出音 → 	46
	外からの電話を保留する 通話中 → フッキング	47
	外からの電話を保留する (フローティング保留) 通話中 → フッキング → 保留特番 → マルチライン番号 → 	81
	フローティング保留に 応答する (フローティング保留 応答)  → 8 9 5 → マルチライン番号	79
	外からの電話を転送する 通話中 → フッキング → 内線番号 → (連絡) → 	48
線	短縮ダイヤルでかける  → 8 4 → 短縮番号	35、37
	特定の外線を使ってかける  → 8 1 0 → 外線番号 → 電話番号	29
	保留した特定の外線に 応答する  → 8 9 4 → 外線番号	47
	外線コールバックする  → 0 → (話中音) → 2 →  → 呼出音 →  → 電話をかける	50
個人短縮ダイヤルに登録する  → 8 5 1 → 個人短縮番号 → 電話番号 → フッキング	106	

《フッキングとは》

- 受話器の下にあるフックスイッチを約0.5秒押し、離す操作です。
フックボタンのある機種は、フックボタンを約0.5秒押し、離しても構いません。
フッキングの時間は、取付け時に設定します。 **取付け時設定**



《フローティング着信、フローティング保留応答について》

- フローティング保留、フローティング保留応答を行うには、取付け時に設定が必要です。 **取付け時設定**
- フローティング保留すると、多機能電話機に設定した同一のマルチライン番号のマルチラインボタンが保留表示（ランプ赤点滅）となり、多機能電話機からも保留応答することができます。（79ページ）

機能		操作	参照 ページ	
内 線	内線に かける	内線信号音呼出  → 内線番号	54	
		内線音声呼出  → 内線番号 → 1	54	
	内線からの呼出を受ける	呼出音 → 	58	
	内線を転送する	通話中 → フッキング → 内線番号 → (連絡) → 	60	
	内線を保留する (フローティング保留)	通話中 → フッキング → 保留特番 → フローティングボタン番号 → 	81	
	フローティング保留に 応答する (フローティング保留 応答)	 → 8 9 5 → フローティングボタン番号	79	
	他の電話機の 内線呼出を 受ける (内線代理応答)	内線指定 代理応答	 → 8 0 0 → 内線番号	61
		グループ内 全着呼	 → 8 9 1	61
		グループ内 外着呼	 → 8 9 2	61
		全グループ 全着呼	 → 全グループ代理応答特番	61
グループ指定 代理応答		 → 8 9 3 → ピックアップグループ番号	61	
相手 が 話し 中 の と き	内線コールバック	2 →  → 呼出音 → 	64	
	内線キャンブオン	3 → 受話器を持ったまま待つ	65	
	リセットコール	他の内線番号の下1ケタをダイヤル	65	
メッセージ ウェイト	内線呼出中 → 4 → 	66		
一斉・グループ 別呼出 (構内放 送)	呼び出す	 → 8 2 → グループ番号(0~9)	62	
	応答する	 → 8 9 0	62	

ダイヤル式回線のご注意

■ダイヤル式電話機で、フッキングする代わりに

→ かかってきた外線通話を保留・転送するときは、フッキングの代わりに **1** をダイヤルしてもできます。

取付け時設定

■フッキングで保留し、受話器を戻すと

→ 約 10 秒 (標準) 後に、保留再呼出があります。 取付け時設定

■構内交換機、ビル電話の端末としてお使いのときは

→ 構内交換機・ビル電話での保留・転送ができません。

機能		操作		参照ページ
共通・オプション	不在設定する	設定	→ 8 0 1 →	70
		解除	→ 8 0 1 →	70
	不在転送する	設定	→ 8 0 3 → 転送先の内線番号 →	71
		解除	→ 8 0 4 →	71
	話中転送する	設定	→ 8 0 7 → 転送先の内線番号 →	72
		解除	→ 8 0 8 →	72
	不応答転送する	設定	→ 8 0 5 → 転送先の内線番号 →	73
		解除	→ 8 0 6 →	73
	不在/話中/不応答転送一括解除 (不在設定も含む)		→ 8 1 9 →	70~73
	専用線を使ってかける		→ 7 → 電話番号	173
クローズドナンバリングでかける		→ 内線番号	174	
ドアホンに応答		呼出音 →	178	

プッシュ回線のご注意

■プッシュホン式単独電話機から、0発信で外線発信するとき

→0発信後に、必ず外線からの発信音を確認してからダイヤルしてください。

■プッシュホン式単独電話機の再ダイヤル（リダイヤル）機能をお使いの方へ

→プッシュホン式単独電話機を使って外線発信を行った場合、ダイヤル抜けが発生する場合がありますので、単独電話機の再ダイヤル（リダイヤル）は使用しないでください。

操作特番について

■各機能の操作特番ダイヤルは、ダイヤル式電話機で説明しています。

操作特番ダイヤルは、取付け時の設定により変更することもできます。 取付け時設定

電話（アナログ）回線、ISDN回線、IP電話サービスの各種の回線サービスを利用していろいろな機能を使うことができます。

◆ IP電話サービスとは

プロバイダー（IP電話事業者）が提供する、IP（インターネットプロトコル）技術を利用した電話（音声）サービスです。

◆ ISDNとは

アナログ回線網に比べて、高速で高品質な通信が可能な、デジタル通信の回線網です。このシステムでは、NTTの提供するISDN回線（INSネット64/INSネット1500）を使用して通話を行い、ISDNならではのサービスを利用して、電話機をさらに便利にお使いになれます。

各種回線で利用できるおもなサービス

<p>ナンバー・ディスプレイ</p>	<p>外から電話がかかってきたとき、相手の電話番号が通知されたときは電話番号を表示します。電話番号を通知しないときは、その理由を表示します。（168ページ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●あらかじめ共通短縮ダイヤル（外線電話帳）に電話番号と相手の名前を登録しておく、登録した番号の方から電話がかかってきたときに、かけてきた方の名前を先頭の10文字まで表示することができます。 取付け時設定
<p>ネーム・ディスプレイ</p>	<p>外から電話がかかってきたとき、相手の名前が通知されたときは相手の電話番号とともに名前を表示します。（169ページ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字表示付電話機のみ利用できます。 ●かけてきた方の名前を先頭の漢字10文字または半角カナ英数字20文字まで表示することができます。 取付け時設定
<p>ダイヤルイン</p>	<p>外線から、本システムの内線電話機を呼び出す場合、契約者回線番号とは別に、それぞれの電話機にダイヤルインのための契約番号を付け、その契約番号をダイヤルして呼び出すことができます。（170ページ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル着信をすると、契約者回線番号にかかる着信するように設定されたすべての電話機を呼び出すこともできます。 ●外線からのダイヤルイン着信時やその通話時にダイヤルイン番号を表示することができます。 取付け時設定 ●同一ダイヤルイン番号ごとに、同時着信する呼数を制限できます。（着信呼数制限） 取付け時設定 ●ダイヤルイン着信先の電話機が話し中の場合、その電話機が空くまで待ち合わせすることができます。（話中待ち合わせ） 取付け時設定 ●契約したダイヤルイン番号ごとに所属グループを割り付け、所属グループの昼夜モードにより、ダイヤルイン着信先の内線を切り替えることができます。（グループ別着信先昼夜切替） 取付け時設定
<p>サブアドレス通知</p>	<p>外から特定の内線電話機を呼び出すことができます。（172ページ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ダイヤルイン契約している場合でも、サブアドレスを優先して着信することができます。 取付け時設定
<p>発信者番号通知</p>	<p>電話をかけた相手に発信者の電話番号を通知します。（166ページ）</p>	<p><発信者番号の通知について></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「通話ごと非通知(呼毎通知許可)」を選択時、通常は発信者の電話番号を通知します。相手電話番号の前に184をダイヤルすると、その通話に限り通知しません。 ●「回線ごと非通知(呼毎通知拒否)」を選択時、通常は電話番号を通知しません。相手番号の前に186をダイヤルすると、その通話に限り通知することができます。 ●「常時通知拒否」を選択時 どのようにかけても、電話番号を通知しません。 <p><通知する発信者の電話番号について></p> <p>本システムがダイヤルイン契約をしていれば、かけたときにダイヤルイン番号を通知することも可能です。 取付け時設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発信者番号通知状態／非通知状態を内線電話機ごとに変更することができます。 取付け時設定

- この他にも、NTTの付加サービスを契約して次の機能を利用することができます。
 - INS ボイスワープ : 外から電話がかかってきたときに、あらかじめ指定した転送先に自動的に転送するサービスです。
 - INS ナンバー・リクエスト : 電話番号を通知しない人からの電話をおつなぎしないサービスです。番号を通知してからかけなおすように音声ガイダンスが流れます。この機能は、INS ナンバー・ディスプレイのオプション機能です。
- 各種サービスはご利用の回線やプロバイダー（IP電話事業者）などにより異なります。（利用できないサービスもあります）また、サービスにより別途契約が必要となる場合があります。各サービスの詳細や契約内容につきましては、NTTまたは各プロバイダー（IP電話事業者）にお問い合わせください。

電話をかけた相手の電話機に、発信者番号を通知するサービスです。相手の電話機が電話（アナログ）回線の場合には、相手がナンバー・ディスプレイを契約している場合のみ電話番号を通知します。IP回線の場合、プロバイダー（IP電話事業者）によりご利用になれない場合があります。機能の詳細につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。

発信者番号の通知方法を選ぶ

本システムから電話をかけたとき、発信者番号を通知するかしないかを、以下の3つの中から選んでNTTに申し込みます。

- 「通常通知」を選択する場合
通常のかけ方で、発信者の電話番号を通知します。相手の電話番号の前に「184」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知しないようにします。
- 「通常非通知」を選択する場合
通常のかけ方では発信者の電話番号を通知しません。相手の電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知することができます。
- 「常時通知拒否」を選択する場合
電話番号の前に「186」をつけてダイヤルしても、電話番号を通知しません。
通知方法の変更は、NTTへの申し込みが必要になります。

通知する発信者番号について

本システムから発信者番号を通知する場合、設定により通知する番号を選択することができます。

取付け時設定

- 外線ごとに設定した番号を通知
- 電話機ごとに設定した番号を通知
- マルチラインボタンごとに設定した番号を通知

電話機ごとに番号通知を設定する（発番号通知制御機能）

FFボタンに発信者番号を通知するかどうかを電話機ごとに設定できます。この機能を設定すると、例えば、かけるごとに「184」（通話ごと番号非通知）をダイヤルしなくても電話をかけることができます。この機能は、ISDN回線／IP回線を使用している場合に、多機能電話機のみでご利用になれます。

- 設定している場合、外線ランプは点灯（赤色）状態です。（番号通知をする設定になっている場合は消灯）
- 設定されているFFボタンを押すごとに、通知・非通知の状態が切り替わります。
- 設定内容にかかわらず、かけるときに「184」（通話ごと番号非通知）や「186」（全番号非通知解除）をつけてダイヤルすると、その内容（非通知・通知）が優先されます。

■ ダイヤルイン契約をしている場合

- ➔ 電話をかけたときに代表番号が通知されます。
ただし、ISDN回線／IP回線で電話をかけたときは、かけた電話機に対応したダイヤルイン番号を通知することができます。 取付け時設定

■ ACR機能は

- ➔ 通話ごと番号非通知（184）、全番号非通知解除（186）を用いて発信を行った場合は動作しません。

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知されたときは発信者の電話番号、通知されないときにはその理由を通知するサービスです。電話（アナログ）回線、ISDN回線でこの機能を利用するには、NTTとの契約が必要です。IP回線でこの機能をご利用になる場合はご契約のプロバイダー（IP電話事業者）へお問い合わせください。

電話がかかってきたとき

電話に出る前に、かけてきた相手の電話番号または名前が多機能電話機の液晶表示部に表示されます。相手を確認してから電話を受けることができます。

■表示例（漢字表示付電話機の場合）

着信	局線	01
300		
		0451234567

■漢字表示付電話機の場合、相手の方の電話番号が表示されないときは、次のような表示となります。

表示	内容	意味
コウシュウケンゴ	公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
ヒツクハ	非通知	かけてきた相手の方が、番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているときに表示します。
ヒョウジケンガイ	表示圏外	ナンバー・ディスプレイを提供していないエリアから電話がかかってきたときに表示します。 サービスが競合しているため電話番号を通知できないときに表示します。

- 液晶表示部の表示範囲内で電話番号の最後から表示します。
- 電話に出たあとも相手の電話番号を表示することができます。
- 停電時には、電話番号を表示しません。
- 本装置を他の通信機器に接続して使用する場合は、電話番号を正常に表示できない場合があります。
- 複数の回線から同時に着信があった場合は、表示している発信電話番号と異なる相手に応答することがあります。
- 本装置に接続される単独電話機には、発信電話番号表示機能は利用できません。
- 本システムがダイヤルイン契約をしていれば、かけたときにダイヤルイン番号を通知することも可能です。

 取付け時設定

サービスを利用した便利な機能

■登録されている方からの呼び出しに対し着信音を変える(発信電話番号着信音設定)

あらかじめ登録した発信電話番号からの着信に対して、その番号に対応する外線着信音を変えることができます。着信音を聞いただけで、誰から電話がかかってきたかがわかります。 **取付け時設定**

■かけてきた方により呼び出す電話機を変える(発信電話番号着信先指定機能)

あらかじめ登録した発信電話番号からの着信に対して、その番号に対応する着信先電話機を指定しその電話機だけを呼び出すことができます。また、発信電話番号が通知されない場合は、回線から通知された理由ごとに着信先電話機を指定することができます。 **取付け時設定**

- 特定の発信電話番号または番号非通知の着信に対して、着信を受け付けなくすることもできます。
- 発信電話番号とその着信先を指定電話機から登録することができます。(138 ページ)
- 発信電話番号に対応する名前をあらかじめ登録しておく、着信時に名前が表示されます。

 **取付け時設定**

■かけてきた方の名前を表示する(発信者情報表示機能)

あらかじめ共通短縮ダイヤルに電話番号と相手の名前を登録しておく、登録した番号の方から電話がかかってきたときに、かけてきた方の名前を表示することができます。 **取付け時設定**

- この機能は、漢字表示付電話機のみでご利用できます。
- 共通短縮ダイヤルに名前が登録されていない場合は、電話番号のみの表示になります。
- 表示される名前は、登録されている短縮ダイヤル名の先頭の 10 文字です。

■かかってきた電話番号の履歴を残す(発信電話番号蓄積機能)

かかってきた電話番号、および登録されていれば名前を最大 15 件まで自動的に履歴として残すことができます。 **取付け時設定**

- この機能は漢字表示付電話機のみでご利用できます。
- 履歴がすでに 15 件になっているときに電話がかかってきた場合は、一番古い履歴が削除され、新しくかかってきた電話番号が履歴に追加されます。
- 電話番号の履歴を使って電話をかけることができます。
- 電話番号の履歴を編集することはできません。

電話がかかってきたとき、発信者の電話番号と名前が通知されたとき、発信者の電話番号と名前を表示するサービスです。この機能を利用するには、NTTとの契約が必要です。
電話（アナログ）回線とISDN回線でご利用になれるサービスです。
発信者名前が表示できるのは漢字表示付電話機のみです。

電話がかかってきたとき

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号と名前が通知された場合には、着信音が鳴っている漢字表示付電話機すべてに、かけてきた相手（発信者）の名前が表示されるので、相手を確認してから電話を受けることができます。

ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、発信電話番号だけでなく、発信者名も表示されるサービスです。

表示例

〈藤沢さん（内線300番）の電話に、青木さん（045-123-4567）からかかってきた場合〉

発信者から通知された名前をそのまま表示できます。

着信	局線	01
300	藤沢	
青木	0451234567	

通知された発信者名が表示される

- 発信者から通知された名前は、着信通話履歴（42 ページ）、着信不応答履歴（44 ページ）には表示されません。
- ネーム・ディスプレイの契約をしていない場合でも、発信電話番号により、通知された電話番号が主装置に登録されている場合は、主装置に登録された名前が表示されます。

着信	局線	01
300	藤沢	
青山	0451234567	

外線電話帳に登録されている名前が表示される

発信者の電話番号

ダイヤルイン

それぞれの内線電話機にダイヤルイン契約番号をつけると、外から本システムの内線電話機を直接呼び出すことができます。(ダイヤルイン個別着信)

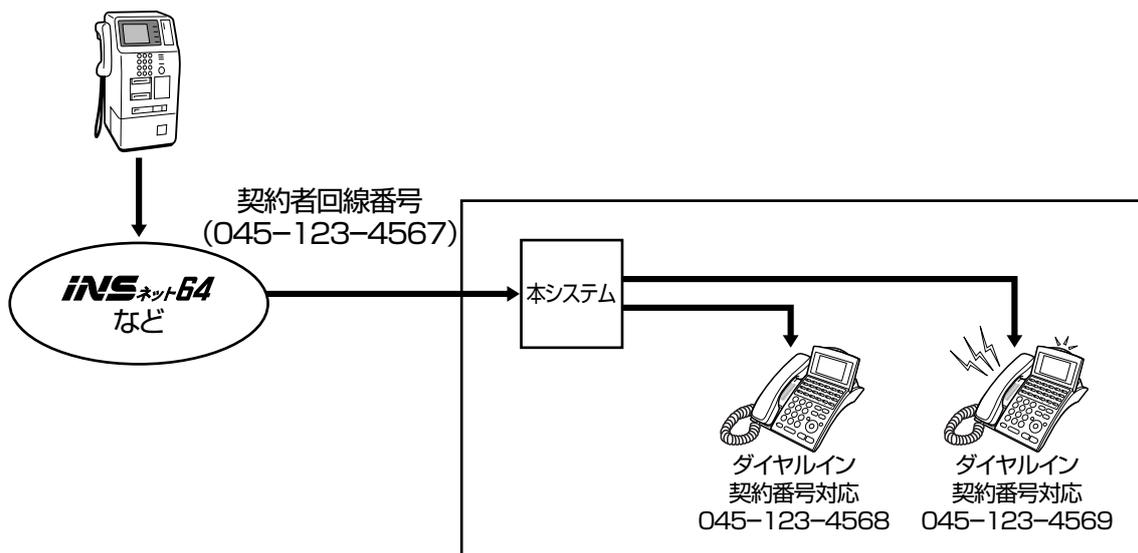
電話（アナログ）回線、ISDN回線でこのサービスを利用するには、NTTとの契約が必要です。

IP回線でこの機能をご利用になる場合はご契約のプロバイダー（IP電話事業者）へお問い合わせください。

例：外から契約者回線番号が045-123-4567でダイヤルイン契約番号が045-123-4569の電話機を呼び出す

外線から045-123-4569をダイヤルする

045-123-4569をダイヤル

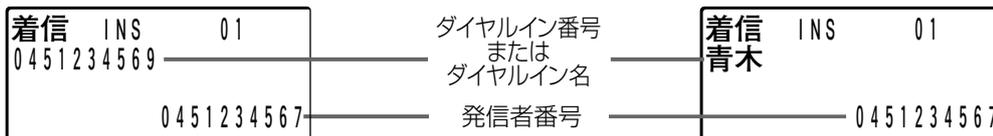


ダイヤルイン番号の表示について

外線からのダイヤルイン着信時に、ダイヤルイン番号を表示することができます。また、電話に出たあともダイヤルイン番号をそのまま表示することができます。誰あてにかかってきた電話かを確認することができます。便利です。

《短縮登録なしの場合》

《短縮登録ありの場合》



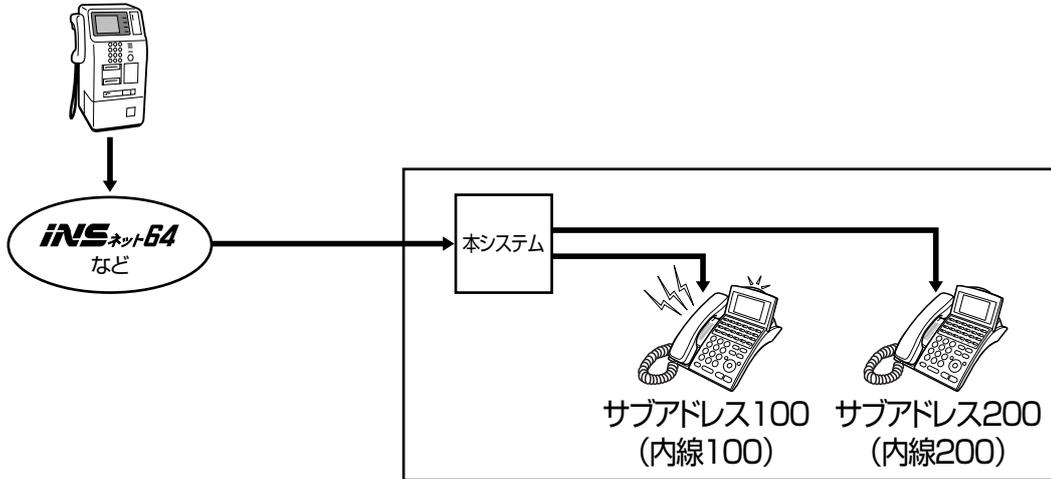
- ダイヤルイン番号として表示可能なケタ数は、アナログ回線で最大4ケタ、ISDN回線／IP回線で最大15ケタです。
- 短縮ダイヤルに「**Ⓜ**➡ダイヤルイン番号」を設定すると、ダイヤルイン番号が一致したときに、該当する短縮の名前を表示することができます。短縮登録された名前は最大15文字まで表示します。
- 数字表示付電話機の場合、ダイヤルイン番号の表示はできません。

サブアドレス通知

電話番号のあとに内線番号を押すことによって、外から特定の内線電話機を直接呼び出すことができます。このサービスは、相手の発信側電話機および回線がサブアドレスを通知する機能を有している必要があります。また、着信回線は ISDN 回線のみ利用できます。(電話 (アナログ) 回線または IP 回線から本システムの内線電話機を呼び出すことはできません)

例： ISDN 公衆電話などから 045-123-4567 (契約者回線番号) の内線番号 100 の電話機を直接呼び出す

045-123-4567をダイヤル



1 ISDN 公衆電話などから 045-123-4567 をダイヤルする

2 **サブアドレス** 押す • この操作は電話機によって異なる

3 **1 0 0** 押す

4 **発信** 押す • この操作は電話機によって異なる

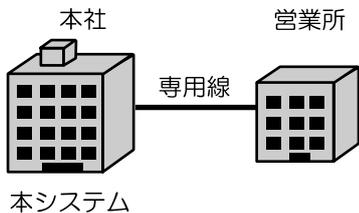
本システムから外線に電話をかけて、特定の内線電話機を呼び出す

例：本システムから ISDN 回線 03-1234-5678(契約者回線番号) の内線番号 100 の電話機を呼び出す

1  取る → 2 **発信** 押す → 3 03-1234-5678をダイヤルする →
4 ***** 押す → 5 **1 0 0** 押す → 6 **#** 押す

• 手順 6 で **#** を押さなくても、設定した時間 (10 秒 (標準)) が経過すると、自動的に発信します。

専用線で電話をかける

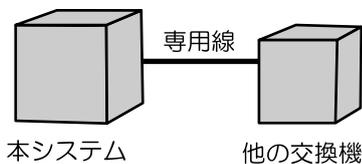


専用線を使ってかける

専用線でむすばれた本社・営業所間などで電話をかけるとき、この操作で行います。

- 1  または **モニター** 押す
- 2 **⑦** 押す
- 3 電話番号を押す

■手順2の**⑦**は、取付け時に変更することができます。

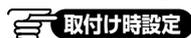


システム間接続でかける

本システムと他の交換機、パナソニック製のボタン電話機を接続して、内線で通話できます。

- 1  または **モニター** 押す
- 2 **⑦** 押す
- 3 電話番号を押す

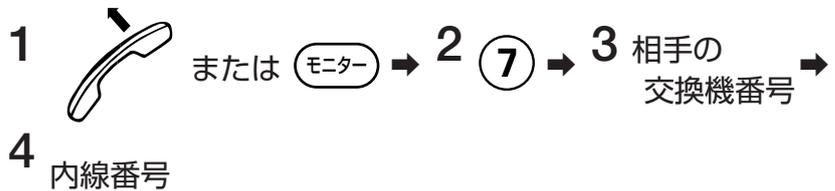
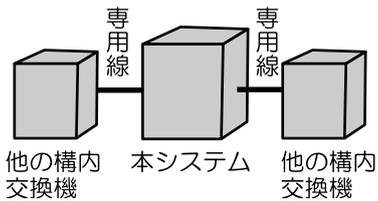
■手順2の**⑦**は、取付け時に変更することができます。



専用線で電話をかける

タンデム交換機能でかける

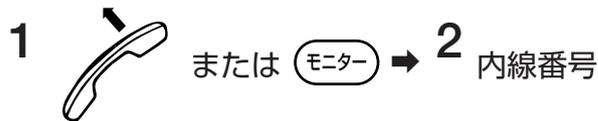
複数の構内交換機を専用線で接続し、異なる構内交換機間を内線で接続することができます。



- 多機能電話機への通話料金表示は行われません。

クローズドナンバリングでかける

複数台の本システム間を専用線で接続することにより、異なる本システム内の電話機を直接、内線番号で呼び出すことができます。



《システム間接続、タンデム交換機能、クローズドナンバリングでかけたときのご注意》

- 異なるシステムへの内線キャンプオン、内線コールバック、不在転送、内線ワンタッチ個別呼出(集中受付装置も同様)、内線話中表示、相手内線番号表示、グループ呼出、構内放送、通話料金表示はできません。ただし、構内放送は取付け時の設定により可能です。

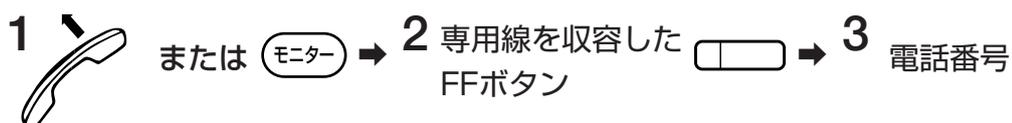
☞取付け時設定

- 通話料金管理を行う場合、システムごとに1台通話管理装置が必要です。
- 別売の専用線ユニットまたはデジタル専用線ユニットが必要です。
- システム間のリセットコールが可能です。(176ページ)

専用線を FF ボタンに収容して使う

専用線を FF ボタンに収容して使うとき、外線と同じような操作で簡単に電話をかけたり、受けたりできます。

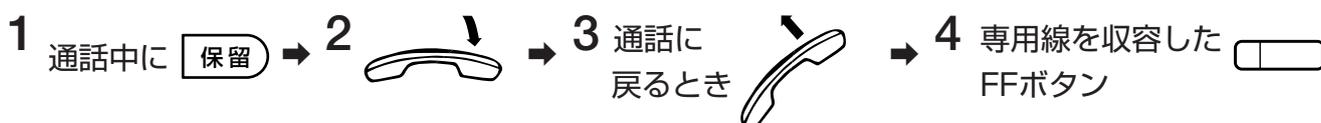
《かける》



《受ける》



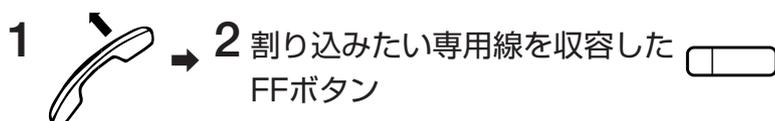
《保留する》



《転送する》



《通話割込する》 取付け時設定



外からプッシュダイヤル式電話機または、プッシュ信号転換機能のある電話機で、電話番号に続いて内線番号をダイヤルすることにより、特定の内線電話機を直接呼び出すことができます。大切なお客様や社内関係者など、内線番号をよく知っている方に便利です。



ダイレクト・イン・ダイヤルでかける

- 1  取る
- 2 DID 番号を押す
- 3 内線番号を押す

■この機能を利用するには、プッシュ信号受信ユニットが必要です。

■次の場合は、通常の外線着信に切り替わります。

- 一定時間ダイヤルしなかったとき
- 呼び出した相手が255秒（標準）以内に応答しないとき
- 相手の内線電話機が不在設定をしているとき
- プッシュ信号受信ユニットに空きがないとき

■手順3で内線番号を押すときには、発音音(ピーピーピー)を聞いてから押してください。

■別売のトーキー装置を接続すると、手順2のあとに案内を流すことができます。 取付け時設定

相手内線電話機が通話中のとき

相手内線電話機が通話中のときは、話中音(ツーツーツー)が聞こえます。このとき、15秒（標準）以内であれば、以下の2通りの操作方法があります。

《続いて、他の内線電話機を呼び出すとき》

- 1  または  → 2 別の内線番号を押す

《続いて、内線番号が近い電話機を呼び出す(リセットコール)》

- 1 他の内線番号の下1ケタを押す
例：123番が話し中のとき、続いて  を押すと125番を呼び出す

■相手内線電話機が通話中のときに通常の外線着信に切り替わるようにすることもできます。 取付け時設定

構内放送

どの電話機からも構内放送できます。別売のアンプ、構内放送用スピーカーが必要です。構内放送にドアホンで応答する場合は、別売のドアホン／構内放送ユニット、増幅器（アンプ）とドアホン（玄関子機）が必要です。📞 **取付け時設定**

構内放送する



1  取る

2  押す

3 構内放送番号を押す ●番号は取付け時に設定する

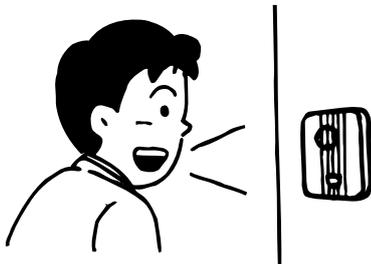
4  放送する

電話機で応答する

1  → 2  

ドアホンで応答する

📞 **取付け時設定**



1 ドアホン子機に向かって話す

●構内放送した人の声をドアホンのスピーカーで聞きながら通話できます。

ドアホンに应答

ドアホン(玄関子機)からの呼び出しに電話機で应答できます。玄関子機とドアホンアダプターが必要です。

 取付け時設定



ドアホンからの呼び出しに应答する

- 1  呼出音が聞こえる ● 着信ランプ点滅

- 2  取る ● 通話できる

着信ランプが消えてから应答するには

- 1  → 2 ドアホンを 外線 収容した  →
- 3 ① (ドアホン1)
または
② (ドアホン2)

《ドアホンは》

- ドアホンアダプター1台につき、ドアホンは最大2台まで接続できます。
- ドアホンからの呼び出しを  に着信させることもできます。

受話器の代わりに市販のヘッドセットを使うと、受話器を置いたままで通話できます。ヘッドセットを使う前に、ヘッドセットモードに切り替えてください。

2.4G カラーデジタルコードレス電話機では利用できません。

ヘッドセットモードに切り替える



1

モニター 押す

2

文字
設定/転送 押す

3

9 0 押す

4

モニター 押す

■解除するときは

→ 同じ操作をします。

《ヘッドセットを使うときは》

- 電話機本体から受話器コードを抜き、ヘッドセットを接続します。
- 受話器は、元の位置に置いたままにします。
- 外から電話がかかってきたときは、**モニター** を押すだけで応答することができます。**取付け時設定**
- ヘッドセットモードに切り替えると、**モニター** を押すことが受話器の上げ下げと同じ働きをします。
- 使用可能なヘッドセットにつきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

交換機のBGM端子に、市販のエンドレス方式テープレコーダーなどを接続すると、電話機を使っていないとき、スピーカーからBGM（バック・グラウンド・ミュージック）を流すことができます。

2.4G カラーデジタルコードレス電話機では利用できません。

BGM に切り替える



1

モニター

押す

2

BGM 切替特番を押す

- BGM 切替特番は、取付け時に設定が必要

3

モニター

押す

- BGM が聞こえる

■ BGM を止めるとき

→ 同じ操作をします。

■ BGM の音量は

→ で調節します。

■ BGM を聞いているとき、電話がかかってくると

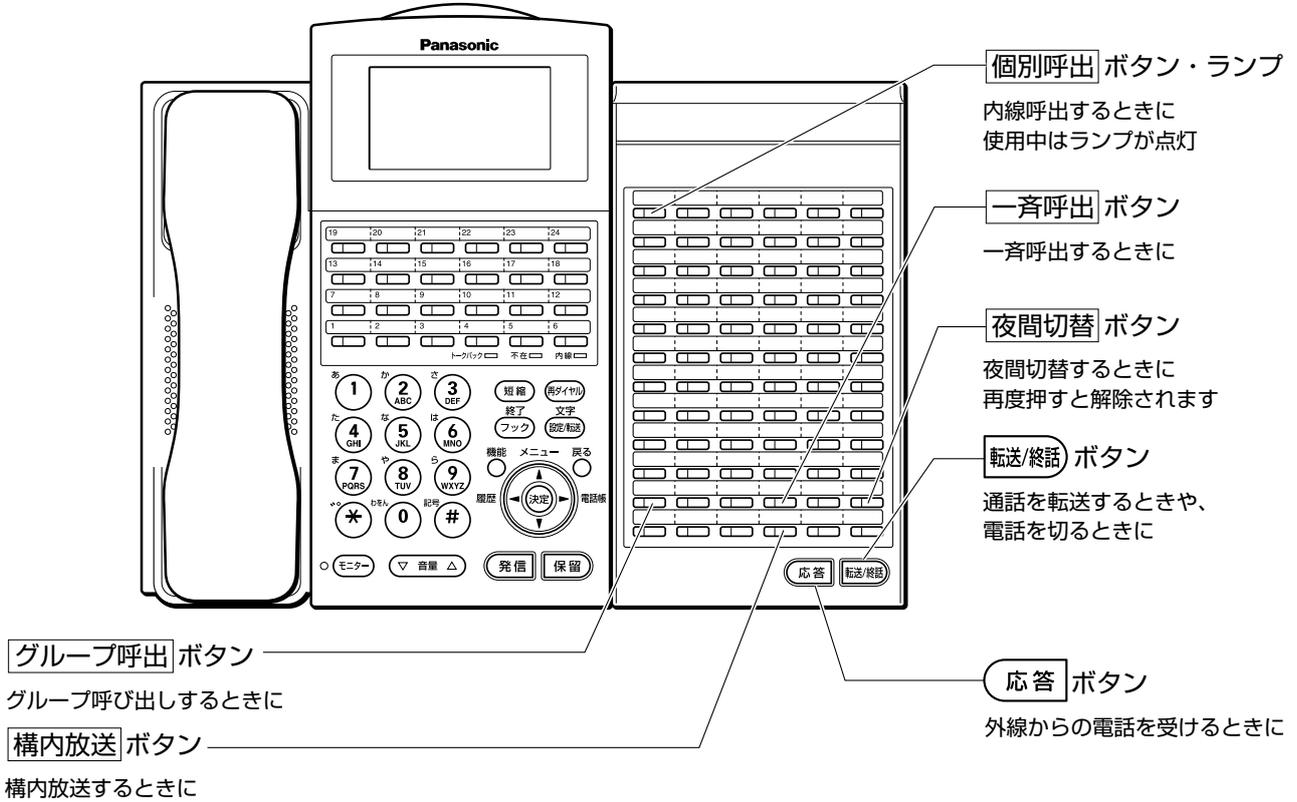
→ BGM が止まり、呼出音が聞こえます。

集中受付装置の使いかた

集中受付装置 (VB-F631A) を接続すると、外線を集中して受け付けられ、電話受付の合理化が図れます。

集中受付装置の各部のなまえ

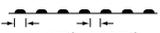
集中受付装置 (VB-F631A) FF ボタンの設定例



- ボタンの設定位置は、自由に選ぶことができます。(**転送/終話**)、(**応答**) ボタンを除く)
- 集中受付装置のFF ボタンを、外線ボタン、機能ボタンとして使うこともできます。

集中受付装置のランプ表示について

使用している電話機に対応する **個別呼出** ランプが赤色で点灯し、不在設定中の電話機のランプは緑色で点灯します。各電話機の使用状況が一目でわかります。

種類	時間幅	色
内線呼出表示	 0.125秒 0.125秒	赤
電話機使用中表示	 連続	赤
電話機不在設定中表示	 連続	緑

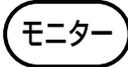
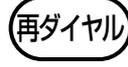


- 次のようなランプ表示にすることができます。☎ **取付け時設定**

種類	時間幅	色
内線呼出表示	 連続	緑
電話機使用中表示	 連続	緑
電話機不在設定中表示	消灯	—

個別呼出 ボタンなどの 機能 ボタンを設定する

使う前に、**個別呼出** ボタンなどの **機能** ボタンを設定します。

- 1  押す
 - 2  押す
 - 3  集中受付装置の設定したいFF ボタンを押す
 - 4  押す
 - 5 設定したい機能番号を押す
 - 6  押す
 ●確認音（ピーピーピー）が聞こえたら、設定完了
 - 7  押す
- 機能特番で設定するときは
 →手順 4、5 の代わりに、機能特番（操作するときに押す番号。例えば不在設定なら **801**）を押します。

《設定機能例》

機 能	機能番号
信号音による内線個別呼出	⑨ → 内線番号
音声による内線個別呼出	⑧ → 内線番号
グループ呼出1 } 2 グループ呼出9	④④① } 2 ④④⑨
一斉呼出	④④①
構内放送	④④①

※構内放送の (×) は、取付け時に設定した番号です。

※そのほかにも、92～94 ページと同じ機能を設定することができます。

《設定は》

- **個別呼出** ボタン、**機能** ボタンの設定位置は、自由に選ぶことができます。
- 続けて記憶させるときは、手順 2～6 を繰り返します。
- 設定した内容を消去するときには、手順 4、5 を省略します。
- 設定した内容を変更したいときは、設定した内容を一度消去してから、手順 1 から行ってください。

外からの電話を転送する — 転送を受ける人と通話するとき

- 1 通話中に、転送を受ける人の **個別呼出** ボタンを押す →
- 2 転送を受ける人に連絡する →
- 3 **転送/終話** ボタンを押す

- 電話を受けるときは、46 ページと同じ操作で行います。 **応答** ボタンを押しても電話を受けられます。
- 転送する相手が通話中または応答しないときは、外線ボタンを押すと、元の外線と通話できます。

外からの電話を転送する — 転送を受ける人と通話しないとき



- 1 通話中に、転送を受ける人の **個別呼出** ボタンを押す →
- 2 転送を受ける人が応答する前に **転送/終話** ボタンを押す

- 相手が応答しないとき（1 秒～255 秒任意設定、標準 60 秒）は、集中受付装置を接続した電話機に警報音が鳴りますので、外線ボタンを押すと、再び元の通話に戻ります。 **取付け時設定**
- 転送を受ける人は、呼出音（プップ）が聞こえたら受話器を取るだけで、外からの電話に応答できます。

内線を個別に呼び出す

- 1  →
- 2 呼び出したい人の **個別呼出** ボタンを押す
- 3 音声呼出のときは呼びかける

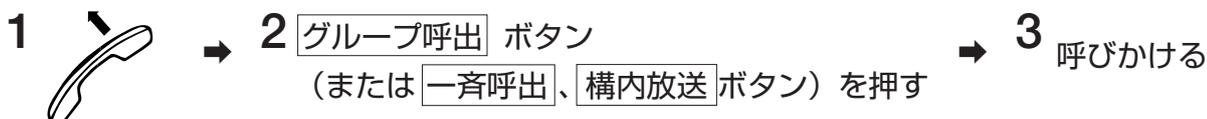
呼出先を切り替える

外線転送中や、内線を個別に呼び出したときに、相手が応答しないときや呼出先を間違えたとき、呼出先を簡単に切り替えられます。

1 呼出中とは別の **個別呼出** ボタンを押す

- 前の呼出は停止して、別の電話機を呼び出します。

一斉・グループ別呼出／構内放送する



- 手順 2 の操作をしたとき、自分と相手の電話機および構内放送装置に予告音が鳴ります。

個別呼出 ボタンも着信応答と併用する

個別呼出 ボタンに設定した内線が呼び出されたとき、集中受付装置を接続した電話機にも着信音が鳴り、呼び出された内線に代わって応答できます。  **取付け時設定**



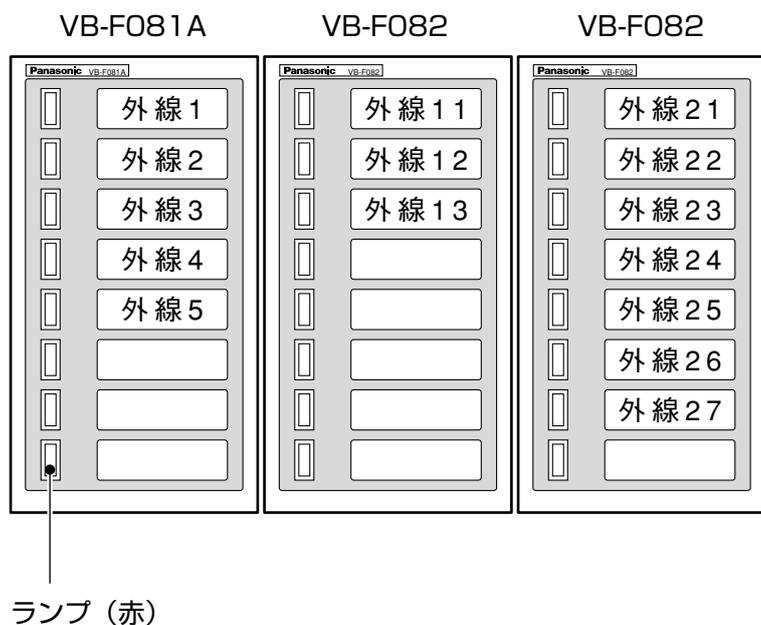
状態表示盤を外線表示盤として使う

状態表示盤のランプに外線を割り付け、その外線の状態をランプ表示することができます。

外線の状態とランプ表示の関係は、次のようになります。

外線の状態	ランプ表示
空き	消灯
使用中	赤色で点灯
着信中	赤色で速い点滅
保留中	赤色で点滅

《外線表示盤として利用する場合》



状態表示盤を外線表示盤として使う

外からの電話を受ける（指定外線応答）

- 

他の電話機から
着信音が聞こえる

 - 着信のあった状態表示盤の外線のランプが赤色で速く点滅
- 

取る
- 指定外線応答特番

(* 8 1) を押す
- 状態表示盤の外線番号を押す

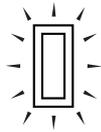
 - 相手と通話できる
 - ランプが赤色点灯

■指定外線応答特番は変更することができます。  取付け時設定

■外線番号、および外線番号のケタ数は取付け時に設定します。  取付け時設定

外からの電話を受ける（自動選局応答）

1



他の電話機から
着信音が聞こえる

- 着信のあった状態表示盤の外線のランプが赤色で速く点滅

2



取る

3

自動選局応答特番

( ) を押す

- 相手と通話できる
- ランプが赤色点灯

■自動選局応答特番は変更することができます。  **取付け時設定**

■自動選局応答で応答できる外線は取付け時に設定します。  **取付け時設定**

状態表示盤を在席表示盤として使う

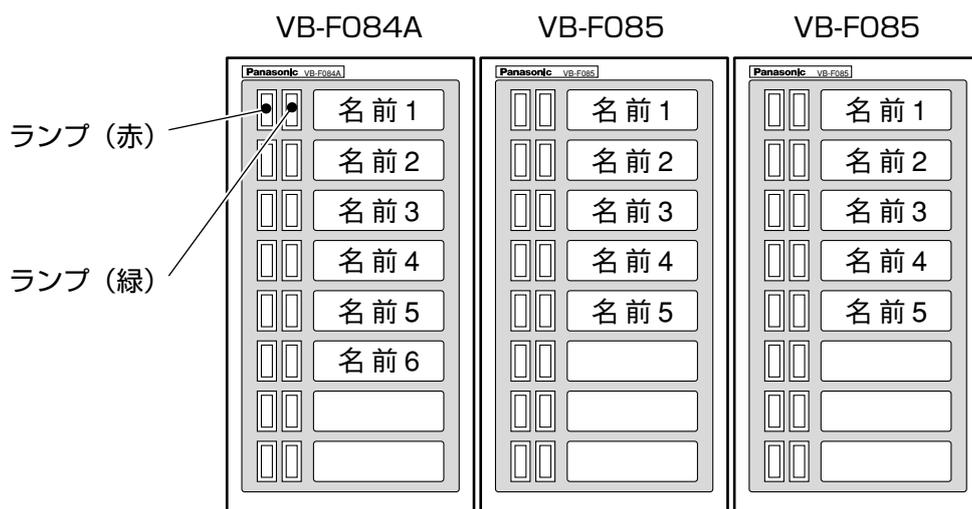
在席表示盤のランプに任意の内線ワンタッチボタンを定義することにより、その内線の在／不在の状態を可視表示することができます。

内線の状態と在席表示盤のランプ表示の関係は、次のようになります。

内線の状態	在席表示盤のランプ表示	備考
不在	消灯します	オフフックすると緑色で点灯します
在席	緑色で点灯します	オフフック、着信などでも変化しません

- 上記のランプ表示で利用するには取付け時設定が必要です。☎ **取付け時設定**

《在席表示盤として利用する場合》



自分の在席表示を在席／不在状態にする

☎ **取付け時設定**

- 1 モニター →
- 2 (8) (1) (1) →
- 3 自分の内線番号 →
- 4 モニター

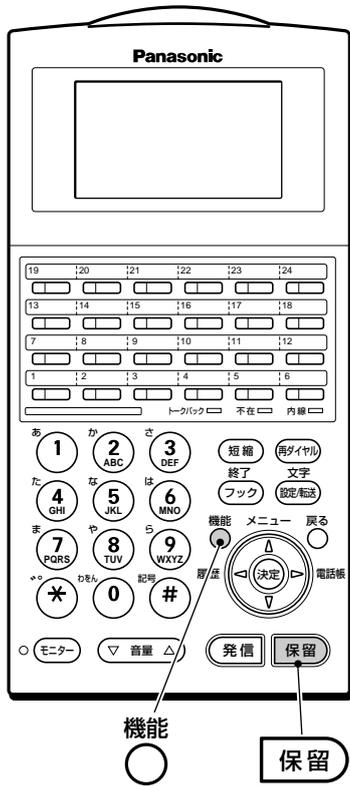
■ 在席状態と不在状態の表示を同じ操作でするために、取付け時の設定が必要です。☎ **取付け時設定**

■ 手順 2 の (8) (1) (1) は取付け時に変更することができます。☎ **取付け時設定**

■ 自分の電話機から手順 2 で (8) (0) (1) を押したあと手順 3 を省略することで自分の在席表示を在席／不在状態にすることもできます。

8者通話

内線通話中に次々と他の内線を呼び出し、最大8人で会議通話をすることができます。



8者通話をする

- 1  取る

- 2 会議通話特番
(**8** **7** **8**) を押す

- 3 内線番号を押す ● 相手が話し中の場合、**フック** を押す

- 4  機能 通話中に押す

- 5  保留 通話中に押す

- 6 内線番号を押す ● 相手が話し中の場合、**フック** を押す

- 7  機能 応答したら押す ● 3人で通話できる

■数字表示付電話機の場合、手順4、7で  の代わりに  を押します。

■手順5～7を繰り返し、8者までの通話が可能です。

■手順2の **8 7 8** は取付け時に変更することができます。

 **取付け時設定**

■会議通話では、普通の通話より音量が下がります。

■会議通話中は、保留できません。

■会議通話を行うには、グループ通話ユニットが必要です。

会議中の通話に参加する形で会議通話をすることができます。

自動グループ通話をする

1



取る

2

自動グループ通話参加特番を押す

- 内線ごとにあらかじめ指定された会議通話に参加する

■自動グループ通話参加特番の設定が必要です。☎取付け時設定

■会議通話をするためには

- 最大8者、または最大16者の会議通話の場合、グループ通話ユニット（VB-D874 / VB-D875）が必要です。
- 最大32者の会議通話の場合、グループ通話ユニット（VB-D875）が必要です。

指定グループ通話をする

1



取る

2

指定グループ通話参加特番を押す

3

グループ番号

(1)~(9) を押す

- 指定したグループの会議通話に参加する

■指定グループ通話参加特番の設定が必要です。☎取付け時設定

■会議通話をするためには

- 最大8者、または最大16者の会議通話の場合、グループ通話ユニット（VB-D874 / VB-D875）が必要です。
- 最大32者の会議通話の場合、グループ通話ユニット（VB-D875）が必要です。

取付け時に設定する事項

取付け時に設定する事項のうち、主なものを以下に説明します。
 詳細については、販売店にご相談ください。

外 線

《0 発信グループ》

外線、電話機を組織単位（0 発信グループ）に分けて使用する方法です。その電話機から発信ボタンまたは0をダイヤルしたときに捕捉できる外線グループに分けます。

《外線発信規制》

電話機別に特定市外・市内などの各種発信規制ができます。

- 短縮ダイヤルに電話番号を記憶させた場合も、内線サービスクラスの設定に合わせて発信規制がされます。
- グループごとに専用線の発信規制をすることができます。（グループ別専用線発信規制）

発信規制（内線サービスクラス）

呼種 クラス	外線 発信			外線 着信	専用線 発着信	内線 相互
	国際自即	市外	市内			
超特甲	○	○	○	○	○	○
準超特甲	□	□	□	○	○	○
特甲	×	□	□	○	○	○
準特甲	×	△□	□	○	○	○
甲	×	×	□	○	○	○
準甲	×	×	×	○	○	○
乙	×	×	×	×	○	○

○：可 ×：不可 △：一部可（特定市外発信規制解除）
 □：一部不可（準超特甲以下で規制するダイヤル）

《着信応答方式切替》

業務終了後や夜間に、外線・グループごとに特定の電話機や集中受付装置の外線応答方法を切り替えることができます。（切り替えができる組み合わせは、以下のとおりです）

夜間 昼間 ※3	多機能電話機	集中受付装置 (DSS)	ダイレクト・イン・ライン またはセクションイン ※1
多機能電話機（鳴動）	○	○	○
集中受付装置（DSS）	○	○	○
ダイレクトインライン またはセクションイン※1	○	○	○※2

- ※ 1) 外線ごとに昼間と夜間の着信先を設定することができます。
- ※ 2) 着信先を変更できます。
- ※ 3) 昼間の着信先を、さらに2つ（昼1、2）の着信方法が選択できます。

■ダイレクト・イン・ラインについて

特定外線番号への着信を、あらかじめ決めておいた内線電話機でのみ受けることができます。

■セクションインについて

特定外線番号への着信を、あらかじめ決めておいた内線電話機のハンティンググループで受けることができます。

■フローティング着信について

マルチラインボタンに内線番号を割り当て、その内線への着信を受けることができます。

取付け時に設定する事項

《発信時ダイヤルトーン検出》

外線を自動的に捕捉して電話をかけるとき、本システムが局のダイヤルトーンを自動的に検出し、ダイヤル信号を送出することができます。

《長時間通話警報》

外へ電話をかけたとき、相手応答後、最初2分30秒後、以降3分ごとに警報音（ピッ、0.25秒間）が受話器から聞こえるようにすることができます。警報音送中中は、相手の声が小さくなります。

《発信プリファレンス》

発信プリファレンスを設定すると、外に電話をかける場合、受話器を取るだけで空いている外線（0発信グループの外線）をつかみ、**発信**を押さずに電話番号をダイヤルできます。

■発信プリファレンスを設定しているときは

受話器を取って、外線・内線へかける方法が変わってきますので、ご注意ください。（受話器を取らないでかける操作は変わりません）

受話器を取って外にかけるとき → **発信**を押す手順は省略します。

受話器を取って内線にかけるとき → 受話器を取る前に、**モニター**を押してから操作します。

《回線自動選択》

発信時の相手番号により自動的に回線を選択することができます。

《外線ボタン着信規制》

電話機別、外線ボタン別に着信応答ができないようにすることができます。ただし、着信があると多機能電話機の外線ランプが点滅します。

《外線ボタン別着信音》

外線ボタン別に音色の違う着信音を設定することができます。着信音周波数と断続周期の組み合わせでさまざまな着信音が選択できます。（メロディー着信音も可能）

《外線個別着信》

外線の着信鳴動を電話機および外線ごとに設定できます。

《外線ボタン個別着信鳴動》

外線ボタンへの着信を電話機ごとに鳴動指定できます。

《ダイレクト外線接続》

電話機の外線ボタンに、任意の外線を収容することにより、ワンタッチで外線ボタンに収容した外線をつかむことができます。

《ダイレクト発信接続規制》

電話機の外線ボタンに外線を収容したときに、各外線ボタンごとに発信規制ができます。

《自動ポーズ》

ビル電話・構内交換機の端末に接続して使用した場合、外線発信番号のあとに自動的にポーズを入れることができます。自動ポーズは、1ケタ、2ケタ、3ケタの任意の位置に入れることができます。

《話中時着信》

通話中の電話機に対して、外線の着信があった場合、話中時着信（プップ）が小さな音量で鳴ります。この間に終話し、再び受話器を取ると着信中の相手と通話できます。

電話機が着信中の場合は、次に着信した人は内線話中音となり、話中時着信はできません。

- 音声呼出による話中時着信は、自動的に信号呼出になります。

《外線着信警報》

外から電話がかかってきたとき、設定時間（1秒～255秒任意、20秒（標準））内に応答しないときは、着信音の音色を自動的に警報音（メロディー）に変え、早く応答するように警報することができます。



《外線スライド着信》

外から電話がかかってきたとき、一定時間（20秒（標準））応答しないときは、あらかじめ設定した電話機にも呼出音を鳴らすことができます。

- 外線着信警報を設定した外線では、スライド着信できません。
- スライド着信後も、最初に電話がかかってきた電話機の呼出音は鳴り続けます。



取付け時に設定する事項

《外線不応答転送》

外線から電話がかかってきたとき、設定時間(240秒(標準))応答しない場合は、あらかじめ設定した内線電話機、内線ハンティンググループ(190ページ)、専用線(メールボックスなど)に転送することができます。



《保留音送出装置》

メロディー音を保留音として送出することができます。

《ダイレクト・イン・ライン》

特定の外線番号への着信を、あらかじめ決めておいた内線電話機でのみ受けることができます。着信先としてハンティンググループ、共通短縮ダイヤル番号、マルチライン番号を設定することもできます。

《特殊規制ダイヤル》

外線発信時に、あらかじめ登録された発信規制ダイヤルと一致した場合は、捕捉中の外線を自動的に解放して、特定の内線への着信に切り替えることができます。

内 線

《内線番号のケタ数》

各電話機に対して、1～4ケタの任意の内線番号を設定することができます。

《グループ間接続規制》

グループ間の内線通話ができないように設定することができます。

《内線機能クラス間呼出規制》

特定の内線機能クラスを持つ内線間の呼出規制を設定することができます。

《内線指定パーク応答(コールパーク)》

自己保留した通話に他の電話機から内線番号を指定して応答することができます。自分の席以外で受けた通話を保留して、自分の席で応答したいときに便利です。

《内線代表》

いくつかの内線番号を一つのグループにまとめ、電話がかかってきたとき、グループの空いている内線番号に着信できるようにできます。

- ①パイロットハンティング：一つの内線番号を代表番号に決め、代表番号に着信があったときのみ、登録された順番に空いている内線番号を探して呼び出します。
- ②ターミナルハンティング：グループ内の内線に着信があったとき、その内線から登録された最後の番号まで、空いている内線番号を探して呼び出します。
- ③ディストリビュートハンティング：一つの内線番号を代表番号に決め、代表番号に着信があったときのみ、前回呼び出した内線の次の内線番号からグループ内の空いている内線番号を探して呼び出します。
- ④スイッチバックハンティング：グループ内の内線に着信があったとき、その内線から登録された順番に、登録された最後の番号まで、空いている内線番号を探して呼び出します。もし、空いている内線が見つからないときは、着信があった内線の一つ前に登録した内線から、登録順とは逆に、1番目に登録した内線まで空いている内線番号を探して呼び出します。また、代表番号を決め、代表番号を探して呼び出します。
- ⑤サーキュラーハンティング：グループ内の内線に着信があったとき、その内線から登録された順番に最後の番号まで、空いている内線番号を探して呼び出します。もし空いている内線が見つからないときは、グループの先頭から着信があった内線の一つ前の内線まで、空いている内線番号を探して呼び出します。
- ⑥ロングストアイドルハンティング：局線／専用線通話を終話した時間順に着信先を決めて呼び出します。

《ホットライン》

受話器を取るだけで、あらかじめ設定した内線電話機を呼び出すことができます。エレベーター内の緊急連絡電話機や、受付用電話機として使うと便利です。

- ホットライン先の電話機として登録できるのは、通常の内線電話機、マルチラインボタン、共通短縮ダイヤルです。
- ホットラインは、システムで最大20組まで設定することができます。

《内線プッシュ信号送出》

内線から、設定された内線(単独電話機のみ)に対して、プッシュ信号を送ることができます。相手応答後、番号など(①～⑨、(井)、(＊))をダイヤルします。

取付け時に設定する事項

共通

《グループについて》

セクション別に外線を振り分けて利用する方式で、最大96グループまで分けることができます。もちろんグループ間の通話は自由に行えます。

《各種グループとグループ設定について》

使用前に各種グループを設定します。

- 外線発信グループ（テナント）…… **保留** を押したとき、または0発信などの外線発信時に外線グループを捕捉する内線のグループ
- グループ呼出のグループ …………… グループ呼び出しをしたときに、呼び出しのかかる電話機のグループ
- 代理応答グループ …………… グループ内の内線個別着信に対して、代理応答ができる電話機のグループ
- システム保留応答グループ …………… グループ内のシステム保留に対して、応答ができる電話機のグループ
- ハンティンググループ …………… 内線代表やセクションインの機能で使用する電話機のグループ

《フレキシブル番号計画》

電話機の内線および機能を操作する番号は、1～4ケタまでの任意の数字に設定できます。

《保留音送出》

- 外線、内線、専用線の保留音を内線保留音（メロディーIC音源）または外部音源から選択でき、テナントごとに設定できます。ただし、メロディーIC音源の音をテナントごとに設定できません。
- メロディーIC音源の音の種類は以下のとおりです。

	種類
IP-Digaport J II	2種類
IP-Digaport X II	4種類

※ IP-Digaport X IIの場合、テナントごとに3パターンの使い分けができます。

- 局線保留音送出時のテナント選択方法は、保留者または局線のテナントのどちらかにより選択可能です。（お買上げ時：保留者のテナント）
- 外部音源の接続ポートは、CPUユニットの外部保留音入力ポートまたはトーキー接続ポートを利用できます。

《テナントごとの着信音設定》

- 外線、内線、専用線の着信音をテナントごとに設定することができます。
テナントごとに着信音を設定することにより、どのテナントの電話機（単独電話機／多機能電話機）に電話がかかっているのかが容易にわかり便利です。
着信音のパターンは、選択設定することができます。
- 専用線の場合、着信音を内線着信音または局線着信音のどちらにするかを、機能クラス単位で選択できます。

オプション

《2WayPro、IP-2Way》

別売の2WayProまたはIP-2Wayを接続すると、通話内容を録音できます。着信メモの必要がなくなったり、不在時でも連絡が取り合えて便利です。

《ファクシミリ回線を使って外に電話をかける》

ファクシミリ回線をシステムに収容すると、ファクシミリを使っていないとき、ファクシミリ回線を通話のための外線として利用できます。

- かけるときは、ファクシミリ回線が収容されているFFボタンを押してから、外に電話をかける操作をします。
- ファクシミリ回線を通話に使用しているときは、ファクシミリの発信・着信はできません。
- ファクシミリとして使っているときは、ファクシミリ回線が収容されている外線ランプが赤色で点灯します。

《ファクシミリ内線について》

1本の回線に電話機用内線番号とファクシミリ用内線番号をつけられます。1本の回線を、電話機用とファクシミリ用として共用できて便利です。ダイレクト・イン・ライン着信時にファクシミリ着信でき、ダイレクト・イン・ダイヤル、NTTダイヤル・インの着信先のファクシミリ用内線番号を利用できます。

- ファクシミリ内線は、システムで48本まで利用できます。
- ファクシミリ用内線番号は、不応答転送先、不在転送先、ホットライン、ハンティンググループ、ワンタッチ内線ボタンとしては利用できません。

《電話機を壁掛けにする》

別売の壁掛用品をお求めいただきますと、電話機を壁掛けとして使えます。電話機を壁掛けに取付ける場合は、電話機の重みにより落下しないように堅固に取付け設置してください。

集中受付装置、24キー増設ユニットを接続した電話機は壁掛けとしては使えません。



《雑防形ハンドセット》

電話機の手話器を別売の雑防形ハンドセットに取り替えると、騒音の大きいところ（極度に大きいところは除く）でも明瞭に通話できます。

《通話データ出力》

別売の通話データ出力ユニットを接続すると、電話機の通話料金などをグループ別・電話機別などに管理することができます。

※詳しくは、通話データ出力ユニットに添付の取扱説明書をご覧ください。

《電話帳編集ソフトウェア》

専用のソフトウェアを使ってパソコン上から、外線電話帳、個人短縮ダイヤル、内線電話帳、迷惑電話パターン、および2.4Gカラーデジタルコードレス電話機の名前を漢字／ひらがな／カタカナ／英数字／記号で登録、編集することができます。

IP回線を利用してリモートで登録、編集することもできます。

取付け時に設定する事項

《空番号通知案内》

トーカー装置を接続すると、内線番号にない電話番号がダイヤルされたとき、誤りであることを音声で知らせることができます。

《社内案内》

トーカー装置を接続すると、システム内の電話機に社内案内を流すことができます。

《遠隔内線通話》

別売の1回線用SLTアダプターを取付けると、同一構内の離れた場所にダイヤル回転式単独電話機を接続することができます。音声呼出、グループ呼出はできません。システム条件やSLTアダプターの種類によっては、外線通話ができなかったり、PB式単独電話機との通話ができない場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

《通話録音》

通話内容を市販のテープレコーダーで録音することができます。別売の通話録音用端子アダプターが必要です。

- 単独電話機には接続できません。
- ISDN回線／IP回線との通話を録音する場合は、相手の方の声のみの録音となります。

《発信規制》

別売のダイヤルマネジメントシステムを接続すると、あらかじめ登録しておいた電話番号への発信を自動的に規制することができます。

また、発信を規制したい電話番号の編集をサーバー上で行うこともできます。

《スーパーベル A、B 呼出》

システムにスーパーベル A、B を収容して、各電話機からスーパーベルを呼び出すことができます。

《24 キー増設ユニット》

別売の24キー増設ユニット (VB-F331A) を接続すると、電話機のFFボタンを24個まで増やすことができます。

《IP-Telsh アダプター》

別売のIP-TelshアダプターをTelsh V多機能電話機に接続すると、LANに直接接続して、電話機の機能を利用することができます。別売のIPゲートキーパーユニットおよびIPゲートウェイユニットが必要です。

TelshV多機能電話機については、お買い上げの販売店にご相談ください。

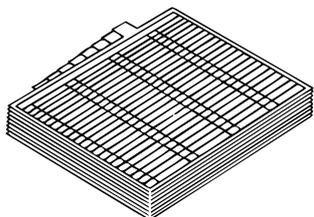
番号早見表の使いかた

番号早見表（オプション）の作りかた

1 番号早見表に必要事項を記入する

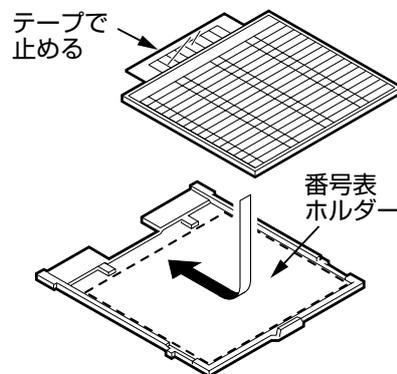
2 番号早見表を下図のように重ねる

- 番号早見表の下の端に合わせる



3 粘着テープで番号表ホルダーに番号早見表を貼り付ける

- 粘着テープは、約 60mm 以内の長さに切る



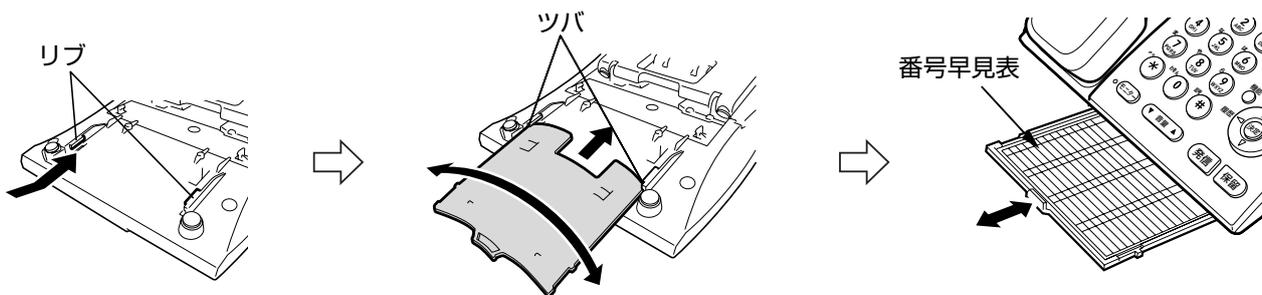
- 215ページの番号早見表を必要枚数コピーし、上記と同じ要領で簡易的に作ることもできる

番号表ホルダー（オプション）の取付け方

《漢字表示付電話機の場合》

■取付け方

番号早見表を番号表ホルダーに取付けたら、番号表ホルダーをたわませて両脇のツバをリブの下に入れて押し込む。



■外し方

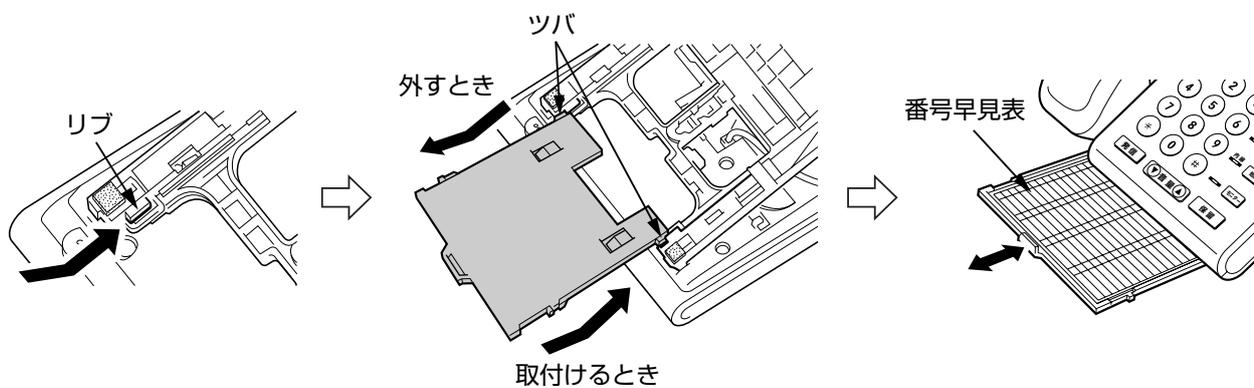
番号表ホルダーをたわませて引き出し、外す。

番号早見表の使いかた

《数字表示付電話機の場合》

■取付け方

番号早見表を番号表ホルダーに取付けたら、番号表ホルダーの両脇のツバを角度アダプターのリブの下に入れて押し込む。



■外し方

番号表ホルダーをいっぱいまで引き出し、番号表ホルダーの先端を持ち上げながら外す。

主要な音とランプ表示

取付け時の設定により、変えることもできます。(販売店にご相談ください。)

外線使用時

項 目		時 間 幅	備 考
電話がかかってきたとき			設定着信音 (赤色) 外線ランプ (赤色※) 着信ランプ
外線使用中	自分が使っているとき		(緑色) 外線ランプ
	他人が使っているとき		(赤色) 外線ランプ
外線を保留したとき	保留した電話機		システム保留、自己保留とも 同表示 (緑色) 外線ランプ
	他の電話機 <システム保留>		(赤色) 外線ランプ
	他の電話機 <自己保留>		(赤色) 外線ランプ
着信制限中			(緑色) 外線ランプ (制限操作を 行った電話機) (赤色) 外線ランプ (ほかの電話機)
保留警報音(保留した電話機)			400Hz/20Hz
長時間通話警報音			800Hz
着信警報音		音 メロディー	
メロディー保留音		音 メロディー	
話中時着信音(外線)			660Hz

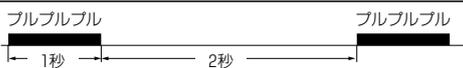
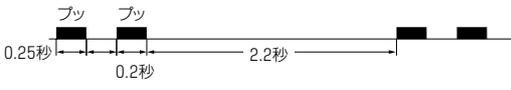
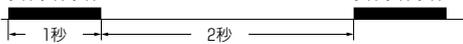
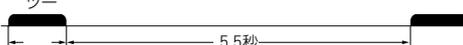
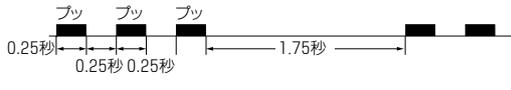
※着信ランプの色を緑色にすることができます。 **取付け時設定**

外線 ボタンに機能を設定したとき

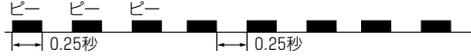
項 目		時 間 幅	備 考
内線番号を登録したとき	内線着信時		(赤色) 外線ランプ
	オフフック表示		(赤色) 外線ランプ
	不在設定表示		(緑色) 外線ランプ
夜間切替	夜間		(赤色) 外線ランプ
バッテリー運転			(赤色) 外線ランプ

主要な音とランプ表示

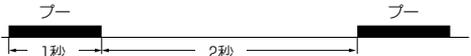
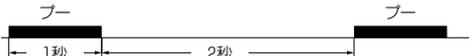
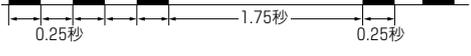
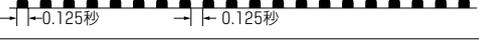
内線使用時

項 目		時 間 幅		備 考
内線着信	通常	音		400Hz
		ランプ		(赤色) 内線、着信ランプ
内線着信	集中受付装置 (DSS) 応答前 転送着信	音		400Hz
		ランプ		(赤色) 内線、着信ランプ
内線通話中		ランプ		(赤色) 内線ランプ
内線を保留したとき		音	メロディー	※音:保留された電話機 ランプ:保留した電話機
		ランプ		(赤色) 内線ランプ
内線発信音 (DT)		音		560Hz
内線呼出確認音 (RBT)		音		400Hz/20Hz
内線話中音 (BT)		音		400Hz
速い話中音 (FBT)		音		800Hz
音声呼出音 (予告音)		音		500Hz
キャンプオン設定音		音		400Hz
内線コールバック		音		トレモロ音
		ランプ		(赤色) 内線、着信ランプ
トークバック	マイク設定OFF	ランプ	消灯 (表示なし)	トークバック/不在ランプ
	マイク設定ON	ランプ		(赤色) トークバック
	マイク動作中	ランプ		(赤色) トークバック
メッセージ	未登録	ランプ	消灯 (表示なし)	着信ランプ
	登録	ランプ		着信ランプ (設定により点滅も可)
モニター		音		560Hz
		ランプ		(赤色) モニターランプ

内線使用時

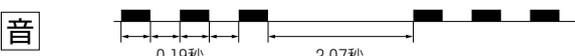
項 目		時 間 幅		備 考
不在設定 不在転送	未設定		消灯 (表示なし)	不在ランプ
	設定			赤色 不在ランプ
登録確認音/メッセージウェイト登録中音			 ビー ビー ビー 0.25秒 0.25秒	800Hz
キーイントーン			キー入力中に聞こえる	1kHz
モニターランプ	プリセット中		 0.125秒 0.125秒 1.75秒	赤色 モニターランプ
	プリセット以外			赤色 モニターランプ

フローティング着信使用時

項 目		時 間 幅		備 考
電話がかかってきたとき	局着信		 ブー ブー 1秒 2秒	トレモロ音
			 0.125秒 0.125秒	赤色 外線、着信ランプ
着信応答	自分が使っているとき		 ブー ブー 1秒 2秒	400Hz
	他人が使っているとき		 0.125秒 0.125秒	赤色 外線、着信ランプ
保留したとき	保留した電話機		 ツー (連続音)	
			 0.5秒 0.5秒	緑色 外線ランプ
保留警報音 (保留した電話機)			 フル フル フル 0.25秒 1.75秒 0.25秒	
			 0.125秒 0.125秒	赤色 着信ランプ
メロディー保留音			メロディー	
話中時着信音			 ブー ブー 1秒 2秒	500Hz (I-TONE)
			 0.125秒 0.125秒	赤色 着信ランプ

主要な音とランプ表示

単独電話機使用時

項 目	時 間 幅	備 考
内線着信	 <p>音</p>	16Hz
外線着信	 <p>音</p>	16Hz
保留再呼出	 <p>音</p>	16Hz

停電のときは

停電（バッテリー動作）のときは

停電時はオプションのバッテリー（蓄電池）の働きにより、約30分または約3時間動作（バッテリー運転）します。

バッテリー（IP-Digaport J II）	VB-D595A	約30分動作
	VB-2497-3	約3時間動作
バッテリー（IP-Digaport X II）	VB-D795	約30分動作
	VB-D9975A	約3時間動作

- ※ 動作時間は目安です。システムの構成や使用条件（トラヒック条件など）により異なります。
- ※ 蓄電池は、通常使用で3年に1度お取り替えください。交換につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 設定により、漢字表示付電話機の表示部にバッテリー運転表示をすることができます。（お買い上げ時は、バッテリー運転表示なし）

バッテリー運転表示例



- バッテリー運転表示時は、バッテリー運転ランプを設定した外線ランプが赤色点灯します。（201ページ）
- バッテリー運転時、液晶表示部のバックライトが点灯しない場合があります。（23ページ）

停電（バッテリー切れ）のときは

停電（バッテリー動作）からバッテリーが切れて、本システムの運用が停止しても停電切替器を利用することにより、停電指定電話機で外線通話をすることができます。

- ・ 停電指定電話機を使用中であっても、通話中に、バッテリー切れとなった場合、もしくはバッテリー切れから電源が復旧した場合、通話が切断されることがあります。

■ 停電指定電話機について

停電指定電話機には、単独電話機と停電用多機能電話機を使用することができます。

- 単独電話機
外線種別に合わせた単独電話機を指定してください。

電話機種別	外線信号種別	
	DP	PB
単独電話機（DP）	発信、着信	着信のみ
単独電話機（PB）	着信のみ	発信、着信

- 停電用多機能電話機 …………… 24キー電話機 KP（VB-F611KPA）
外観は24キー電話機 K（VB-F611KA）と同じです。

停電指定電話機の使い方

- 電話をかけるときは、受話器を取ると外線につながりますので、そのままダイヤルしてください。
- 受けるときは、受話器を取ると応答できます。

■ 停電切替器について

- 停電用切替アダプター

VB-D281	アナログ局線	8回線（停電指定電話機	最大8台まで接続可能）
VB-D284	INS ネット64回線	1回線（停電指定電話機	最大2台まで接続可能）
- 停電切替ユニット

VB-D882A	アナログ局線	4回線（停電指定電話機	最大4台まで接続可能）
----------	--------	-------------	-------------

困ったときは

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここを確認してください	処 理	参照ページ
発信ができない	各機器間の接続ケーブルが外れていませんか？	正しく接続してください。	—
着信しない			—
ランプが点灯しない			—
表示が出ない	表示の明るさの調節が不適當ではありませんか	通話していない状態で ^{機能} ○と音量△または▽音量で調節してください。	23
呼出音が鳴らない	電話機のボリュームが最小になっていませんか？	ボリューム調節をしてください。	24
転送ができない	転送先がトークバック応答中ではありませんか？	トークバック応答中は転送できません。転送先の人に受話器を取ってもらってから ^{文字} 設定/転送を押してください。	60
	モニター状態で転送ボタンを押していませんか？	オフフックの状態では ^{文字} 設定/転送を押してください。	48
	自己保留をしていませんか？	^{文字} 設定/転送による転送にしてください。	47、48
FFボタンに設定ができない	すでに設定済みのボタンではありませんか？	設定を解除してから、再度設定してください。	91
リセットコールができない	話中音を15秒以上聴取していませんか？	話中音聴取15秒以内に操作してください。	65
再ダイヤルボタンが効かない	外線が全話中の状態ではありませんか？	外線が空き次第、再度操作してください。	39
短縮ダイヤルが登録できない	電話番号の登録ケタ数が25以上ですか？	登録可能な最大ケタ数は24です。	96~119
	名前の登録可能な文字数を超過していませんか？	フックまたは再ダイヤルを押して、文字を消去してから入力してください。	

こんなときは	ここを確認してください	処 理	参照ページ
共通短縮ダイヤルに 名前を登録したのに 発信者番号が表示さ れない	名前の前にスペースを登録 していませんか？	名前の前にスペースを空け ないで登録してください。	123
	電話番号のうしろにポーズ などを登録していませんか？	電話番号のうしろにポーズ を入れないでください。	124
登録・設定ができない	指定電話機のみで操作でき る機能ではありませんか？	指定電話機から操作してく ださい。	96~105、 115~119 125~147
保留ができない	トークバック中ではありま せんか？	受話器を取って保留してく ださい。	63
	会議通話または通話割込中 ではありませんか？	通話割込中は 保留 が使え ません。	74
一斉・グループ呼出 ができない	着信中または通話中ではあ りませんか？	保留または通話を切ってか ら操作してください。	62
	グループ呼出番号を設定し てありますか？	取付け時の設定です。確認 してください。	62、177
内線コールバック・内線 キャンプオンができない	設定後2分30秒以上経って	設定有効時間は約2分30秒 間です。再度設定してくだ さい。	64、65
	呼出音を聞いてからすぐに 応答しましたか？	呼出音を聞いてから、約12 秒以内に応答しないと無効に なります。	
	相手の電話機が不在設定を していませんか？	不在設定を解除してくださ い。	70
話中転送ができない	不在設定・不在転送設定を していませんか？	不在設定・不在転送設定を 解除してください。	70、71

IP-Digaport J II の仕様

システム		152ポート (小型機種キャビネット)
ポート数(最大)	外線収容数 内線収容数	152(内線収容数96)
	集中受付装置	24
通話路方式		ノンブロッキング時分割方式
配線方式		多機能電話機 : スター1対 スター1対+電話機ツイン接続 停電用多機能電話機 : スター2対
寸法 (幅×奥行き×高さ) (mm)	キャビネット (交換機) 最大搭載時	約390×259×520(スタンド含む) 約361×227×451(スタンド含まず)
質量(kg)	キャビネット(交換機) 最大搭載時 (バッテリー含む)	約13.8(スタンド含む) 約12.5(スタンド含まず)
消費電力(W)		254
環境条件		周囲温度:0℃~40℃ 相対湿度80%以下 (ただし結露しないこと)
入力電源		AC100 V(許容差=10%)、50/60Hz

IP-Digaport X II の仕様

システム		システム					
		1キャビネット	2キャビネット	3キャビネット	4キャビネット	5キャビネット	6キャビネット
ポート数(最大)	外線収容数 内線収容数	最大1152ポート 増設電源を使用しない場合：内線 96ポート(1キャビネットあたり) 内線/外線 152ポート(1キャビネットあたり) 増設電源を使用する場合：192ポート(1キャビネットあたり)					
	集中受付装置	24(1キャビネットあたり)					
通話路方式		ノンブロッキング時分割方式					
配線方式		多機能電話機 : スター1対 スター1対+電話機ツイン接続 停電用多機能電話機 : スター2対					
寸法 (幅×奥行き×高さ) (mm)	キャビネット(交換機) 最大搭載時 (電池キャビネット含む)	約530×390×996	約530×390×1441	約530×390×1885	約1061×390×1441	約1061×390×1885	約1061×390×1885
質量 (kg)	キャビネット(交換機) (電池キャビネット、増設 電源、蓄電池(3時間用) 含む)	約74	約125	約175	約249	約300	約351
消費電力(W)		290(基本電源のみ使用時 1キャビネットあたり) 530(基本電源+増設電源使用時 1キャビネットあたり)					
環境条件		周囲温度:0℃~40℃ 相対湿度80%以下 (ただし結露しないこと)					
入力電源		AC100V(許容差=10%)、50/60Hz					

電話機の仕様

寸法 (幅×奥行き×高さ) (mm)	漢字表示付電話機	188×249×97 高角度アダプターの角度最大時:188×230×169
	数字表示付電話機	186×232×101 高角度アダプターの角度最大時:186×232×161
質量 (g)	漢字表示付電話機	約980
	数字表示付電話機	約820

	ページ
あ行	
明るさ調節	23
アフターサービス	213
アラーム	75
一斉呼出	49、62
オートリピートダイヤル	39
音とランプ表示	201
音量調節	24
音量ボタン	13、15、24
か行	
会議通話	74
外線コールバック	50
外線個別着信	192
外線指定代理応答	47
回線自動選択	192
回線数コントロール	82
外線スライド着信	193
外線着信警報	193
外線電話帳	30、95
外線発信規制	191
外線番号	28
外線表示盤	185
外線不応答転送	194
外線捕捉番号	124
外線ボタン	13、15
外線ボタン個別着信鳴動	192
外線ボタン着信規制	192
外線ボタン別着信音	192
外線ランプ	14、16
角度の調節	25
確認 / 会議ボタン	15、74
各部のなまえとはたらき	13～16
壁掛け（電話機）	197
漢字表示付電話機	12
漢字変換	122
記入シート	26、27
機能画面	87～89
機能コード（設定番号）	92～94
機能特番	91
機能ボタン	13、74
機能ランプ	14、16
キャッチホンサービス	51
キャンプオン（内線）	65
共通短縮ダイヤル	95

	ページ
共通短縮ダイヤルの発信回数	131
共通短縮番号	95
グループ間接続規制	194
グループ指定代理応答	61
グループ内全着信応答	61
グループ別通話料金	127
グループ別通話料金のパーセント表示	23
グループ名	101
グループ呼出	62
クローズドナンバリング	174
交互通話	68
構内交換機	174
構内放送	62、177
コールウェイティング	67
コールパーク	194
コールバック（外線）	50
コールバック（内線）	64
国際 ACR	53
国内 ACR	52
個人短縮ダイヤル	36、106
個人短縮番号	113
困ったとき	206、207
コマンドナビキー	17

さ行	
サービスクラス	191
在席表示盤	188
再ダイヤル	39、55
再ダイヤルボタン	13、15
雑防形ハンドセット	197
サブアドレス通知	172
時刻を変更	126
自己保留	47
システム間接続	173
システム機能	85
指定外線発信	29
指定グループ通話	190
指定電話機	9、96～105、115～119、125～147
自動グループ通話	190
自動ポーズ	193
自動夜間切替	132
社内案内	198
集中受付装置	181～184
収容位置（内線・外線）	84
仕様	208、209

	ページ
状態表示盤	185 ~ 188
消灯モード	77 ~ 79
スイッチバックハンティング	195
数字表示付電話機	15、16
スーパーベル A・B	198
スピーカーの音量	24
設定 / 転送ボタン	13、15
専用線	173
専用線捕捉番号	124

た行

ターミナルハンティング	195
ダイヤルイン	170
ダイヤル式回線	162
代理応答グループ	61、196
ダイレクト・イン・ダイヤル	176
ダイレクト・イン・ライン	194
ダイレクト外線接続	193
ダイレクト発信接続規制	193
短縮ダイヤル	95 ~ 115
短縮ダイヤル表示制御	124
短縮番号	95
短縮ボタン	13、15
タンデム交換機能	174
単独電話機	161
着信応答方式切替	191
着信自動応答	46
着信通話履歴	42
着信不応答履歴	44
着信ランプ	14、16
着信履歴	42、44
長時間通話警報	192
通話時間と通話料金の表示	21
通話データ出力ユニット	197
通話料金集計	128、129
通話料金予算額	127
通話割込 (外線・内線)	74
ディストリビュートハンティング	195
停電	205
停電用電話機	205
転送 (外線)	48
転送 (内線)	60
点灯モード	77、78、80
電話機別機能	90
ドアホン	178
トークバック	63

	ページ
トークバックランプ	14、16
特殊規制ダイヤル	194
取り次ぐ (外線)	47
取り次ぐ (内線)	59
取付け時に設定する事項	191

な行

内線音声呼出	54
内線機能クラス間呼出規制	194
内線キャンプオン	65
内線交互通話	68
内線コールバック	64
内線サービスクラス	191
内線指定代理応答	61
内線信号音呼出	54
内線代表	195
内線代理応答	61
内線電話帳	56、118
内線トークバック	63
内線プッシュ信号送出	195
内線捕捉番号	124
内線ランプ	14、16
内線リセットコール	65
名前入力	120
ナンバー・ディスプレイ	167
ネーム・ディスプレイ	169
年月日の変更	126

は行

ハイフン表示	124
パイロットハンティング	195
バックライト	23
発信時ダイヤルトーン検出	192
発信者番号通知	166
発信プリファレンス	192
発信ボタン	13、15
発信履歴	40
バッテリー運転表示	205
番号早見表	199、215
ハンティンググループ	196
ビーンダイヤル	124
非通知着信	145
日付・曜日・時刻表示	19
日付を変更	126
表示	19
昼間モード	76、132

	ページ
ファクシミリ	197
ファクシミリ内線	197
不応答転送	73
不在設定	70
不在転送	71
不在ランプ	14、16
フッキング	161
フックボタン	13、15
プッシュ回線	161
プッシュ信号	51
プッシュ信号転換	124
プッシュホンサービス	51
プリセットダイヤル	29
フレキシブル番号計画	196
フローティング着信ボタン	77
フローティング保留	81
フローティング保留ボタン	81
ヘッドセット	179
ヘッドセットモード	179
保証とアフターサービス	213
ポーズ	124
ホットライン	195
保留	47、59
保留音送出装置	194
保留再呼出	48
保留ボタン	13、15

ま行

マイク	13、15
待ち受け中表示	19
マルチライン発信	77
迷惑電話	138
メッセージウェイト	66
メッセージウェイトキャンセル	67
メッセージ呼び返し	67
メモリー番号	34、95、99、100
文字対応表 (名前登録)	120、121、137
戻るボタン	13、17
モニターボタン	13、15
モニターランプ	14、16

や行

夜間切替	76、132
夜間モード	76、132
曜日を変更	126
呼出音の音量	24

ら行

リセットコール (内線)	65、176
ロングストアイドルハンティング	195

わ行

話中時着信	193
話中転送	72
ワンタッチボタン	15

英

ACR	52
ACR 機能を解除・復旧	130
BGM	180
DID	176
FF ボタン	13、15
FF ランプ	14、16
IP-2Way	197
NCC	52、53
NCC 回線	20
NTT 回線	52

数

0 発信グループ	191
2WayPro	197
2.4G カラーデジタルコードレス電話機 ...	148
8 者通話	189
24 キー増設ユニット	198

保証とアフターサービスについて

■ 保守契約について

販売店とご相談のうえ、保守契約をお結びください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

お買い上げの販売店、または販売会社へお申し付けください。

移転の際のご相談は…

お買い上げの販売店、または販売会社へお申し付けください。

■ 保証書（別添付）キャビネットに添付

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

主装置とは別に後から購入されたユニット等は、お買い上げ日から1年間を保証期間とさせていただきます。ただし、充電式電池は消耗品ですので、保証の対象外とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このインテリジェントコミュニケーションシステム IP-Digaport J II / IP-Digaport X II の補修用性能部品の、製造打ち切り後9年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

「困ったときは」（206、207ページ）に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる商品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- 修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、停電などの外部要因、または本装置の故障・誤動作などで、本装置が使えなかったことによる付随的損害（料金管理など）の補償については、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 説明書に記載されている内容は、製品のバージョンアップなどに伴い、将来予告なしに変更することがあります。

※NTTなどの料金改訂にともなうプログラムの変更は有償になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご使用にあたってのお願い

本品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「**機器使用料**」は不要となります。詳しくは、**局番なしの116番(無料)**へお問い合わせください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品番
販 売 店 名	電話 ()	-
お 近 く の 販 売 会 社	電話 ()	-

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず**お買い上げの販売店**へお申し付けください。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

A0906-4077
PSQF1031VA

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 (045) 532-0496
© 2007 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.